

鹿児島県立鹿児島南高等学校

令和 6 年度

鹿南高魂育成のための
教育活動計画

商業・情報処理科

令和6年度 鹿南高魂育成のための教育活動計画内容一覧

(目次)

シラバス内容	内容の掲載ページ		
	普通科	商業・情報処理科	体育科
1.教育目標等	p.1 (全学科共通)		
2.ループリック	p.2 (全学科共通)		
3.年間教育活動計画	1年	pp.3-4 (全学科共通)	
	2年	pp.5-6 (全学科共通)	
	3年	pp.7-8 (全学科共通)	
4.学習活動計画	国 語	pp.9-20	pp.9-13
	社 会	pp.21-34	pp.14-16
	数 学	pp.35-39	pp.17-19
	理 科	pp.40-50	pp.20-22
	体 育	pp.51-55	pp.23-24
	芸 術	pp.56-64	pp.25-27
	英 語	pp.65-71	pp.28-30
	家 庭	p.72	pp.31-32
	情 報	p.73	—
	商 業 商業・情報処理科 専門	—	pp.33-34
	体 育 体育科 専門	—	pp.35-50

生徒の迎える未来=変化の激しい未来

(AI・ロボット・新技術の発展に伴う職業の淘汰, ライフデザインの変更, 価値観の変化)

そこで

鹿児島南高校としてのミッション: 自ら未来を切り拓く人材の育成を目指す

主体的に考え、能動的に行動し、(独立自尊)

常にチャレンジ・進化し続け、(開拓創造)

他者と協働して社会貢献できる(協力奉仕)人材の育成をはかる

具体的には

【普通科】

多岐にわたる分野で未来を
デザインし、世界へ発信する
リーダー及びチームとして
協働できる人材

【商業科・情報処理科】

ビジネス・情報のスペシャリストとして
の自覚を備え、グローバルに
活躍するリーダー及びチー
ムとして協働できる人材

【体育科】

日本や世界のスポーツの發
展や振興、競技力の向上の
ためのリーダー及びチーム
として協働できる人材

学科の特性を活かした教育 “鹿児島に貢献し、そして世界へ”

必要な力

鹿児島南で身につける力=“鹿南高魂”的育成

【学科共通】 基礎力: あいさつ・礼儀作法、思考・実践の材料や根拠となる学力(知識), 他者との関わりで欠かせないコミュニケーション能力(聞く力も含む), 情報収集力等

思考力: 想像力・未来を予測する力, 課題を発見する力, 客観的に物事を見つめる力(メタ認知), 論理的思考力(筋道を立てた考え方), 情報分析力(批判的思考力(クリティカルシンキング)), 創造する力等

実践力: 情報発信力(ICTの利活用等), 課題を解決する力, 未来を切り拓くキャリア設計力, 主体的な行動力, 協働力(チームワーク)等

【普通科】

グローバルな視野で世界を
考え、現代社会の抱える
課題を克服に導く力

【商業科・情報処理科】

経済社会・情報社会の将来
に貢献する起業家精神と
実行力

【体育科】

スポーツを通して
地域社会や国際社会の
未来に貢献する力

様々な活動を通して

育成期
1学年

【共通】新入生ガイダンス, 授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動

【普通科】全国統一模試, 文理選択, G T E C 受験, 総合的な探究の時間, 各種検定(数検等)

【商業科・情報処理科】進路マップ受験, 商業・情報関連各資格検定

【体育科】野外活動

充実期
2学年

【共通】授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動, 修学旅行

【普通科】全国統一模試, G T E C 受験, 総合的な探究の時間, 各種検定(数検等)

【商業科・情報処理科】進路マップ受験, インターンシップ, ビジネス関連各資格検定, IT パスポート等

【体育科】野外活動

発展期
3学年

【共通】授業, 課外活動, 体育祭, 文化祭, クラスマッチ, ボランティア活動, 受験勉強

【普通科】全国統一模試, 総合的な探究の時間, 各種検定(数検等)

【商業科・情報処理科】課題研究・実習, インターンシップ, ビジネス関連各資格検定, 基本情報技術者等

【体育科】野外活動, 課題研究

鹿児島南高等学校 “鹿南高魂” ルーブリック

3年間保存版

		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	目指す姿
基礎力	挨拶・礼儀(基礎人間力)	相手に挨拶されたら挨拶を返す。敬語が使える。	自分から積極的に挨拶をすることができる。敬語の使い分けができる。	校内はもちろん、校外においても自分に馴染みのある地域の方や保護者の方々に積極的に声を出して挨拶ができる。	校内外において、笑顔で、誰に対しても挨拶ができる、相手の心情や状況に応じた振る舞い(会釈と語先後礼の使い分け等)ができる。	
	思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	授業の内容を教師の説明を聞いて理解する。または定期考査で50点程度取れる。	一度授業で扱ったところの学習内容を復習等見直すことで思い出せる。または定期考査で60点程度取れる。	学習内容がしっかりと定着しており、いつでもそれを引き出すことができる。または定期考査で70点程度取れる。	普段の生活の中で学習内容をいつでも応用させることができる。または定期考査で80点以上取れる。	
	コミュニケーション能力	発表を原稿を読みながら伝える。人の話を静かに聞く。	聞き手の目を見ながら伝えることができる。相手の話を聞きながら要点を整理できる。それに感想を言える。	相手の反応に応じて適切な言葉遣いで伝えることができる。相手の話の要点をまとめ、根拠のある批評や的確な質問をすることができる。	適切な言葉遣いや話術で説得力のあるプレゼンや説明ができる。他者からの質問や批判に真摯に耳を傾け、聞かれたことに的確に答えたり、批判を諷刺破壊できる。	
	情報収集力	情報源を複数持っている(ほしい情報をどれを調べれば入手できるか知っている)。	観察した状況から問題点や課題を考えようとする。	状況を整理して問題点や課題を他者に伝え、他者からもさらに関連する情報を得ることができる。	整理した状況から次のステップに移る手段を提案できる。	
思考力	想像力・未来を予測する力	物事や行動について、その後の結果を考える習慣が身についている。	物事や行動の結果を過去の経験や現在の状況を踏まえて考えることができる。	未知の状況を、現在とることでできる手段に応じて考えることができる。	未知の状況を、現在とることでできる手段に応じて考え、何らかのアクションを起こすことまで考えることができる。	
	課題を発見する力	自己の生活や身近な社会について改善したほうが良いと考えていることがある。	自己の生活や身近な社会から、地域社会や世界に拡張して改善したほうが良いと考えていることがある。	改善したほうが良いと考える課題の原因にまで掘り下げてその改善策を探求することができる。	課題の原因や改善策を追求する中で生じる新たな疑問を発見できる。また、改善策を多角的に検討することができる。	
	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	自分の学習状況の理解と不足しているものを理解している。	自分の学習に不足しているものを理解し、それを補うための行動を起こすことができる。	学習計画を立て計画的に克服のプロセスを踏んでいる。	自分の学習計画や学習方法を結果に基づいて検証し、修正を加えながらより良いものにして努力を継続できる。	
	論理的思考力	相手の意見を聞き、自分との共通点・相違点をそれぞれ理解している。	自分との共通点・相違点がそれそれぞれ生じている理由や根拠を考えることができる。	共通点・相違点の根拠を検討したり、他の解釈や情報の分析をしたりして、見解が異なる理由を説明できる。	自分と異なる見解を認めたり、他の視点からの情報を論理的に分析したりしている。さらに、根拠に基づいた多角的な視点で探究している。	
	情報分析力(批判的思考力(クリティカルシンキング))	日常生活の中で『なぜ?』という問いかけをするようにしている。	感じた疑問の解決策を、自分の今現在持っている情報をもとに考えることができる。	感じた疑問の解決策を、複数の情報を批判的に吟味した上で取捨選択し、総合的に考えることができる。	感じた疑問の解決策を考える中で生じる新たな疑問に対しても、同様に批判的な情報吟味によって解決策を考え提案できる。	
実践力	創造する力	自分の考えを持っている。	新しく学んだことや他者の意見・様々なアイディアを活用しようとすることができる。	積極的に求めて得た複数の意見・アイディア・計画を統合し、独創的なアイディアを考えることができる。	独創的なアイディアや計画を創造し、他者とともにそれを実現しようとする。	
	情報発信力	伝えたいことを自分で思っている。	伝えたいことを一方的に相手に伝えることができる。	伝えたいことを、最も効果的な伝達手段を考えて、それにしたがって伝えることができる。	相手に伝えたことを聞きながら、さらに情報を修正整理して伝えることができる。	
	課題を解決する力	課題の存在やその内容を理解している。	課題の原因や背景を追究し、解決するプロセスを提案できる。	原因を追究し、解決する様々なプロセスを検討し、1つ以上の解決策を提案する。	原因追究に基づいて解決策を探し、実行可能性や解決のメリット・デメリットについて幅広く考えることができる。	
	未来を切り拓くキャリア設計力	働くことの意味を理解している(職業観の育成がなされている)。将来的な進路について考えている。	自己の適性を理解しようとしており、進路についての情報を集めたり等して積極的に摸索している。	希望する進路に向けて、自らの進路を切り拓くための課題(学力や教科バランス等)を理解している。	将来の夢の実現のために希望する進路や自己の適性を把握し、進路実現に向けて自らの課題を克服する努力を継続している。	
	主体的な行動力	言われたことを、言われたことの意味を理解したうえで言われたとおり実行する。	言われたことをそのままではなく自分なりの改善を加えて実行できる。また、自分の経験からどうべき行動を考えることができる。	自分がとるべき行動を周囲の状況から判断して自発的にとることができる。チームやメンバーの作業の進捗状況からスケジュール・締切に応じたタイムマネジメントができる。	周囲を巻き込みながら自発的な活動を拡大していくことができる。チームやメンバーの能力や適性に応じて作業を割り振り、適宜必要な修正を加えながら完成まで導く。	
普通科	協働力(チームワーク)	身近なメンバーに助けを求めたり、支援したりできる。	課題解決に向けて行動計画を示したり、他の提案を受け入れたりし、メンバーに対して肯定的な話し方や表情で接することができる。	課題解決に向けて新たな提案や代替的な考え方を示すことができる。メンバーのモチベーションを上げて前進を助ける。	チームで課題解決した成果や手ごたえが持てる。また、チームメンバーがその課題を越えたレベルで完成するのを率先して支援することができる。	
	グローバルな視野で世界を考え、現代社会の抱える課題を克服に導く力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 地域社会も含む世界に興味関心がある。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 世界の情報や知識を自分のできる範囲の努力で得ている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 世界が抱える具体的な課題に対する原因を知り、自分の意見を持っている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 世界が抱える具体的な課題に自分自身がそれに対してどう行動すればよいか考え、行動に移している。	
情報処理科	経済社会・情報社会の将来に貢献する起業家精神と実行力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 【観る力】相手の立場や考え方を尊重し、その形成過程等を的確に捉えることができる。	基礎力レベル3程度 思考力レベル2程度 実践力レベル2程度 【きく力】過不足なく聞き取り(聞く)、話を引き出し(聞く)、根拠適否を確かめるための適切な質問(訊く)ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 【伝える力】要点をまとめ、簡潔に話し、相手に印象づけるために抑揚をつけて話ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 【感じる力】相手の心情を察知し、会話等をとおし、相手をよりよく知ることができる。	
体育科	スポーツを通して地域社会や国際社会の未来に貢献する力	基礎力レベル2程度 思考力レベル1程度 実践力レベル1程度 生涯スポーツに向けて、運動やスポーツの技能を高めたり、健康的な生活習慣を身につけたりしている。	基礎力レベル3程度 思考力レベル3程度 実践力レベル2程度 健康やスポーツを社会の中で考えていく力を身につけている。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3程度 実践力レベル3程度 自らの競技力向上だけでなく、チームや他の者の競技力向上にも適切な援助ができる。	基礎力レベル3以上 思考力レベル3以上 実践力レベル3以上 競技者としてだけでなく指導者としてふさわしい資質を身につけている。	

**他者と協働して社会貢献できる(協力奉仕)
常にチャレンジ・進化し続け、(開拓創造)
主体的に考え、能動的に行動し、(独立自尊)
自ら未来を切り拓く**

鹿児島南高等学校年間教育活動計画 【予定】 1年生 ※ 授業も同様にループリックを利用して評価し、成長を記録します。

学 期	月	担当部署	企画名	基礎力			思考力				実践力				活動内容等 Classiにアップ				
				間接力 ～・ 礼儀 ～基礎人	謙根思 考と・ な実踐の 力材 ～知や	能コ ニケー シヨン	情報 収集力	す想 る像 力・ 未 來 を 予 測	課 題 を 発 見 す る 力	め客 觀 的 に メ物 タ事 認を 見 つ	論 理 的 思 考 力	ル思 考 シ ン キ へ ク リ ～ テ イ 判 的	創造 する 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	リ未 ア 来 設 計 カ リ 拓 く キ ヤ	主体 的 な 行 動 力	協 チ ー ム ワ ー ク	
学年目標																育成期(基礎力養成期)：鹿南高魂の土台づくりをする。			
学期目標																中学生から「鹿南生」になる。			
一年生 (育成期 (基礎力養成期))	4	教務	入学式	○		○		○	○										
		教務	対面式	○		○		○	○										
		教務	全校朝礼	○		○		○	○										
		生指	服装頭髪指導	○		○				○							事前・事後感想記入		
		進路	課題実力検査		○		○		○	○									
		進・学	新入生ガイダンス	○	○	○	○												
		学年	新入生オリエンテーション	○	○	○	○												
		進路	進路希望調査①			○	○	○		○	○					○	記入		
		保健	健康診断	○					○								感想記入		
		教務	三者面談	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
		学年	一日遠足	○		○								○		○	(感想記入)		
		生指	学校生活アンケート							○									
	5	教務	全校朝礼	○		○		○	○										
		学年	学年別朝礼	○		○		○	○										
		学科	学科別朝礼	○		○		○	○										
		生指	頭髪服装指導	○		○				○							事前事後感想記入		
		教務	中間検査		○		○		○	○					○		(感想)		
		生指	情報モラル講座		○	○	○	○									(感想)		
		生指	交通安全教室	○	○	○	○	○									感想記入		
		生指	生徒総会	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	感想記入		
		教務	教育実習	○		○				○									
		生指	教育相談	○		○	○	○		○							感想記入		
	一学期	教務	全校朝礼	○		○		○	○										
		学年	学年別朝礼	○		○		○	○										
		学科	学科別朝礼	○		○		○	○										
		生指	頭髪服装指導	○		○				○									
		進路	1年生進路ガイダンス	○	○	○	○	○	○					○			ワークショップ・感想記入		
		生指	薬物乱用防止教室	○	○	○	○	○	○		○						感想記入		
		生指	学校生活アンケート							○									
		生指	生徒会役員改選			○	○	○					○				事前事後感想記入		
		商情	全商ビジネス計算実務検定	○		○			○				○				事前事後感想記入		
		進路	第1回学習時間調査			○	○	○	○			○	○			○	事前事後感想記入		
		教務	期末考査	○		○			○	○							事前事後感想記入		
		家庭	家庭クラブボランティア	○	○	○	○	○					○				感想記入		
		学級	体育祭選手選定			○	○		○	○							経過の記録		
		学級	文化祭関係話し合い			○			○	○	○		○	○	○		経過の記録		
		保健	防火防災訓練	○	○	○	○				○								
		進路	1年生進路講演会	○	○	○	○	○		○				○			ワークショップ・感想記入		
		教務	全校朝礼	○		○		○	○										
		学年	学年別朝礼	○		○		○	○										
		学科	学科別朝礼	○		○		○	○										
		生指	頭髪服装指導	○		○				○									
		進路	对外模試（普通科）	○		○			○	○				○			事前・事後感想記入		
		商情	全商ビジネス文書実務検定	○		○			○				○				(事前・事後感想記入)		
		教務	弁論大会	○	○	○	○	○			○		○	○			感想記入		
		生指	クラスマッチ	○		○			○				○				感想記入		
		進路	1学期の反省と2学期への決意	○		○			○	○				○			感想記入		
		教務	大掃除・終業式	○				○	○										
		進路	夏季課外	○	○	○				○				○					
		学級・学年	体育祭準備			○	○		○	○			○				経過の記録		
		学級・部	文化祭準備			○	○		○	○			○				経過の記録		
		教務	中学生一日体験入学	○		○		○		○			○				記録		
		進路	職業インタビュー	○		○	○										記録		
		進路	文理研究（普通科）	○		○	○										事前・事後感想記入		
		進路	オープンキャンパス	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	感想記入		
		生指	教育相談	○		○	○	○		○									

学 期	月	担当部署	企画名	基礎力			思考力				実践力				活動内容等 Classiにアップ (協 チ ー ム ワ ー ク)
				間接力授 け・礼儀 (基礎人)	実根思考 と・な実 る跨 学の 力材 へ料 知や	能 力 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	情報 収集力	す想 像力 ・未 来 を 予 測	課 題 を 発 見 す る 力	め客 観 的 に メ物 タ事 認 を 見 つ	論 理 的 思 考 力	ル思 考 シ ン ク リ ー テ 批 判 的	創造 する 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力
学期目標 未来の自分や社会を考える。															
一年生 (育成期) (基礎力養成期)	9	教務	始業式・大掃除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		学生	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		進路	課題実力検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
		それぞれ	体育祭練習・予行・会場設営	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
		体育	体育祭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		商情	全商英検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	10	学級・部	文化祭準備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		体育	体育科野外活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		商情	全商情報処理検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生指	文化祭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
		生指	学校生活アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	学生	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
		学年	普通科文理選択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		体育	持久走大会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入
		商情	全商ビジネス計算実務検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ワークショップ・感想記入
		保健	歯科講話	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		商情	日商簿記検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生指	校内読書会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		商情	全商ビジネス文書実務検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
二学期	12	進路	第2回学習時間調査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		教務	期末検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
		保健	防火防災訓練	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		家庭	家庭クラブボランティア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		学生	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
		進路	GTEC英語検定試験	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		商情	全商英検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入
		保健	救急法実習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		家庭	認知症サポート養成講習会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入
一年生 (基礎力養成期総まとめ→思考力養成期への移行期)	1	進路	2学期の反省と3学期の決意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入
		教務	大掃除・終業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
		進路	冬季課外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
		教務	始業式・大掃除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		学生	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		商情	全商商業経済検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入
		生指	安全教室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
		教務	学年末検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教務	日商簿記検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三学期	2	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		学生	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		商情	3年生卒業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教務	自宅学習期間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生指	クラスマッチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(事前・事後感想記入)
		進路	스타サポ(普通科)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		進路	合格体験を開く会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入
		進路	3学期と1年間の反省	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入
3	3	教務	修了式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教務	離任式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

学 期	月	担当部署	企画名	基礎力				思考力				実践力				活動内容等 Classiにアップ			
				間接力 （基礎人）	識根思考 （実践の力）	能力コ ミュニケ ーション	情報収集力	する想像力 ・未来を予測	課題を発見する力	めぐる観察力 （物事を見つ め）	論理的思考力	情報分析力 （シングル・ リンク）	思考力（批判的 思考）	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	リニア思考力 （アドバイス）	主体的な行動力	協働力 （ムードワーク）
学年目標		充実期(思考力養成期)：鹿南高魂を磨く。																	
学期目標		鹿南生としての初心に返る。																	
二年生 （充実期 （思考力養成期））	一 学 期	教務	入学式	○	○	○	○												
		教務	対面式	○	○	○	○	○	○										
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○										
		生指	服装頭髪指導	○	○					○									
		進路	課題実力考查		○	○	○	○	○					○			事前・事後感想記入		
		進路	進路希望調査①		○	○	○	○	○	○	○			○			記入		
		保健	健康診断	○				○											
		教務	三者面談	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
		学年	一日遠足	○	○							○			○	○	(感想記入)		
		生指	学校生活アンケート						○										
二年生 （充実期 （思考力養成期））	二 学 期	教務	全校朝礼	○	○	○	○												
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○												
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○												
		生指	頭髪服装指導	○	○					○							事前事後感想記入		
		教務	中間考查		○	○	○	○	○	○				○			(感想)		
		生指	情報モラル講座	○	○	○	○										(感想)		
		生指	交通安全教室	○	○	○	○	○									感想記入		
		生指	生徒総会	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	感想記入		
		教務	教育実習	○	○					○									
		教務	全校朝礼	○	○	○	○												
二年生 （充実期 （思考力養成期））	三 学 期	学年	学年別朝礼	○	○	○	○												
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○												
		生指	頭髪服装指導	○	○					○									
		進路	学習時間調査①							○									
		商情	日商簿記検定	○	○	○	○		○					○					
		生指	生徒会役員改選		○	○	○					○					事前事後感想記入		
		商情	秘書技能検定	○	○	○	○		○				○				(事前事後感想記入)		
		商情	全商ビジネス計算実務検定	○	○	○	○		○				○				(事前事後感想記入)		
		商情	全商簿記実務検定	○	○	○	○		○				○				(事前事後感想記入)		
		教務	期末考查	○	○	○	○	○	○				○				事前事後感想記入		
二年生 （充実期 （思考力養成期））	四 学 期	家庭	家庭クラブプロンティア	○	○	○	○	○					○				感想記入		
		生指	学校生活アンケート							○									
		学級	体育祭選手選定		○	○	○		○	○					○	○	経過の記録		
		学級	文化祭関係話し合い		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	経過の記録		
		保健	防火防災訓練	○	○	○	○			○				○					
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○											
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○											
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○											
		生指	頭髪服装指導	○	○					○									
		進路	对外模試（普通科）	○	○	○	○	○	○					○			事前・事後感想記入		
二年生 （充実期 （思考力養成期））	五 学 期	商情	全商ビジネス文書実務検定	○	○	○	○	○	○					○			(事前・事後感想記入)		
		教務	弁論大会	○	○	○	○	○	○		○		○	○			感想記入		
		生指	クラスマッチ	○	○	○	○		○					○		○	感想記入		
		進路	1学期の反省と2学期への決意	○	○	○	○	○	○					○			感想記入		
		教務	大掃除・終業式	○				○	○										
		進路	夏季課外	○	○	○				○				○					
		進路	小論文ガイドンス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
		進路	小論文模試	○		○			○					○					
		学年	体育祭準備（マグマ等）	○		○		○	○				○	○	○	○	経過の記録		
		学級	文化祭準備		○	○	○	○	○				○	○	○	○	経過の記録		
二年生 （充実期 （思考力養成期））	六 学 期	教務	中学生一日体験入学	○	○	○	○	○	○								記録		
		進路	学部学科研究	○	○	○	○										事前・事後感想記入		
		進路	オープンキャンパス	○	○	○	○	○	○		○	○							
		生指	教育相談	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	感想記入		

学 期	月	担当部署	企画名	基礎力			思考力				実践力			活動内容等 Classiにアップ		
				間接力 (基礎人)	根思考力 (基礎人)	能力コミュニケーション	情報収集力	する想像力・未来を予測	課題を発見する力	め客観的に物事を見つける力	論理的思考力	ル思考力・シナリオ分析力	情報発信力	課題を解決する力	リニア設計力	主体的な行動力
学期目標 多方面でその能力を發揮する。																
二年生 (充実期 (思考力養成期))	9	教務	始業式・大掃除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		進路	課題実力考査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		そらく	体育祭練習・予行・会場設営	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		体育	体育祭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		商情	全商英検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学級・部	文化祭準備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		体育	体育科野外活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		商情	全商情報処理検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		土活	文化祭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生指	学校生活アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		教務	中間考査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		教務	芸術鑑賞会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生指	交通安全教室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		商情	1・2年ビジネスマナー講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		進路	対外模試(普通科)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		進路	進路マップ(商情体)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生指	学校生活アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	二 学 期	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		体育	持久走大会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		商情	秘書技能検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		商情	全商ビジネス計算実務検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		保健	衛生講話	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		商情	日商簿記検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生指	校内読画会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		商情	全商ビジネス文書実務検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		保健	防火防災訓練	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		進路	学習時間調査②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		教務	期末考査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		家庭	家庭クラブボランティア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学年	教育講演会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		進路	GTEC実技検定試験	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学年	修学旅行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1	商情	全商財務諸表分析検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		商情	全商英検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		家庭	認知症サポートー養成講習会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		進路	2学期の反省と3学期の決意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		教務	大掃除・終業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		進路	冬季課外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二年生 (思考力養成期総まとめ→実践力養成期への移行期)	2	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		商情	全商商業経済検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		商情	秘書技能検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	生指	安全教室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		進路	就職確認テスト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		進路	対外模試(普通科)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		教務	学年末考査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		商情	職場体験学習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		商情	日商簿記検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		商情	インターンシップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		教務	3年生卒業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		教務	自宅学習期間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		進路	スタサボ(普通科、商情科)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		進路	就職確認テスト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生指	クラスマッチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		進路	合格体験を聞く会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		進路	3学期と1年間の反省	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		教務	修了式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		教務	卒業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

学 期	月	担当部署	企画名	基礎力			思考力				実践力				活動内容等 Classiにアップ			
				間接力 ～・礼儀 ～基礎人	識根思考 ～と/or 実践の 力の材 料へ知 や	能 力 コ ミ ニ ケ ー シ ヨ ン	情報 収集力	想 像 力・未 来を予 測	課 題 を 発見 する 力	め 客 的 に メ タ 事 を 見 つ く	論 理 的 思 考 力	ル 思 考 シ ン カ ー ク リ ー シ ン グ リ ー イ 判 的 的	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	リ 未 來 設 計 力 ～ ア イ カ ー キ ヤ		
学年目標		発展期(実践力養成期)：鹿南高魂を發揮する。																
学期目標		部活動や様々な活動の集大成をする。																
三年生 (発展期 (実践力 養成期))	4	教務	入学式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		教務	対面式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		生指	服装頭髪指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入 記入		
		進路	課題実力検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		進路	進路希望調査①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		保健	健康診断	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		進路	就職確認テスト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		教務	三者面談	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
		学年	一日透足	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
		生指	学校生活アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	5	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入 記入		
		教務	中間考査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	一学期	進路	就職模試	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		生指	交通安全教室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(感想)		
		生指	生徒総会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
		教務	教育実習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		進路	就職確認テスト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
		進路	対外模試（普通科）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
7・8	6	商情	日商簿記検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ワークショップ・感想記入		
		進路	普通科3年進路講演会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		進路	就職確認テスト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		生指	生徒会役員改選	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(事前・事後感想記入)		
		商情	秘書技能検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(事前・事後感想記入)		
		商情	全商ビジネス計算実務検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(事前・事後感想記入)		
		商情	全商簿記実務検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(事前・事後感想記入)		
		進路	学習時間調査①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入		
		教務	期末考査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入		
		家庭	家庭クラブボランティア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
	7	学級	体育祭選手選定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	経過の記録		
		学級	文化祭関係話し合い	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	経過の記録		
		生指	学校生活アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		保健	防火防災訓練	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	8	学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		進路	対外模試（普通科）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入		
		進路	就職確認テスト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
	7・8	教務	統一LHR（進路保障）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(事前・事後感想記入)		
		商情	全商ビジネス文書実務検定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		教務	弁論大会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
		生指	クラスマッチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
		進路	1学期の反省と2学期への決意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		
	8	教務	大掃除・終業式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入		
		進路	夏季課外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		進路	小論文ガイダンス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		進路	小論文模試	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		進路	就職選考会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	9	学級・学年	体育祭準備（応援団等）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	経過の記録		
		学級・部	文化祭準備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	経過の記録		
		進路	オープンキャンパス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入		
	10	生指	教育相談	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	感想記入		

学期	月	担当部署	企画名	基礎力			思考力					実践力				活動内容等 Classiにアップ (協働力ムーラーク)	
				間接力・礼儀(基礎人)	根思考となる学力(材料や知識)	能力(コミュニケーション)	情報収集力	する想像力・未来を予測	課題を発見する力	めぐる観察力(に物事を見つ)	論理的思考力	ル思考分析力(クニング)(批判的)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	リニア思考力を切り拓く力(アセスメント)	
学期目標		自分の生きる道を確定させる。															
三年生(発展期(実践力養成期))	9	教務	始業式・大掃除	○	○	○	○										
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○								
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○								
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○								
		生指	頭髪服装指導	○						○							
		進路	課題能力検査		○	○		○	○	○				○			事前・事後感想記入
		それ以外	体育祭練習・予行・会場設営	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
		体育	体育祭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
	10	進路	対外模試(普通科)	○	○	○	○	○	○	○							
		進路	就職相談開始	○						○				○	○	○	○
		商情	全商英検		○	○	○			○				○			
		学級・部	文化祭準備		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	体育	体育祭野外活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		商情	全商情報処理検定		○	○	○			○				○			
		生指	文化祭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○								
二学期	12	学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○								
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○								
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○			○							
		進路	対外模試(普通科)	○	○	○	○			○				○			事前・事後感想記入
		体育	持久走大会	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	感想記入
		商情	秘書技能検定	○	○	○	○			○				○			
		商情	全商珠算・電卓実務検定	○	○	○	○			○				○			ワークショップ・感想記入
		保健	歯科講話	○	○	○	○	○	○	○							
		商情	日商簿記検定	○	○	○	○			○				○			
		生指	校内説画会		○	○	○			○							
		商情	全商ビジネス文書実務検定	○	○	○	○			○				○			
三年生(実践力養成期総まとめ)	1	進路	学習時間調査②		○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	事前・事後感想記入
		教務	期末考査		○	○	○			○				○			事前・事後感想記入
		保健	防火防災訓練		○	○	○			○				○			
		家庭	家庭クラブボランティア	○	○	○	○	○					○				感想記入
	2	教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○								
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○								
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○								
		生指	頭髪服装指導	○	○	○	○	○	○								
	3	体育	ゴルフ美習(体育科)		○	○	○			○							
		進路	バッック模試(全3回)	○	○	○	○			○				○			
		商情	全商管理会計検定	○	○	○	○			○				○			
		商情	全商英検	○	○	○	○			○				○			
		進路	2学期の反省と3学期の決意	○	○	○	○	○	○					○			
		教務	大掃除・終業式	○	○	○	○	○	○					○			
		進路	冬季課外	○	○	○	○	○	○					○			
学期目標		社会へ飛び立つ最終準備をする。															
三年生(実践力養成期総まとめ)	1	教務	始業式・大掃除	○	○	○	○	○	○								
		教務	全校朝礼	○	○	○	○	○	○								
		学年	学年別朝礼	○	○	○	○	○	○								
		学科	学科別朝礼	○	○	○	○	○	○								
	2	生指	頭髪服装指導	○	○	○	○			○							
		進路	大学入学共通テスト		○	○	○			○							
		生指	教育相談	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事前・事後感想記入
		進路	対外模試(普通科)	○	○	○	○			○				○			
	3	商情	全商情報処理検定	○	○	○	○			○				○			
		商情	全商簿記実務検定	○	○	○	○			○				○			
		商情	課題研究発表会	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	
		体育	課題研究発表会	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	
		生指	学校生活アンケート		○	○	○			○				○			
		教務	卒業考査	○	○	○	○			○				○			
		教務	卒業式	○	○	○	○			○							
		教務	離任式	○	○	○	○			○							

使用教科書	『現代の国語』(東京書籍)	副教材等	『書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字』(桐原書店)・国語辞典
学習の到達目標	言語による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準						
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	思考する実力(基礎知識)や根拠	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を見つめる力	力客観的メタ認知	論理的思考力	ン力情報分析力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計力を切り拓く力	主体的な行動力	(協働力ムワーカ)	
一年(基礎力養成期) 一学期	4	〈読解編〉「木を見る、森を見る」	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	〔知技〕評論を読むために必要な語彙を身に付け、話や文章の中で使えるようになる。 〔思判表〕表現や構成に注意して読み、筆者の主張を読み取ることができるようになる。
	5	〈探究編〉「本を紹介する」	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕図書館の利用法を理解し、活用できるようになる。 〔主〕本を紹介するために、説明の仕方を考えて話すようする。 〔知技〕二項対立の表現に注意して読み、内容を整理できるようになる。 〔思判表〕筆者のものの見方や考え方を読み取り、日本文化の特徴について理解を深める。
	6	〈読解編〉「水の東西」	○	○	○			○	○	○								〔知技〕具体的な例示と筆者の意見に注意して読むことができるようになる。 〔思判表〕筆者独自の表現に注意して読み、コミュニケーションのあり方について考えを深める。
	7	〈読解編〉「身銭」を切るコミュニケーション	○	○	○			○	○	○								〔知技〕文章の構成や展開に注意して読むことができるようになる。 〔思判表〕時間と自由の関係について筆者の主張を的確に読み取り、自分に引き寄せて考えを深める。
一年(基礎力養成期) 二学期	9	〈読解編〉「時間と自由の関係について」	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕文章の構成や展開に注意して読むことができるようになる。 〔思判表〕時間と自由の関係について筆者の主張を的確に読み取り、自分に引き寄せて考えを深める。
	10	「真の自立とは」 〈探究編〉「1 課題の設定」	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕評論を読むために必要な語彙の獲得に努め、事例と意見を整理して読解できるようになる。 〔思判表〕自立のあり方についての考察を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 〔知技〕思考や発想を広げるための方法を知り、実践できるようになる。 〔主〕設定した課題について考えを整理し、意見をまとめられるようする。
	11	〈読解編〉「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕筆者の提示する問題を読み取って、整理できるようになる。 〔思判表〕構成や展開に注意して読み、人工知能と人間の違いについて考えを深める。 〔主〕評論文を積極的に読み、現代社会の問題を捉えて自分の考えをまとめられるようにする。
	12	〈探究編〉「2 情報の収集」	○	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○	○	〔知技〕メディアの性質を知り、活用して情報収集できるようになる。 〔主〕集めた情報を吟味し、伝えたいことを整理して、意見をまとめられるようにする。
一年(思考力養成期) 三学期	1	〈読解編〉「学ぶことと人間の知恵」	○	○		○		○		○	○		○	○	○	○	○	〔知技〕関連教材「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」と読み比べ共通点と相違点を整理できるようになる。 〔思判表〕物事を見つめる視点の重要性について理解を深める。 〔主〕筆者の主張をふまえ、自分の考えをまとめられるようにする。
	2	〈探究編〉「3 整理・分析」	○	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○	○	〔知技〕異なる主張の文章を読み比べ、違いを整理し他者に説明できるようになる。
	3																	

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査や課題実力考査
思考・判断・表現		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査や課題実力考査
主体的に学習に取り組む態度		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取り組み状況 ・話し合い活動や発表の状況

使用教科書	『高等学校言語文化』(教研出版)	副教材等	『高校生の語彙と漢字』古語辞典・国語辞典
学習の到達目標	国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感力・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の扱い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準				
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思想する・学実践(の知材料や根拠)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を見見する力	力客観的に物認知・見つめる	論理的思考力	情報分析力(データー批判的シンキング)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設未来計画力を切り拓くキャリア	主体的な行動力
一年(基礎力養成期) 一学期	4	古文入門「児のそら寝」	○	○				○	○					○		〔知技〕・古典を読むために必要なきまりや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 〔思判表〕・「読むこと」において、作品の成立した背景や経緯等を知り、古語と現代語の言葉とのつながりについて理解できるようになる。
	5	漢文入門「入門一」「入門二」	○	○				○	○					○		〔知技〕・漢文訓読のきまりについて理解できるようになる。
	6	羅生門	○	○		○		○	○	○			○	○	○	〔知技〕・比喩などの修辞について理解を深めていく。 〔思判表〕・登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考えをまとめられるようになる。
	7															
一年(基礎力養成期) 二学期	9	徒然草「神無月のころ」	○	○				○	○	○			○	○		〔知技〕・古典の世界に親しむために、文語のきまりや翻訳のきまり、特有の表現等を学ぶ。 〔思判表〕・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できるようになる。
	10	側転と三夏	○	○				○	○	○			○	○		〔思判表〕・小説表現の面白さを味わいながら、登場人物の行動や心情を読み取り、考察する。
	11	戦国策「漁夫之利」	○	○				○	○	○			○	○		〔知技〕・訓読の決まりを理解し、読むことが出来るようになる。 〔思判表〕・現在用いられる故事成語の多くが漢文に由来することを踏まえたうえで、故事成語の成り立ちへの理解を深める。
	12															
一年(思考力養成期) 三学期	1	伊勢物語「芥川」	○	○				○	○	○			○	○		〔思判表〕・話の展開を読み取り、歌に込められた男の心情について理解を深める。 〔主〕・歌物語の特徴を理解し、その表現の手法やテーマに沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えることができるようになる。
	2	十八史略「鷦鷯牛後」	○	○				○	○	○			○	○		〔主〕・話の展開や登場人物の言動を読み取り、十八史略の面白さを味わう。
	3															

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考査や課題実力考查
思考・判断・表現		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考査や課題実力考查
主体的に学習に取り組む態度		言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の扱い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	東京書籍『精選言語文化』	副教材等	浜島書店『パスワード級別漢字』, 古語辞典
学習の到達目標	国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感力・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の扱い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

学 期	月	単元名	基礎力										思考力				実践力				活動内容・評価規準
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思想する実践力(知能)の実践力(材料や根拠)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力	課題を見見する力	力客観的(認物事を見つめる	論理的思考力	シグマ分析力(批判的・批判的思考)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設未計画力(切り拓くキャリア)	主体的な行動力	協働力(ムームワーク)				
二年(基礎力養成期)	4 5	十訓抄「大江山の歌」	○	○				○	○	○				○		○		[知技]・古典を読むために必要なきまりや古典特有の表現などについて理解できるようになる。 [思判表]・古語と現代語の言葉とのつながりについて理解できるようになる。			
	6	枕草子「ありがたきもの」	○	○				○	○	○	○			○		○		[知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。			
	7	小説「鏡」(村上春樹)	○	○				○	○	○	○	○		○		○		[知技]・小説の鑑賞方法を習得する。 [思判表]・登場人物の心理、行動を的確に読み取ることができるようになる。			
二年(思考力養成期)	9 10	詩文「雜説」	○	○				○	○	○	○			○		○		[知技]・比較的長い、平易な文章に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 [思判表]・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できるようになる。			
	11	作り物語「竹取物語」	○	○				○	○	○	○			○		○		[思判表]・登場人物の心理を読み取る。 [知技]・口語訳の力を身に付ける。 [主]・作り物語に表れた多様な思いを的確に捉えようとしている。			
	12	小説「富岳百景」(太宰治)	○	○				○	○	○	○	○		○		○		[知技]・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 [思判表]・内容や構成、展開などについて叙述を踏まえ、内容の解釈を深めている。 [主]・主人公の心情変化と、富士山や周囲の人々についての描写に注意して、小説を読み味わおうとしている。			
二年(応用力養成期)	1	日記「土佐日記」	○	○		○		○	○	○	○			○		○		[知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができますようになる。			
	2	史話「管鮑之交」	○	○	○			○	○	○	○			○		○		[知技]・比較的長い、平易な文章に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 [思判表]・「読むこと」において、作品や文章に表されているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できるようになる。 [主]・史話のおもしろさを味わおうとしている。			
	3	俳諧「奥の細道」 思想「孟子」	○	○				○	○	○	○			○		○		[知技]・古典の世界に親しみ、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができますようになる。 [主]・進んで比喩表現を多用した論理展開について理解し、学習課題に沿って、思想に興味をもとうとしている。			

			評価の観点内容										評価方法				
知識・技能			生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになつたか。										<ul style="list-style-type: none"> 知識や技能の習得を問う小テスト 定期考査や課題実力考査 				
思考・判断・表現			論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。										<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 話し合い活動や発表 定期考査や課題実力考査 				
主体的に学習に取り組む態度			言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の扱い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。										<ul style="list-style-type: none"> ノートの記入状況 課題の取組状況と提出状況 授業、話し合い活動、発表での態度 				

使用教科書	東京書籍『新編論理国語』	副教材等	浜島書店『パスワード級別漢字』, 国語辞典
学習の到達目標	国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感力・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の扱い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

学 期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準
			力挨拶 礼儀 (基礎人間 の知能) の実踐 能力	と思想 する能 力(基 礎人間 の知能) の実踐 能力	コ ミ ニ ケ シ ョ ン 能 力	情 報 収 集 力	力想 像 力 ・未 來 を 予 測 す る	課 題 を 発 見 す る 力	力客 観 的 に 認 物 知 事 を 見 つ め る	論 理 的 の 思 考 力	シ グ (情 報 分 析 テ ク ニ ك の 思 考)	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	設 本 計 算 力 を 切 り 拓 く キ ャ リ ア
二年 (基礎力養成期)	4 5	「対話とは何か」「世界をつくり替えるために」	○	○	○		○	○	○	○				○	[知技]・評論を読むために必要な語彙を身に付ける、論理の構造について理解できるようになる。 [思判表]・表現の特徴に気をつけながら筆者の主張を読み取ることができるようになる。
	6	「少女たちの『ひろしま』」	○	○			○	○	○	○	○		○	○	[知技]・戦時下の日常や悲劇に思いを巡らし、時代や社会背景について理解できるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。
	7	「『ふしぎ』ということ」	○	○			○	○	○	○	○		○	○	[知技]・具体例を手がかりに論理的に考える方法を習得する。 [思判表]・具体例が導く筆者の主張を的確に読み取り、自らの考えを深められるようになる。
一年 (思考力養成期)	9 10	「学ぶことと人間の知恵」「ラップトップを抱えた『石器人』」	○	○			○	○	○	○	○		○	○	[知技]・文のつながり、事実と主張の関係に注意して文章を読めるようになる。 [思判表]・人間の思考や学ぶことの意義、人間の脳の働きについて考え、理解を深める。
	11	「思考の肺活量」「安心について」	○	○			○	○	○	○	○		○	○	[知技]・比喩表現とその働き、意義を理解する。 [思判表]・筆者の主張する思考のあるべき姿、安心というものの本質について理解を深める。
	12	「弱肉強食は自然の摂理か」「複数の『わたし』」	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	[知技]・筆者の提示する言いや根拠に注意して読むことができるようになる。 [思判表]・論理展開に留意しながら的確に筆者の主張を理解し、自分のことばで説明できるようになる。
二年 (応用力養成期)	1	「はじめに『言葉』がある」	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	[知技]・筆者の経験を手がかりに働くことと言葉の関わりについて考える。 [思判表]・筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、言葉についての理解を深める。
	2	「楽に働くことと、楽しく働くこと」	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	[知技]・「楽」と「楽しく」の意味を考えながら対比的に読むことができるようになる。 [思判表]・筆者の「働くこと」についての物の見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。 [主]・自らの労働観を深めようとしている。
	3	「情景のなかの労働」	○	○			○	○	○	○	○		○	○	[知技]・取り上げられた事例を的確に読み取ることができるようになる。 [思判表]・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。 [主]・筆者の主張をふまえ、自分の考えをまとめられるようになる。

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考查や課題実力考查
思考・判断・表現		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考查や課題実力考查
主体的に学習に取り組む態度		言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の扱い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	東京書籍『新編論理国語』	副教材等	浜島書店『パスワード級別漢字』, 国語辞典
学習の到達目標	国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的思考力や共感力・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考え、言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

学期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準				
			力挨拶・礼儀 基礎人間 性	ヒカル 思考する 実践力 の知 能	コミュニケーション 能力	情報 収集力	方 想像 力 の未 来を予 測す る	課 題を発 見する 力	方 客観的 的 の思 考力	論 理的 的 の思 考力	シ ン ク 情 報 ク ー 解 析 リ テ ー カ 批 判 シ ン 思 考	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	設 計 未 來 力 を切 り拓 く 主 体 的 な 行 動 力	協 同 作 業 力 ム ワ ー ク	
一学期	4	「最初のペンギン」「豊かさと生物多様性」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】・評論を読みるために必要な語彙を身に付ける・論理の構造について理解できるようになる。 【思判表】・表現の特徴に気をつけながら筆者の主張を読み取ることができるようになる。
	6	「物語の外から」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】・取り上げられた事例を的確に読み取ることができるようになる。 【思判表】・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ることができるようになる。 【主】・筆者の主張をふまえ、自分の考えをまとめられるようになる。
	7	「ロボットが隣人になるとき」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】・具体例を手がかりに論理的に考える方法を習得する。 【思判表】・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈できるようになる。 【主】・積極的に筆者の哲学的な思考を、「自由意志をもったロボットを作ることができる」ことが可能か否かを考えることを通して理解し、人間の意志や自由について考えを深めようとしている。
三年(実力養成期) 二学期	9	「科学的『発見』とは」	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】・具体例を手がかりに論理的に考える方法を習得する。 【思判表】・具体例が導く筆者の主張を的確に読み取り、自らの考えを深められるようになる。
	10	「言葉は『ものの名前』ではない」	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】・文のつながり、事実と主張の関係に注意して文章を読めるようになる。 【思判表】・文のつながり、事実と主張の関係に注意して文章を読めるようになる。 【主】・粘り強く具体例をもとに言語と認識の関係についての筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って言葉の働きについて考えをまとめ、話し合おうとしている。
	11	「知識における作者性と構造性」	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしていく。
	12	「もう一つの知性」														【思判表】・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。
三学期	1	「ホンモノのおカネの作り方」	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】・具体例を手がかりに論理的に考える方法を習得する。 【思判表】・文章の構成や論理の展開、表現の仕方にについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主】・進んで筆者の示す問題提起と結論を具体例から読み取り、学習課題に沿って抽象的な「貨幣」というものの本質について、経済の仕組みとともに理解を深め、話し合おうとしている。
	2															
	3															

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになったか。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考查や課題実力考查
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができたか。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考查や課題実力考查
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養えたか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	「地理総合 世界に学び地域へつなぐ」 「新詳 高等地図」	副教材等	「地理総合ワークブック」
学習の到達目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働きかせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		

学 期	月	单元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容等							
			力挨拶・礼儀儀へ基礎人間	換思考なる実践学への材料知識や根	力コニミニニケーション能	情報収集力	る想像力・未来を予測する力	課題を見見する力	る客観的ヘメタ認事知を見つめ	論理的思考力	創造する力	情報分析力(クレーリング)	情報力(クリティカルの思	ア未来設計力を切り拓くキャリ	主体的な行動力	「協働力」「ムワーカ」			
一年（基礎力養成期）	4	地図とGISの活用 1 球面状の世界 2 日本の位置と領域 3 国内や国家間の結びつき 4 暮らしの中の地図とGIS	○	○	○	○			○	○	○				○	○	〔知技〕 地球上での位置の示し方を理解し、日常生活における時差計算の技能を身に付ける。 〔知技〕 世界地図の様々な図法の特色を捉え、グローバルな立場から日本の領域を理解する。 〔思判表〕 統計地図やグラフを読み取る技能を身に付け、資料を根拠に課題解決の方策を考える。 〔知技〕 地図やGISを活用する技能を身に付ける。		
																		〔知技〕 世界的な視野から地形環境や気候環境の全体像を捉え、地図や各種資料から地域ごとの特色について理解する。 〔思判表〕 世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成立した現状を考え、その多様性を宗教や言語などの分布を示した主題図などの資料から理解し、背景を考察する。	
	6		○	○	○		○		○						○			〔知技〕 世界の視野から地形環境や気候環境の全体像を捉え、地図や各種資料から地域ごとの特色について理解する。 〔思判表〕 世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成立した現状を考え、その多様性を宗教や言語などの分布を示した主題図などの資料から理解し、背景を考察する。	
																		〔知技〕 世界の視野から地形環境や気候環境の全体像を捉え、地図や各種資料から地域ごとの特色について理解する。 〔思判表〕 世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成立した現状を考え、その多様性を宗教や言語などの分布を示した主題図などの資料から理解し、背景を考察する。	
	9	世界各地の生活文化 1 東アジア 2 ASEAN諸国 3 南アジア	○	○	○		○	○	○	○					○			〔知技〕 社会経済システムの変化に焦点を当て、中国や韓国を例にその特徴を捉える。 〔知技〕 多民族社会と地域統合に焦点を当て、多様な文化をもつ東南アジアについて理解する。 〔思判表〕 南アジアの水資源に焦点を当て、水資源と宗教、農業、文化や産業の関わりを各種資料をもとに考察する。	
																		〔知技〕 社会経済システムの変化に焦点を当て、中国や韓国を例にその特徴を捉える。 〔知技〕 多民族社会と地域統合に焦点を当て、多様な文化をもつ東南アジアについて理解する。 〔思判表〕 南アジアの水資源に焦点を当て、水資源と宗教、農業、文化や産業の関わりを各種資料をもとに考察する。	
	11		○	○	○		○	○	○	○					○			〔知技〕 イスラームに焦点を当て、気候条件や宗派、資源などの視点から考察を深める。 〔知技〕 自然環境や生活文化の多様性に焦点を当て、アフリカの課題について考える。 〔思判表〕 産業の発達と地域統合に焦点を当て、ヨーロッパを例に多様性と一体化をもつ産業の特徴や背景を主題図やグラフをもとに捉える。	
																		〔知技〕 イスラームに焦点を当て、気候条件や宗派、資源などの視点から考察を深める。 〔知技〕 自然環境や生活文化の多様性に焦点を当て、アフリカの課題について考える。 〔思判表〕 産業の発達と地域統合に焦点を当て、ヨーロッパを例に多様性と一体化をもつ産業の特徴や背景を主題図やグラフをもとに捉える。	
二学期	12	イスラーム圏 アフリカ EUと周辺諸国 ロシア 8 アメリカ・カナダ 9 ラテンアメリカ 10 オセアニア	○	○	○		○	○	○	○					○			〔知技〕 社会経済システムのグローバル化に焦点を当て、アメリカやカナダを例に多民族社会とその歴史的背景について理解する。 〔知技〕 開発に焦点を当て、ラテンアメリカの農業や鉱業などの産業の多様性の背景を考える。 〔思判表〕 開発に焦点を当て、植民の歴史とそこに展開する産業を主題図や各種資料から捉える。	
																		〔知技〕 社会経済システムのグローバル化に焦点を当て、アメリカやカナダを例に多民族社会とその歴史的背景について理解する。 〔知技〕 開発に焦点を当て、ラテンアメリカの農業や鉱業などの産業の多様性の背景を考える。 〔思判表〕 開発に焦点を当て、植民の歴史とそこに展開する産業を主題図や各種資料から捉える。	
	1	地球的課題と国際協力 1 地球環境問題 2 資源・エネルギー問題	○	○	○	○	○		○	○	○				○	○	○	〔知技〕 地球環境問題がグローバルな問題であるとともに、自らの問題でもあることをSDGsを踏まえて認識する。 〔主〕 各種資源について、分布の偏在やそれによるともなう格差、資源の枯渇などの問題とその解決に向けた取り組みをSDGsに関連づけて捉える。	
	2		○	○	○	○	○		○	○	○				○	○	○	〔思判表〕 人口が急増する世界の現状を捉え、人口ピラミッドや相関図などの資料から人口問題の構造と地域差を捉え、その背景や問題点を整理する。 〔主〕 都市に人口が集中する現状とそれによるともなう問題を捉え、都市計画とSDGsと関連づけながら解決策を考える。	
一年（思考力養成期）	3	3 人口・食糧問題 居住・都市問題 生活圏の諸課題 1 日本の自然災害と防災 2 生活圏の諸課題と地域調査	○	○	○	○	○		○	○	○				○	○	○	〔知技〕 日本列島の自然環境の特徴を理解し、自然災害の事例についてハザードマップや気象情報などを活用する技能とともに捉える。 〔主〕 日本が抱える地域的な課題について、身近な事例を取り上げ、少子高齢化や過疎化について調査の技能を身に付ける。	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	現代世界の地理的事象についての基本的知識を身につけ、相互の関連について理解し、地図の独図や資料の読み取りなどの地理的技能を身に付けたか。	定期検査、課題実力考査
思考・判断・表現	現代世界の地理的事象について、地域性や歴史的背景を踏まえ、地理的見方・考え方から考察し、地理情報を活用して表現できるか。	授業態度（ノート、提出物の状況、授業中の発問に対する応答、机間巡回など。） ・作業学習への取り組みと成果
主体的に学習に取り組む態度	周囲と協働して積極的に地理的問題について考察を深め、地理を学ぶことを自己の成長につなげることができたか。	

使用教科書	高等学校 公共(第一学習社)	副教材等	公共ノート(第一学習社)
学習の到達目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働きかせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		

学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思考・学実践への知識(材料や根拠)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を見出す力	力客観的・物事を見つめる力	論理的思考力	シグマ分析力(批判的・批判的思考)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計力を切り拓くキャリア	(協働力)(チームワーク)
一年(基礎力養成期)	4	第1編 公共の扉 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主】社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他人との協働により社会として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。 【知技】古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。
	5	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。
	6	主題2 契約と消費者の権利・責任 主題3 司法参加の意義 1 判決と人権保護	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停・解決することを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 【思判表】個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なことと、国民が果たすべき責任を考える。
	7	第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論の形成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。 【思判表】民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を考える。
	9	主題6 日本の安全保障と防衛 主題7 國際社会の変化と日本の役割	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】日本憲法の平和主義の下、私たちが果たすべき責任を理解する。 【思判表】国際社会を実現するために必要な日本の役割を考察する。
	10	第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】公正かつ自由な経済活動をおこなうことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 【思判表】少子高齢化による労働力不足が問題となる中、活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために必要なことを理解する。
	11	主題10 市場経済の機能と限界 主題11 金融のはたらき	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】公正で自由な経済活動を通して、市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解する。 【思判表】経済において、金融市場はどのような役割を果たしているのかを考える。
二年(思考力養成期)	1	主題12 財政の役割と社会保障	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思判表】少子高齢化が進む中で、財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府はどのような役割を果たしていくべきかを考える。
	2	主題13 経済のグローバル化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思判表】経済がグローバル化する中で、貧困や格差などの問題を乗り越え、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や私たちがどうあるべきか考える。
	3	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主】持続可能な地域、国家、社会及び国際社会づくりに向けての役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義などに着目して、現代の諸課題を探究する活動を行う。

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめていく。	・知識や技能の習得を問う小テスト ・定期考查や課題実力考查
思考・判断・表現		現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	・ワークシート ・話し合い活動や発表 ・定期考查や課題実力考查
主体的に学習に取り組む態度		よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業、話し合い活動、発表での態度

使用教科書	歴史総合 (実教出版)	副教材等
学習の到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題の追究・解決の活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。	

学 期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力挨拶 (礼儀) と思 考・ 学実 力の (知 識) 基 礎人 間	と 思 考・ 学実 力の (知 識) 基 礎人 間	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ヨ ン 能 力	情 報 収 集 力	力想 像 力 ・ 未 來 を 予 測 す る 力	課 題 を 発 見 す る 力	力客 観 的 ・ 未 來 を 予 測 す る 力	論 理 的 思 考 力	ン グ ー ー ク リ テ ク ニ カ ル 的 思 考 力	創造 す る 力	情 報 情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	設 計 未 來 を 切 り 拓 く 力	主 体 的 な 行 動 力
一 学 期	4	歴史の展 1 歴史と私たち 2 歴史の特質と資料 第1編 近代化と私たち 近代化への問い 第1章 近代化への転動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕高校の歴史学習の動機付けと以後の学習に必要な歴史学習の基本的な機能や学び方を身に付ける。 〔技術〕「歴史の展開」と「歴史の展」の学習をふまえ、諸資料を活用して情報を読みこなしたりまとめてからする技能を習得する。 〔思判断〕人々の生活や社会のあり方を近代化にともない変化したことについて考察するための問い合わせをする。 〔知技〕18世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解する。 〔思判断〕18世紀とその後の日本における経済活動の特徴、清などのアジア諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。
	5	第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解する。 〔思判断〕市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現する。 〔主〕市民革命や産業革命がもたらした課題について、解決策を追究しようとする。
	6	第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解する。 〔思判断〕国民国家の形成・発展による对外戦争や差別・抑圧について考察し、自分の言葉で表現する。 〔主〕国民国家の形成が社会に与えた影響について、追究しようとする。
	7	第4章 帝国主義の時代 近代化と現代的な諸課題	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○	〔知技〕欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国との連などを基に、アジアの政治・社会を理解する。 〔思判断〕ヨーロッパアジア諸国が欧米諸国に与えた影響などを着目して、アジア諸国との関係などを考察し、表現する。 〔主〕欧米諸国の帝国主義の動きや日本とアジア諸国との関係が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとする。
三年 (実践力養成期)	9	第2編 國際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会	○	○	○		○	○				○				〔知技〕国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、ワールドユートピアと呼ばれた国際秩序と、国際社会や各國に生じた政治・社会・文化の変化を理解する。 〔思判断〕第一次世界大戦から終戦までの国際関係を比較することで、戦争の運営や人々に与えたたらしと特徴と、新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現する。 〔主〕ワールドユートピアに基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような問題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究しようとする。
	10	第6章 経済危機と第二次世界大戦 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕世界恐慌から第二次世界大戦の終焉に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解する。 〔思判断〕ワーカシズム体制の形成から終焉に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争へ協力していくのか考察し、自分の言葉で表現する。 〔主〕大戦が戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策について追究しようとする。
	11	第3編 グローバル化と私たち グローバル化への問い 第7章 冷戦と脱植民地化	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	〔知技〕冷戦の終結とグローバル化の進展などのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとする。
	12	第8章 多極化する世界 第9章 グローバル化と現代世界	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	〔知技〕1960年代から80年代を中心に、冷戦下における各国の選択と経済成長について理解する。 〔思判断〕冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現している。 〔主〕冷戦期における各戦争の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのか考察し、解決策について追究しようとしている。 〔思判断〕冷戦終結とグローバル化の進展や地域複合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自分の言葉で表現している。 〔主〕冷戦の終結とグローバル化の進展などのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。
三 学 期	1	第8章 多極化する世界 第9章 グローバル化と現代世界	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	〔知技〕1960年代から80年代を中心に、冷戦下における各国の選択と経済成長について理解する。 〔思判断〕冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現している。 〔主〕冷戦期における各戦争の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのか考察し、解決策について追究しようとしている。 〔思判断〕冷戦終結とグローバル化の進展や地域複合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自分の言葉で表現している。 〔主〕冷戦の終結とグローバル化の進展などのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。
	2															
	3															

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	歴史用語とその内容を理解できるか。現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史の流れを理解できるか。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができるか。	・授業への取り組み ・提出課題、レポート ・定期考查、小テスト ・ディスカッション ・グループワーク
思考・判断・表現	歴史的事象の意義を、相互の関連に着目して考察することができるか。歴史の中の課題を把握し解決をめざして構想することができるか。考察、構想到了他者に説明し議論することができるか。	
主体的に学習に取り組む態度	協働して積極的に学ぼうとする姿勢が見られたか。よりよい社会の形成を視野に、課題を追究・解決しようとする態度が見られたか。歴史を学ぶことを人間としての成長につなげることができたか。	

使用教科書	数学 I Standard (東京書籍)	副教材等	類比方式による2024 数学 I・A 問題集 (九数教)
学習の到達目標	数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量、及びデータの分析について理解し、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにする。		

評価基準	評価方法
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できたか。数学と人間の活動の関係について認識を深めることができたか。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いているか。
思考・判断・表現	性質を見いだし、論理的に考察することができたか。性質などに基づいて判断することができたか。数学と人間の関わりに着目し、事象に数学的構造を見いだし、数理的に考察することができるか。
主体的に学習に取り組む態度	積極的に学ぼうとする姿勢が見られたか。数学のよさを認識し数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしているか。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしているか。

使用教科書	数学A Standard (東京書籍)	副教材等	類比方式による 2023 数学 I+A (九数教)
学習の到達目標	場合の数と確率、図形の性質について理解し、数学と人間の活動の関係について認識を深め、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。		

学 期	月	单元名	基礎力										思考力				実践力				活動内容・評価規準
			力接 拶・ 礼儀 へ基 礎人 間	概念 と考 る実 践的 学習 力の へ材 料や 根 據	方 コ ミ ニ ケ シ ョ ン 能	情 報 収 集 力	想 像 力 ・未 來 を予 測 す る 力	課 題 を発 見 す る 力	客 觀 的 の メ タ 物 事 象 認 知 を見 つ め	論 理 的 な 思 考 力	シ ン 考 情 緒 的 な 思 考 力	ク リ カ ー ク リ シ ス ト 批 判 的 的 シ ン 思 考 力	創 造 す る 力	情 報 収 集 力	課 題 を解 決 す る 力	主 体 的 な 行 動 力	協 働 力 ・ム ワ ー ク				
一 学 期	4	1章 案の数と確率 1節 集合と案の数 ・数え上げの原則と 集合の要素の個数 ・順列	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・和集合・補集合の要素の個数、和の法则や積の法则を利用した案の数を求めることができる。 ・順列の意味を理解し、その総数n!や階乗の計算をすることができる。また、円順列や重複順列など、いろいろな順列の計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・既習事項を利用して、問題解決に向けて式を適切に立てたり、変形できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論理に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。		
	5	・組合せ 2章 確率とその基本性質 ・事象と確率 ・確率の基本性質	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・組合せの意味を理解し、その総数nCrを、順列との関係によって求めることができる。また、組合せの考え方を、組分けや同じものを含む順列に応用することができます。 ・事象を集合で表したり、事象の確率を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・既習事項を利用して、場合の数や確率を多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論理に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。		
	6	3節 いろいろな確率 ・独立な試行の確率 ・反復試行の確率	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・独立な試行の確率について、具体例を通してその意味を理解し、その確率を求めることができる。 ・反復試行の確率を理解し、反復試行の確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・独立な試行の確率はそれぞれの事象の確率の積に等しいことに着目し、具体例を通して考察する。 ・反復試行の確率について、組合せの考え方と関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論理に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。		
	7	・条件付き確率 ・期待値	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し、条件付き確率を求めることができる。 ・期待値について理解し、期待値を求めたり、期待値を利用して確率を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・これで求めた確率と条件付き確率の違いを説明することができる。 ・期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論理に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。		
	9	2章 図形の性質 1節 三角形と比 ・三角形の外心・内心・重心	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解している。 ・角の大きさや線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・既約の証明を利用し、他の証明に活かすことができる。また、その証明について、様々な性質を利用しながら考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論理に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。		
	10	・三角形の比の定理 2節 円の性質 ・円の性質 ・方べきの定理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・チバの定理、メネラウスの定理を利用していろいろな辺の長さや比を求めることができる。 ・円に関する基本的な性質について理解している。 ・角の大きさや線分の長さを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・既約の証明を利用し、他の証明に活かすことができる。また、その証明について、様々な性質を利用しながら考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論理に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。		
	11	・2つの円 3節 空間図形 ・空間における直線・平面の位置関係 ・直線と平面の関係	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・2つの円の位置関係から補助線を引くことによって、線分の長さを求めることができる。 ・空間における直線・2平面のなす角を求めることができる。 ・空間における直線・平面の位置関係が垂直であることを示すことができる。 【思考・判断・表現】 ・2つの円の位置関係を理解し、そこから現れる図形の性質を利用して、2つの円の共通接線の本数を考察したり、説明したりすることができる。 ・空間における直線・平面の位置関係が垂直になる場合について、直線上に着目して考察したり、説明したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論理に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。		
二年 (思考力養成期)	12	作図の方法の考察	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思考・判断・表現】 ・円の外部の点から接線を2本引いたときの接線の始点と円の接点との関係に気付き、その関係を利用して接線の作図の考え方を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論理に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。		
	1	3章 数学と人間の活動 1節 教える ・教との出会い ・教の拡張	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・n進法の特徴を理解している。 ・ヨークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて2つの正の整数の最大公約数を求めるこができる。 【思考・判断・表現】 ・n進法の特徴について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論理に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。		
	2	数学I・数学Aの復習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・基本公式・定理を正しく用いることができる。 【思考・判断・表現】 ・既習内容を利用し、いろいろな問題に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論理に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。		
二年 (実践力養成期)	3																				

評価の観点内容										評価方法								
知識・技能										授業態度（主体的に学習に取り組む態度） 課題（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） 課題実力検査（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） 定期検査、小テスト（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） グループワーク								
思考・判断・表現										既習内容を利用し、いろいろな問題に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く考え、数学的論理に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。								
主体的に学習に取り組む態度										積極的に学ぼうとする姿勢が見られたか、数学のよさを認識し数学を活用したり、粘り強く考え数学的論理に基づいて判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。								

使用教科書	数学Ⅱ Standard（東京書籍）	副教材等	
学習の到達目標	数学的な見方・考え方を働きかせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。数学のよさを認識し数学を活用しようとするとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとするとする態度や創造性の基礎を養う。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			開拓力 (探求) 礼儀 (基礎人)	基礎思考と 実践する学 材への知り や)	能 力 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	情報収集力	す想 る像 力	課題を発見 する力	め客 観的 に物 事を見 る力	論理的 的思 考力	情報 シ カ 分 析 ン グ リ ー テ ク ニ ク 的 判 的 的	創造する 力	情報 発信力	課題を解 決する 力	リ未 来設 計を切 り拓く 力	主体的 な行 動力	へ挑 戦的 力 ム ワ ー ク
三年 (基礎力養成期)	一学期	1 方程式・式と証明 ①多項式・分数式の計算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(知識・技能) ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け、多面的に考察することができる。 (思考・判断・表現) ・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすることができる。 (主体的に学習に取り組む態度) ・粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとする。
		②2次方程式 ③高次方程式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(知識・技能) ・2次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解している。
		④式と証明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(思考・判断・表現) ・実数の性質や等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができます。
	二学期	2 図形と方程式 ①点と直線 ②円 ③軌跡と領域	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(知識・技能) ・座標を用いて、平面上の線分を内分・外分する点の位置や2点間の距離を表すことができる。 (知識・技能) ・座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(知識・技能) ・不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすることができる。
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(知識・技能) ・指數を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指數法則を用いて数や式の計算をすることができる。 (知識・技能) ・指數関数及び対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、指數関数及び対数関数のグラフをかくことができる。 (思考・判断・表現) ・指數関数及び対数関数の性質を用いて、数の大小について判断することができる。
	三学期	4 指数関数・対数関数 ①指數関数 ②対数関数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(知識・技能) ・常用対数の意味を理解し、常用対数を用いて、値を求めることができる。
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(知識・技能) ・微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。 (思考・判断・表現) ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
		5 微分と積分 ①微分の考え方 ②積分の考え方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(知識・技能) ・微分係数と積分の関係着目し、積分の考え方を用いて直線や関数のグラフで閉まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できるか。数学と人間の活動の関係について認識を深めることができたか。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けたか。	・授業態度（主体的に学習に取り組む態度） ・課題（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）
思考・判断・表現	性質を見いだし、論理的に考察することができたか。性質などに基づいて判断することができたか。数学と人間の関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察することができる。	・課題実力検査（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ・定期考査、小テスト（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度） ・グループワーク
主体的に学習に取り組む態度	積極的に学ぼうとする姿勢が見られたか。数学のよさを認識し数学を活用したり、粘り強く考え方数学的論理に基づいて判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	

使用教科書	高等学校 科学と人間生活(第一学習社)	副教材等	新課程版ネオパルノート科学と人間生活(第一学習社)
学習の到達目標		<ul style="list-style-type: none"> 自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解する。 身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深める。 自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する。 	

学期	月	单元名	基礎力										思考力				実践力				活動内容・評価規準
			換移 礼儀 基礎 問題力	な思 考・学 力実 践知 識材 料等 根拠 能力	コ ミュ ニケ ーシ ョン 能 力	情報 収集 力	想像 力・未 来を 予測 する 力	課題 を見 出す 力	客觀的 に物 事を見 る力	論理的 的思 考力	情 報 ア ナ リ シ ス ト 力	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	課題 を解 決す る 力	計 画 未 來 方 案 を 作 り 立 て る 力	主 体 的 な 行 動 力	一 子 「 力 」 ム ワ ー ク				
一年 (思考力養成期)	4	第Ⅰ章 物質の科学Ⅰ 第1節 材料とその利用 ①プラスチックの特徴 ②プラスチックの分類と用途 (1)	○	○	○	○	○	○						○				【知識・技能】・わたしたちの身のまわりにあるプラスチックの特徴と、プラスチックの原体について概ね理解する。 ・プラスチックやその材料となる物質は、おもに炭素原子と水素原子からなる有機物であることの知識を身に付けている。			
	5	第Ⅰ章 物質の科学Ⅱ ③プラスチックの分類と用途 (2) ④さまざまなプラスチック ⑤金属と人間生活 ⑥金属とその製鍊 (1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				【知識・技能】・高吸水樹脂、導電性樹脂、光透過性樹脂、生分解性プラスチックなどの新しいプラスチックの性質や用途について理解している。 ・プラスチックの性質と用途について、実験・練習などを通じて科学的に理解できる。 ・熱に対する性質を調べることによって、プラスチックを熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂に分類することができると理解している。			
	6	第Ⅰ章 物質の科学Ⅲ ⑦金属とその製鍊 (2) ⑧金属のさびと合金 ⑨資源の再利用 (1) ⑩資源の再利用 (2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				【知識・技能】・鉄について、その性質や製鍊方法、利用法などについて理解している。 ・アルミニウムと銅について、その性質や製鍊方法、利用法などを、実験・観察を通じて科学的に理解している。 ・資源の再利用と開拓・開拓の違い、特にプラスチックがどのように再利用されるか理解している。 【知識・判・表】・金屬とガラスの再利用を学び、再利用の必要性について科学的に認識する態度を身に付けている。			
	7	第Ⅱ章 生命の科学Ⅰ 第1節 ヒトの生命現象 ①タンパク質のはたらきと構造 ②遺伝子とDNA ③タンパク質の合成 ④血糖濃度の調節	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				【知識・技能】・タンパク質の構造やはたらきについて、理解している。 ・遺伝子として認められているヒトの形質に興味を抱き、DNAの構造や特徴、塩基配列の重要性について理解している。 ・DNAの塩基配列、タウポウ質の構造、翻訳のしくみについて関心をもち、転写・翻訳のしくみについて理解している。 【知識・判・表】・内部環境の維持の重要さについて理解し、血糖濃度の調節のしくみに関する知識を習得している。			
	9	第Ⅱ章 生命の科学Ⅱ ⑤血糖濃度と糖尿病 ⑥病原体の排除 (1) ⑦病原体の排除 (2) ⑧ヒトの視覚 (1) ⑨ヒトの視覚 (2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				【知識・技能】・身近な病気である糖尿病について関心をもち、糖尿病の原因・治療法、注意点などを理解している。 ・生体防御のうち、免疫的・化学的な防衛と、白血球による食作用のしくみについて理解している。 ・抗体産生による生体防御のしくみ、および二次応答を利用した予防接種のしくみ、さらにはアルギンについて理解し、知識を身に付けている。 【主体的態度】・ヒトの感覚について興味をもち、ヒトの眼の構造を学習し、視細胞の種類やはたらきについて的確に表現できる。			
	10	第Ⅲ章 热や光の科学Ⅰ 第2節 光の性質とその利用 ①光の発生と速さ ②光の反射・屈折 ③光の分散	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				【知識・技能】・身のまわりのさまざまな光に関心を抱き、光の速さが説明された過程について理解している。 ・身近に感じられる光の反射・屈折の現象をもち、興味を通して、そのしくみを物理的な現象で理解している。 【主体的態度】・光の反射や散乱に興味をもち、光の現象について、科學的に表現できる。			
	11	第Ⅲ章 热や光の科学Ⅱ ④光の分散	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				【知識・技能】・身のまわりにある光の回折・干渉・偏光に関心を抱き、そのしくみについて物理的に理解している。 ・日常生活における電磁波への接觸について学習し、電磁波のこれから的人間生活への貢献について理解できる。			
	12	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学Ⅰ 第1節 自然景観と自然災害 ①日本列島のなたり ②火山活動と地表の変化 ③火山災害と防災 ④地震活動と地表の変化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				【知識・技能】・身のまわりにある景観に興味をもち、日本列島の特徴との成因、日本列島近のブレートの動きについて科学的に理解している。 ・日本の地震に興味をもち、地震の発生のしくみや、日本列島の地震活動と火山活動について、科学的に理解している。 【知識・判・表】・日本列島の火山に興味をもち、火山の噴火によって砂を噴出する、火山の噴火が起こる原因、火山の煙とマグマの関連性、および日本の火山活動について、論理的に思考できる。 【主体的態度】・火山の噴火と防災について意欲的に学習する態度を示し、火山の噴火によって直接およぼされる被害や二次灾害、火山噴火の予兆と防災について、科学的に理解し、的確に表現できる。			
	3	第Ⅳ章 地球や宇宙の科学Ⅱ ⑤地震災害と防災 ⑥水のはたらきと地表の変化 (1) ⑦水のはたらきと地表の変化 (2) ⑧気象災害と防災	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				【知識・技能】・地震災害と防災について、意欲的に学習する態度を示し、地震が直接及び被災や地震による二次災害、地震の予兆と防災について、科学的に理解している。 【知識・判・表】・気象災害など、日本列島で見られる気象災害の特徴とそれがどうして起るかについて、科学的に理解している。また、土砂災害の防災について論理的に思考できる。 【主体的態度】・身近にある河川や湖沼、海に興味をもち、河川のはたらきや海水のはたらきによって形成された地形について、科学的にその形成のようすを表現できる。			

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通して現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身に付ける、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。 また、身近な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付ける。	授業、実験中の姿勢 ・実験レポート ・定期考査 ・提出課題、小テスト
思考・判断・表現		身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。 そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	
主体的に学習に取り組む態度		身近な事物・現象に興味や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身に付ける。	

使用教科書	高等学校生物基礎（啓林館）	副教材等	Navi & トレーニング生物基礎（啓林館）
学習の到達目標	現代生物学の基礎となる代謝、遺伝子、恒常性、免疫、生態系といった基礎的な内容を、最先端の生物学を織り交ぜながら学習し、生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。		

学 期	月	単元名	基礎力										思考力					実践力					活動内容・評価規準
			接 触 ・ 礼 儀 （基礎人間力）	な る 思 考 力・ 実 践 の 知 識 と 方 法 や 根 據 と	コ ミ ュ ニ ケ シ ョ ン 能 能	情 報 収 集 力	想 像 力・ 未 來 を 予 測 す る 力	課 題 を 発 見 す る 力	客 觀 的 に 物 事 を 見 つ め る 力	（ メ タ ） 論 理 的 の 思 考 方 法	（ メ タ ） 創 造 す る 力	情 報 分 析 力	カ リ ブ リ ー シ ョ ン 能 能	計 算 力	課 題 を 解 決 す る 力	未 來 を 予 測 す る 力	主 体 的 な 行 動 力	（ メ タ ） 協 働 力	（ メ タ ） マ ウ ク				
一学期	4	【第1部 生物の特徴】 第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性と多様性		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・多様な生物の共通点がわかる。 【思考・判断・表現】 ・生物の共通点と相違点を考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・多様な生物に関心をもち、形態や生活の多様さを知ろうとする意欲をもっている。			
	5	第2節 生物とエネルギー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・葉緑体とミトコンドリアを理解する。 【思考・判断・表現】 ・代謝におけるエネルギーを考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。			
	6																						
	7	【第2部 遺伝子とその働き】 第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・DNAの二重らせん構造と塩基について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・細胞周期と染色体の関係を考えることができる。 【知識・技能】 ・DNAの特徴に関心をもち考えようとする。			
	9	第2節 遺伝情報とタンパク質の合成		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・転写と翻訳の過程を理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・遺伝情報をゲノムとしてとらえることに関心をもつ。			
	10																						
二学期	11	【第3部 ヒトの体の調節】 第3章 神経系と内分泌系による調節 第1節 情報の伝達 第2節 体内環境の維持の仕組み		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・体液の成分や働き、循環系を理解する。 【思考・判断・表現】 ・塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・遺伝情報をゲノムとしてとらえることに関心をもつ。 【知識・技能】 ・体液の成分や働き、循環系を理解する。 【思考・判断・表現】 ・動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・多様なホルモンが特定の内分泌腺から分泌されていることに関心をもつ。			
	12	第4章 免疫 第1節 免疫の働き		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 【主体的に取り組む態度】 ・免疫のしくみに関心をもつ。			
	1	【第4部 生物の多様性と生態系】 第5章 植生と遷移 第1節 植生と遷移 第6章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性 第2節 生態系のバランスと保全		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・気温と降水量のデータから各地のバイオームを予想できる。 【思考・判断・表現】 ・バイオームが成立する際の環境要因について考えることができる。 【主体的に取り組む態度】 ・世界のバイオームの特色に関心をもつ。			
三学期	2																						
	3																						

評価の観点内容			評価方法
知識・技能			
思考・判断・表現			・授業への取組 ・実験レポート ・授業中の小テスト ・提出課題 ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度			

使用教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	アクティブライト(大修館)
学習の到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			力挨拶・礼儀・基礎人間	と思考・学実力残のへ基礎人間や根柢	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を発見する力	力客観的メタ認物知事を見つめる	論理的思考力	シカク分析力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設未来計力を切り拓く	主体的な行動力	協手力ムワーカー
一年(基礎力養成期)	4	体づくり運動	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間との主導的に関わり合うことができる。 ・実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や測定のとれた体力の向上を図るために運動の計画を立て組み立てる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動に主導的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとし、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。
	5																【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。
	6	3領域選択Ⅰ ・陸上競技 ・武道 ・ダンス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることとバトンの受け渡しで次走者のスピードを十分高めることができ、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに主導的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとしている。
	7																【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・陸上競技に主導的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自己の責任を果たそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に主導的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自己の責任を果たそうとしている。
	9	陸上競技 ・短距離 ・リレー	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることとバトンの受け渡しで次走者のスピードを十分高めることができ、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに主導的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとしている。
	10	体育理論 ・スポーツの発祥と発展 (3項目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・動揺などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に主導的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自己の責任を果たそうとしている。
	11	陸上競技 ・長距離走	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・現代のスポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。 ・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていると理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていることを理解している。
一年(実践力養成期)	12	体育理論 ・スポーツの発祥と発展 (3項目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・スポーツは、人種の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。 ・現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていると理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていることを理解している。
	1	球技・武道選択 ・バスケットボール ・ソフトボール ・武道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・バスケットボールでは、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前の侵入などから攻防をすることができる。 ・ソフトボールでは、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携により、安全な空間を確保する場所をめぐる攻防をすることができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・武道での取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていている。
	2																【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・武道での取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていている。
三学期	3																【知識・技能】 【思考・判断・表現】 ・武道での取り組み方を工夫するとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。健康・安全を確保している。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解しており、それらの技能を身に付けています。	・実事的な知識の習得を問う小テスト ・スキルテスト ・ゲーム結果分析
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていている。	・グループノート ・小テスト ・ゲーム内容分析
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しみ態度を養っている。	・グループノートの記入状況 ・授業態度、グループにおける話し合い ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)
学習の到達目標	保健の見方・考え方を働きかせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。		

学 期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力挨拶 礼儀 （基礎人間 性の基 本知識）	と思想 する学 習実踐 への基 本知識 や根 據	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力	情報 収集 力	力想像 力・未 來を予 測する 力	課題 を発見 する 力	力客観的 に物 認知 事を見 つめる 力	論理的 的思 考力	シ カ レ 情 報 分 析 力 （テ ク ニ ク 的 な 思 考 力）	創造 する 力	情 報 發 信 力	課 題 を解 決す る 力	設 計 未 來 を 切り 拓く 力 （カ ル 判 的 な 思 考 力）	主 体 的 な 行 動 力
一年 (基礎力養成期)	4	現代社会と健康 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	【知識・技能】 ・国民の健康課題について、各種の指標や疾病構造の変化を通して理解する。 【思考・判断・表現】 ・国民の健康課題について、健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータ等資料に基づいて分析する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現在の国民の健康課題を基に、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指している。
	5	3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患などの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・生活習慣病の予防と回復について、習得した知識を基に他の生活習慣や食事、運動、睡眠などのリスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活習慣病の予防と回復の内容を生かし、自他の明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。
	6	9 喫煙と健康 10 酒飲と健康 11 薬物乱用と健康	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解する。 ・薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解する。 【思考・判断・表現】 ・生活習慣病の予防と回復について、我が国これまでの取組を個人への働きかけや社会環境への対策の面から分析している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活習慣病の予防と回復の内容を生かし、自他の明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。
	7	12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などからなり、認知、情緒、行動などの不調により、精神活動が完全に正常に行われなくなることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・精神疾患の知識を生かし、自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指している。
	9	15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生流行に違いが見られることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・感染症の危険性を理解し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。
一年 (実践力養成期)	10	18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、及び人間関係などを含む社会環境が関与していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代社会の健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、新道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・適切な意思決定や行動選択に必要な知識を生かし、自他の健康の保持増進を目指している。
	11	2 安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・交通事故を防止するには、自他の命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境整備が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「安全な社会づくり」について、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・安全な社会作りに必要な知識を生かし、自他の健康の保持増進を支える環境づくりを目指している。
	12	4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AEDの使用方法や手順について理解し、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。 【思考・判断・表現】 ・応急手当について、習得した知識や技能を事故等で生じる傷害や疾病に適用していく、危険防止のための適切な方法に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・応急手当の知識を生かし、自他の健康の保持増進を目指している。
	1	18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、及び人間関係などを含む社会環境が関与していることを理解している。
	2	2 安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・交通事故を防止するには、自他の命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境整備が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「安全な社会づくり」について、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・安全な社会作りに必要な知識を生かし、自他の健康の保持増進を支える環境づくりを目指している。
	3	4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AEDの使用方法や手順について理解し、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。 【思考・判断・表現】 ・応急手当について、習得した知識や技能を事故等で生じる傷害や疾病に適用していく、危険防止のための適切な方法に応用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・応急手当の知識を生かし、自他の健康の保持増進を目指している。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・単元テストの結果 ・実技講習の結果
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。	・保健ノートの記入内容 ・発表の内容 ・単元テストの内容
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養っている。	・保健ノートの記入状況 ・発表の状況 ・グループでの話し合いへの取り組み方

使用教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	アクティブスポーツ(大修館)
学習の到達目標	体育の見方・考え方を働きかせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。		

学期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			力挨拶・礼儀 基礎人間	と思考する・学実力の 知材料や根拠 能力	コミュニケーション能 力	情報収集力	力想像力 ・未来を予測する 力	課題を発見する 力	力客観的・タ クニカルな 思考力	論理的 的思考力	シグマク分析 力	創造する 力	情報発信力	課題を解 決する 力	設未来計 力を切り拓く 力	主体的な行 動力	(協働) ムワ ーク
二年 (基礎力養成期)	4	体つくり運動	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	【知識・技能】 ・体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができる。 ・実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康的な保持増進や調和のとれた体力の向上を図るために運動の計画を立て取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み力を工夫とともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体つくり運動に主導的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとし、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。
	5		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	【ダンス】 【知識・技能】 ・感じを込めて踊ったり、ダンスの名称や用語を理解し、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表ができる。 【思考・判断・表現】 ・自分などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み力を工夫し、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに主導的に取り組むとともに、フェナブレイを大切にしようとしており、作戦などを大切にしている。
	6	3領域選択Ⅰ ・ダンス ・武道 ・バレーボール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【陸上競技】 【知識・技能】 ・短距離走、リレーの受賞で次走者のスピーダーを十分高めることができ、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・動作などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み力を工夫とともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に主導的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自分の責任を果たそうとしている。
	7		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	【体育理論】 【知識・技能】 ・運動・スポーツの学び方(3項目) ・運動やスポーツの技術と体力は、相互に関連していること。また、運営する成果に応じた技能と体力の高め方があることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方にについて、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体育理論やスポーツの効果的な学習の仕方にについての学習に主導的に取り組んでいる。
	9	陸上競技 ・短距離 ・リレー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【陸上競技】 【知識・技能】 ・短距離走、リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることで、走る順序の受賞で次走者のスピーダーを十分高めることができ、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・動作などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み力を工夫とともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に主導的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自分の責任を果たそうとしている。
	10	体育理論 ・運動・スポーツの学び方 (3項目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【体育理論】 【知識・技能】 ・陸上競技・長距離走の受賞で次走者のスピーダーを十分高めることができ、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・動作などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み力を工夫とともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に主導的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自分の責任を果たそうとしている。
	11	3領域選択Ⅱ ・ダンス ・武道 ・サッカー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【球技】 【知識・技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み力を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・武道に主導的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとし、健康・安全を確保している。
二年 (実践力養成期)	12		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1	3領域選択Ⅲ ・ダンス ・武道 ・バドミントン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解しており、それらの技能を身に付けています。
	2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
	3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参考する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養っている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるため、運動の多様性や体力の必要性について理解しており、それらの技能を身に付けています。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・スキルテスト ・ゲーム結果分析
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・グループノート ・小テスト ・ゲーム内容分析
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参考する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養っている。	・グループノートの記入状況 ・授業態度、グループにおける話し合い ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	現代高等保健体育ノート(大修館)
学習の到達目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。		

学 期	月	单元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思考する実践的能力(知識)や根拠	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	力客観的メタに認物事を見つめる	論理的思考力	シカ情報分析力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計能力	～協働力～ムワ～ク	
二年(基礎力養成期)	一学期	生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に適応し、健康課題が生じることがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・思春期と健康について、習得した知識に基く、心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に適応するために、性に関する情報を適切に整理している。 【主体的に学ぶに取り組む態度】 ・思春期における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話したり、筋道立てで説明している。	
		4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解している。 ・受精、妊娠、出産と共に伴う健康課題について理解するとともに、健康課題に対する生活習慣などが関わることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・人生における健康に関する事象や情報などについて、健康に関する原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学ぶに取り組む態度】 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理して説明できる。
		6															【知識・技能】 ・労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い頻度や量が変化してきたことを理解している。 ・労働・人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面の健康を維持するための具体的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 【主体的に学ぶに取り組む態度】 ・労働・人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けたり、課題解決の方法を実践している。
	二学期	7 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 【思考・判断・表現】 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けたり、課題解決の方法を実践している。
		9 健康を支える健康づくり 10 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壤汚染と健康	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・人の活動や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壤汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・健康を支える健康づくりにおける事象や情報などについて、健康に関する原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学ぶに取り組む態度】 ・健康の影響を防ぐために、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりする必要と説明できる。
		10 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・環境基本法などの法律が制定されており、廃棄基準の設定、排出物の規制、危険物類の整備などの統合的・計画的対策が講じられていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・健康を支える健康づくりにおける事象や情報などについて、健康に関する原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学ぶに取り組む態度】 ・健康の影響を防ぐために、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりする必要と説明できる。
二年(実践力養成期)	三学期	11 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・人の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・食品の安全性和食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自己の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。
		11 6 食品衛生にかかわる活動 7 保健サービスとその活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・我が国では、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及び他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保険も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることを利用の仕方を整理している。 【主体的に学ぶに取り組む態度】 ・医薬品の制度と関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理している。
		12 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的政策が行われていることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する療養づくりへ積極的に取り組むことによる効果的な情報を選択・収集している。 【主体的に学ぶに取り組む態度】 ・健康を支える療養づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、筋道立てで説明したりしている。
	3	10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的政策が行われていることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する療養づくりへ積極的に取り組むことによる効果的な情報を選択・収集している。 【主体的に学ぶに取り組む態度】 ・健康を支える療養づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、筋道立てで説明したりしている。

		評価の観点内容	評価方法
知識・技能		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。	・実事的な知識の習得を問う小テスト ・単元テストの結果 ・実技講習会の結果
思考・判断・表現		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。	・保健ノートの記入内容 ・発表の内容 ・単元テストの内容
主体的に学習に取り組む態度		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養っている。	・保健ノートの記入状況 ・発表の状況 ・グループでの話し合いへの取り組み方

使用教科書	現代高等保健体育(大修館)	副教材等	アクティブラーニング(大修館)
学習の到達目標	体育の見方・考え方を働きかせ、課題を見出し、合理的、計画的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。		

学 期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準		
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思想する・学実践への知材(知識)や根幹	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を見出す力	力客観的・物認知・見つめる力	論理的思考力	情報分析力(批判的・構思)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計力を切り拓くキャリア	主体的な行動力	協働力ムワーキ
三年(基礎力養成期)	4	体つくり運動	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・体ほくしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができる。 ・実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康的の保持増進や調節のとれた体力の向上を図るために運動の計画を立て取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を見出し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体つくり運動に自動的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとし、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。
	5																【知識・技能】 ・ダンス【知識・技能】 ・感覚をひめて踊ったり、ダンスの名称や用語を理解し、イメージを深め表現や踊りを通した交流や発表ができる。 球技【知識・技能】 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによつてゴール前の侵入などを攻防をすることができる。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによつて空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・「主体的に学習に取り組む態度」 ・球技に自動的に取り組むとともに、フェイントプレイをしようとしており、作戦を立てることなどを大切にしている。
	6	2領域選択Ⅰ ・ダンス ・バレーボール ・サッカー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ダンス【知識・技能】 ・感覚をひめて踊ったり、ダンスの名称や用語を理解し、イメージを深め表現や踊りを通した交流や発表ができる。 球技【知識・技能】 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによつてゴール前の侵入などを攻防をすることができる。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによつて空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・「主体的に学習に取り組む態度」 ・球技に自動的に取り組むとともに、フェイントプレイをしようとしており、作戦を立てることなどを大切にしている。
	7																【知識・技能】 ・陸上競技【知識・技能】 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることで走者の受付で次走者のスピードを十分高めることができ、長距離走では、自己は速したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を見出し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に自動的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自己の責任を果たそうとしている。
	9	陸上競技 ・短距離走・リレー	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	陸上競技【知識・技能】 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることで走者の受付で次走者のスピードを十分高めることができ、長距離走では、自己は速したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を見出し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・陸上競技に自動的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、自己の責任を果たそうとしている。
	10	体育理論 ・豊かなスポーツライフの設計(2項目) 陸上競技 ・長距離走	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	体育理論【知識・技能】 ・スポーツは、様々なステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があることを理解している。 ・スポーツの推進は、様々な政策や組織、人々の支援や奉仕によって支えられていることを理解している。 ・人生に潤いをもたらす貴重な文化的資源として、スポーツを未来に継承するためには、スポーツの可能性と課題点を踏まえて適切な「する、見る、支える、知る」などの関わりが求められることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方にについて、課題を見出し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方にについての学習に主体的に取り組んでいる。
	11	体育理論 ・豊かなスポーツライフの設計(2項目) 2領域選択Ⅱ ・ダンス ・バスケットボール ・卓球	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	球技【知識・技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによつて空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃。安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を見出し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。
三年(実践力養成期)	12																
	1	2領域選択Ⅲ ・ダンス ・バドミントン ・ソフトボール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ダンス【知識・技能】 ・感覚をひめて踊ったり、ダンスの名称や用語を理解し、イメージを深め表現や踊りを通した交流や発表ができる。 球技【知識・技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによつて空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃。安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を見出し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。
	2																
	3																

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しており、それらの技能を身に付けています。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・スキルテスト ・ゲーム結果分析
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を見出し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・グループノート ・小テスト ・ゲーム内容分析
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養っている。	・グループノートの記入状況 ・授業態度、グループにおける話し合い ・準備、片付けへの取り組み方

使用教科書	MOUSA1 (教育芸術社)	副教材等	Music Note (啓隆社)
学習の到達目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を身に付ける。		

学期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			力発 揮 力 ・ 想 像 ・ 社 会 課 題 の 基 礎 人 間 能 力	し思 考 する・ 学 実 力 知 材 の 基 礎 人 間 能 力	コ ミュ ニ ケ シ ン 能 力	情 報 収 集 力	力想 察 力 ・未 來 を 予 測 す る 力	課 題 を 見 す る 力	方 各 個 的 的 に 認 知 す る 力	論 理 的 的 な 思 考 力	シ 方 相 互 に 接 触 す る 力	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	設 計 未 来 方 を 切 り 拓 す る 力	主 体 的 な 行 動 力	一 体 的 な 行 動 力
一年（基礎力養成期）	4・5・6・7	【歌唱】 ・发声の基本を身につけよう ・曲想を感じて歌おう	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・姿势・呼吸法、发声法について理解する。 【思考・判断・表現】 ・投票の歌詞の内容を理解し、旋律を覚える。 ・「翼をください」「負けないで」「花」を学習し、曲にふさわしい表現を咏文演唱する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・姿勢に気をつけ積極的な態度で歌唱する。
		【器楽】 ・ギターの弾き語りに挑戦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・フォークギターの基本的な奏法を身に付ける。 ・コードを覚える。 【思考・判断・表現】 ・主張的・強調的表現。 ・覚えたコードを使い、簡単な楽曲の弾き語りができる。
		【鑑賞】 ・音楽の要素とイメージをつなげよう ・音楽史（古代ギリシャ～バロック）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・古代ギリシアからバロック時代までの音楽について、時代ごとの特徴や作品等について理解する。 【思考・判断・表現】 ・鑑賞活動の仕方について学習する。 ・主張的・強調的表現。 ・古代ギリシアからバロック時代までの音楽について、時代ごとの特徴や作品等について理解する。
		【理論・ソルフェージュ】 ・音符や休符について ・リズムについて ・ボディーハーカッションを楽しもう	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・音符や休符を種類について理解する。 ・リズムについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・主張的・強調的表現。 ・ボディーハーカッションを取り組み、様々なリズムを演奏できる。
一年（基礎力養成期）	9・10・11・12	【歌唱】 ・外国語の歌曲に挑戦 ・日本歌曲に親しうる	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・主張的・強調的表現。 【思考・判断・表現】 ・「オーバーレイオ」を学習し、歌唱できる。 ・ヴェルナーとショーバルトの「野ばら」について学習し、歌唱できる。 ・「小さな空」等の歌曲について学習し、歌唱できる。
		【器楽】 ・書け！バイオリン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・バイオリンの基本的な奏法を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・主張的・強調的表現。 ・簡単な楽曲を演奏することができる。
		【鑑賞】 ・ピアノによるさまざまな表現効果を聞き取ろう ・音楽史（古典～ロマン）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ピアノによるさまざまな表現効果を聞き取ろう。 ・様々な時代や作曲家のピアノ作品について理解する。 ・古典派からロマン派までの音楽について、時代ごとの特徴や作品等について理解する。
		【理論・ソルフェージュ】 ・音程について ・和音について ・視唱 ・聴音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・音程について基本的な考え方を理解する。 ・和音やコードネームの組みや種類について理解する。 ・コードルートイングなどを聴取できる。 ・簡単なリズム聽音や旋律聽音ができる。
一年（基礎力養成期）	1・2・3	【器楽】 ・和楽器に挑戦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・主張的・強調的表現。 【思考・判断・表現】 ・和笛の往組みや奏法等について理解する。 ・音を出すことができる。 ・簡単な曲を演奏することができる。
		【鑑賞】 ・さまざまな主題とその構成を聞き取ろう ・音楽史（現代）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ベートーヴェンの交響曲第9番について理解する。 ・現代の音楽について、時代ごとの特徴や作品等について理解する。
		【理論・ソルフェージュ】 ・視唱 ・聴音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・コードルートイングを聴取できる。 ・簡単なリズム聽音や旋律聽音ができる。

評価の観点内容			評価方法
知識・技能			・観察法（出席、態度）
思考・判断・表現			・ワークシート ・Music Note ・実技テスト ・単元別小テスト
主体的に学習に取り組む態度			

使用教科書	高校生の美術 I (日本文教出版)	副教材等
学習の到達目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を身に付ける。	

学期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準				
			力挨拶・礼儀 の基礎力 の基礎入門	表現力とくる美術力の基礎力 の基礎入門	コミュニケーション能	情報収集力	る思想力・未来を予測する力	問題を見つめる力	る客観的・メタ物語事を見つめ	論理的思考力	シ考情報分析力	創造する力	情報発信力	課題を切り替える力	ア末段設計力	主体的な行動力
一学期	4	【鑑賞】 オリエンテーション 「美術とは何か」	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5	【表現・鑑賞／絵画】 鉛筆デッサン 「形、空気、光を描く」	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	【表現・鑑賞／デザイン】 サインのデザイン 「マイ・シンボルマーク」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一年（基礎・思考・実践力養成期）	7															
	9	【表現・鑑賞／絵画】 アクリル絵具による空想画 「不思議な心象風景」	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10															
	11															
二学期	12	【表現・鑑賞／映像メディア表現】 写真表現 「私の日常」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1	【表現・鑑賞／彫刻】 身近な素材による立体作品（モビール） 「動く彫刻」	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2															
三学期	3	【鑑賞】 「日本美術について学ぶ」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価の観点内容			評価方法
知識・技能			・授業態度 ・ワークシート ・作品 ・小テスト
思考・判断・表現			・授業態度 ・ワークシート ・作品
主体的に学習に取り組む態度			・授業態度 ・ワークシート ・作品

使用教科書	書Ⅰ（教育図書）	副教材等	
学習の到達目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働きかせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質や能力を養う。		

評価の観点内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見交換や観点の確認（活動の様子・ワークシート） 作品制作・取り組みの記録（ワークシート）
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の意図の創出、言葉の選定、構想・工夫の構築等（ワークシート） 意見交換における発言や記録（活動の様子・ワークシート） 相互鑑賞や意見交換を通しての自己評価と構想・工夫の見直し（活動の様子・ワークシート）
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の意図、構想、表現の工夫の取り組みの記録（ワークシート） 表現を工夫して表す活動への取り組み（作品制作・活動の様子） 鑑賞、及びそれを通して考えたことや生かそうとする取り組み（活動の様子・ワークシート）

使用教科書	MY WAY English Communication I (三省堂)	副教材等	英作文例600
学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと【やり取り】、話すこと【発表】、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。		

学期	月	単元名	基礎力												思考力			実践力			活動内容・評価規準
			力探し 思考する・ 学める・ 力抜き 一 基礎人間 の 知材料や 規範	コミュニケーション力 想像力・ 未来を予測する の	情報収集力	力想像力・ 未見する力	課題を発見する力	力客観的 に物認知する の	論理的 思考	シカイ 力分析 力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	段末計画力を 切り拓く アリーバリ	主体的な行動力	協働力 「ムワーチ					
一年（基礎力養成期）	4	Lesson 1 Proverbs Around the World	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】動詞の時制を理解し、話を聞き取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】対話の概要や要点、必要な情報を、聞き取って捉えている。世界各地の特徴のことわざについて、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考しながら主体的に聞き取って捉えようとしている。		
	5	Lesson 2 Iwago Mitsuaki—An Animal Photographer	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】助動詞、受け身を理解している。理由を述べる表現に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】対話の概要や要点、必要な情報を、聞き取って捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。		
	6	Lesson 3 Sending Canned Mackerel to Space	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】動名詞、to不定詞の用法を理解している。相手の理解を確かめる表現の対話を聞き取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】基本的な語句で考え方を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。		
	7	Lesson 4 Massages from Winnie-the-Pooh	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】現在完了形、現在完了進行形、過去完了形に関する事項を理解している。考えや意見をたずねる表現の意味や働きを理解している。 【思考・判断・表現】基本的な語句で考え方を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】紹介したい日本の物語について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考え方を話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。		
二学期	9	Lesson 5 Endangered Languages	○		○		○	○	○				○	○	○	○	○	○	【知識・技能】関係代名詞、It is...、to不定詞に関する事項を理解している。主張する表現の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】問題で得られた情報を活用しながら、説明とともに書いて伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】紹介したい日本の物語について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考え方を話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。		
	10	Lesson 6 A Wheelchair Traveler	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】現在分詞、過去分詞の形容詞的用法や理由をたずねる表現を理解し、対話を聞き取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】プログを読み取り、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】動いたい日本の都市について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。		
	11	Lesson 7 The Refugees	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】関係副詞、比較級・最上級を理解し、対話を聞き取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】ボランティア活動について、グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】ボランティア活動について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考しながら聞き取って捉えようとしている。		
	12	Lesson 8 Avatar Robots	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】条件を表すif、仮定法過去を理解し、対話を聞き取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】望ましい未来の技術や製品について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考しながら聞き取って捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】学びたい言語について、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報を発表して伝えようとしている。		
一年（発展力養成期）	1	Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】SV0.0. (0.=how to ~) を理解している。相手の意見に反対する表現に注意しながら対話を聞き取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物語の概要や要点を聞き取って把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】筆者の作品と想像力の関係について、講演の内容を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。		
	2	Lesson 10 SDGs—Sustainable Development Goals	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】プレゼンテーションの表現を理解し、内容を聞き取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、発表をするための原稿を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】SDGsについて、基本的な語句や文を用いて、主体的に考え方を話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。		
	3	Reading The Tale of Johnny Town-Mouse	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】これまでに学習した文法事項や表現に注意しながら、物語を聞き取り、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物語の概要や要点を聞き取って把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】物語の概要や要点を主体的に聞き取って捉えようとしている。物語を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。		
一年（応用力養成期）	1	Reading The Tale of Johnny Town-Mouse	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】これまでに学習した文法事項や表現に注意しながら、物語を聞き取り、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物語の概要や要点を聞き取って把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】物語の概要や要点を主体的に聞き取って捉えようとしている。物語を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。		
	2	Reading The Tale of Johnny Town-Mouse	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】これまでに学習した文法事項や表現に注意しながら、物語を聞き取り、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物語の概要や要点を聞き取って把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】物語の概要や要点を主体的に聞き取って捉えようとしている。物語を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。		
	3	Reading The Tale of Johnny Town-Mouse	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】これまでに学習した文法事項や表現に注意しながら、物語を聞き取り、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物語の概要や要点を聞き取って把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】物語の概要や要点を主体的に聞き取って捉えようとしている。物語を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。		

			評価の観点内容												評価方法		
知識・技能			○外国語理解の能力 外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。												<各学期の評価方法> ①学年末考査の成績 ②各課の評価問題の成績 ③授業への取り組みの様子 ④課題の提出状況と解答内容 ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の成績		
思考・判断・表現			○外国語表現の能力 外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。												<学年の評価方法> 知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。		
主体的に学習に取り組む態度			○コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。														

使用教科書	MY WAY English Communication II (三省堂)	副教材等	英作文基本文例600 他
学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと「やり取り」、話すこと「発表」、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。		

学期	月	単元名	基礎力		思考力			実践力			活動内容・評価規準						
			力接続・礼儀(基礎人間)	と思考・学実力(実践の知識や根柢)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を見つめる力	力客観的思考力(認知事物の知識)	論理的思考力	ン力情報分析力(リテラシー)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	教科計画力	主体的な行動力	一括シルムワーク
一学期	4 5	Lesson 1 Dances Around the World	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】SV0, SV0等を用いた文構造について理解している。 【思考・判断・表現】レポートの概要や要点、必要な情報を聞き取って捉えている。世界各地のダンスについて、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】レポートの概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に読み取り捉えようとしている。
	6 7	Lesson 2 Katsura Sunshine— Making the World Laugh	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】形式主語・形式目的語のitを用いた文構造を理解している。 【思考・判断・表現】インタビューのスクリプトを読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。
二年(応用力養成期) 二学期	9 10	Lesson 3 Living with Nature— Takita Asuka's Journey	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形の用法を理解している。 【思考・判断・表現】野生動物の保護活動について理解を深め、基本的な語句で考え方を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。
	11 12	Lesson 4 Sesame Street	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】知覚動詞、使役動詞を含むSVOCの文や、help+動詞の原形の文構造について理解している。題材に込められたメッセージを読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】セサミストリートを見たことがない子どもに、読んで得られた情報を活用し、多様な語句や文を用いて、考えを伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。
三学期	1 2	Lesson 5 From Landmines to Herbs	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】関係代名詞、関係副詞を用いた文構造を理解し、国際ボランティア活動について内容や効果などを話して伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】国際ボランティア活動について、多様な語句や文を用いて話して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、多様な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。
	3	Lesson 6 Murals—The Power of Public Art	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】助動詞(過去形)、助動詞+have+過去分詞、完了不定詞を理解し、対話を聞き取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】壁面プロジェクトについて、グループで話し合った内容を基に、多様な語句や文を用いて、情報や考えを発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】世界中の壁面プロジェクトについて、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に捉えようとしている。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	○外国語理解の能力 外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。	<各学期の評価方法> ①学年末考査の成績 ②各課の評価問題の成績 ③授業への取り組みの様子 ④課題の提出状況と解答内容 ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の成績
思考・判断・表現	○外国語表現の能力 外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	<学年の評価方法> 知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。
主体的に学習に取り組む態度	○コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	

使用教科書	MY WAY English Communication II (三省堂)	副教材等	英作文基本例600 他
学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと【やり取り】、話すこと【発表】、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。		

学 期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準
			力抜 き ・ 礼 儀 ・ 基 礎 人 間 的 考 る 実 学 経 力 の へ 材 料 使 能 性 ・ 相 互 の 信 任 感 ・ 根 據 性 ・ 根 據 性 ・ 根 據 性	カ コ ミ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力	情 報 収 集 能 力	る 想 像 力 ・ 未 來 を 予 測 す る 能 力	説 明 を 發 見 す る 能 力	る 客 觀 的 メ に 物 事 を 認 識 す る 能 力	論 理 的 の 思 考 力	考 察 キ 能 力 ・ シ ン ヘ 分 析 す る 能 力	創 造 シ ン ヘ 分 析 す る 能 力	信 頼 能 力	課 題 を 解 決 す る 能 力	ア 未 確 認 を 計 算 す る 能 力	主 体 的 な 思 考 力
一 学 期	4	Lesson 6 Murals—The Power of Public Art	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	【知識・技能】助動詞(過去形)、助動詞+have+過去分詞、完了不定詞を理解し、対話を聞き取る技能を身に付けています。 【思考・判断・表現】壁画プロジェクトについて、グループで話し合った内容を基に、多様な語句や文を用いて、情報や考えを発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】世界中の壁画プロジェクトについて、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら主体的に捉えようとしている。
	6 7	Lesson 7 "Englishes" in the World	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】分詞構文、受け身・完了形の分詞構文、付帯状況のwithを用いた英文の構造を理解し、世界の様々な英語について理解する技能を身に付けています。 【思考・判断・表現】楽しみながら出来る英語の学習方法について、その効果や利点などを、ワークシートを参考にしながら話して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】グループで話し合った内容を基に、多様な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを発表して伝えようとしている。
三年 (発 展 力 養 成 期)	9 10	Lesson 8 Deepika Kurup —The Science Behind Clean Water	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	【知識・技能】仮定法過去、仮定法過去完了、ifを用いない仮定法、no matter+疑問詞を用いた文構造を理解し、社会問題への発明家や起業家の取り組みを理解している。 【思考・判断・表現】特別授業に招待したい社会問題に取り組む発明家や起業家について、ワークシートを参考にしながら捉え、情報や考えを発表して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】社会問題への取り組みを主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。
	11	Lesson 9 The World's Poorest President	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】同格のthat節、強調構文、倒置、省略を用いた文構造、及び共感する表現の意味や働きを理解している。 【思考・判断・表現】幸せを感じる時について、グループで話し合った内容を基に、多様な語句や文を用いて、発表をするための原稿を書いています。 【主体的に学習に取り組む態度】ホセ・ムヒカさんの考え方を理解した上で、幸せについて主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。
二 学 期	12	Lesson 10 Living in an E-Society —The Pros and Cons	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】多様な語句や文、議論でよく使う表現を理解している。 【思考・判断・表現】eスポーツや電子書籍の長所と短所についての議論を読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、詳細を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】物語を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。賛成や反対の立場から主体的に考えを詳しく話して伝え、質問に答えるようとしている。
	1	Reading 2 Syria's Secret Library	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	【知識・技能】これまでに学習した文法事項や表現に注意しながら、物語を聞き取り、読み取る技能を身に付けています。 【思考・判断・表現】シリアの秘密図書館について理解を深めるために、物語を読んで文章の展開を把握し、概要や要点、詳細を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】物語を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。
三 学 期															

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	○ 外国語理解の能力 外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。	<各学期の評価方法> ①学年末考査の成績 ②各課の評価問題の成績 ③授業への取り組みの様子 ④課題の提出状況と解答内容 ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の成績
思考・判断・表現	○ 外国語表現の能力 外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	<学年の評価方法> 知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。
主体的に学習に取り組む態度	○ コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	<評価結果> A: 十分満足できる状況 B: おおむね満足できる状況 C: 努力を要する状況

使用教科書	家庭総合 持続可能な未来をつくる (第一学習社)	副教材等	家庭総合学習ノート(第一学習社) ライフデザイン 資料+成分表+ICT(実教出版)
学習の到達目標	生活の営みに係る見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。		

学期	月	单元名	基礎力		思考力		実践力		活動内容・評価規準
			力挨拶・礼儀等の基礎人間力の「材料や根柢」による実践力の「機能・機能化」による実践力の「知識・技能」による実践力の「表現・表現力」による実践力の「問題解決力」による実践力の「コミュニケーション能」による実践力の「情報収集力」による実践力の「想像力・未来を見据える力」による実践力の「問題を見つめ、それを予測する力」による実践力の「客観的・論理的思考」による実践力の「問題を発見する力」による実践力の「創造する力」による実践力の「クリエイティバカルチャーアクション」による実践力の「協力」による実践力の「主体的な行動力」による実践力の「アセット計画を切り拓くキャリア」による実践力						
一学期	4	家庭科の学び方 1章 これからの生き方と家族 第1節 生涯の生活設計 ①生涯発達する自分 ②青年期を生きる ③キャリアの形成 ④ワーク・ライフ・バランスを求めて	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・生涯発達の視点から、各ライフステージの特徴と課題や青年期の課題である自立や男女の平等と協力・意思決定の重要性について理解を深めている。 ・自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行うことを理解しているとともに適切にできる。 【思考・判断・表現】 ・自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことなどについて主体的に考え、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善している。 ・生涯を見通した自己的生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組み生活を工夫し、創造し、実践し、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
	5	第2節 家族・家庭と社会とのかかわり ①家族・家庭・世帯 ②家族・家庭の働き ③パートナーと出会う ④結婚と変化する家族 ⑤家族に関する法律			○	○	○	○	【知識・技能】 ・家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会のかかわりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことについて主体的に考え、問題を見いだして課題を設定し、工夫したり実践を評価したり改善したりしている。その一連の活動を明確にして筋道を立て説明したり発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の構築に向けて、家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組もうとしたり、生活を工夫し創造し実践したりしようとしたり、振り返って改善しようとしている。
	6	ホームプロジェクトの実践							
	7								
二年（基礎力養成期）	9	6章 衣生活をつくる 第1節 人の一生と被服 ①私たちと衣生活 ②被服の機能保健衛生上 ③被服の機能社会生活上 ④被服の選び方	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装、日本と世界の衣文化や被服人とのかかわりについて理解している。 ・被服材料、被服衛生について理解しているとともに、被服の管理が適切にできる。 ・被服構成や被服製作について理解しているとともに、被服の計画・製作が適切にできる。 ・健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 【思考・判断・表現】 ・被服の機能性や快適性、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について問題を見いだして課題を設定している。 ・目的に応じた着装、被服の機能性や快適性、安全で健康や環境に配慮した被服の管理について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫し創造し実践しようとしたし、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
	10	第2節 被服材料と管理 ①被服の素材 ②洗濯方法と表示 ③洗濯のしくみ ④被服の手入れと保管							
	11	第3節 これからの衣生活 ①衣文化の継承と創造 ②持続可能な衣生活							
	12								
二学期	1	8章 経済生活をつくる 第1節 私たちの暮らしと経済 ①人生とお金 ②収入と支出のバランス ③将来の経済生活を考える							【知識・技能】 ・家計の構造や家計管理、生活における経済と社会とのかかわりについて理解している。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費生活の現状と課題、意思決定や契約の重要性、消費者保護について理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。 ・生活と環境のかかわりや持続可能な社会へ参画することの意義を理解している。 【思考・判断・表現】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したこと論理的に表している。 ・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費、安全で安心な生活と消費について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、生活を工夫し創造し実践しようとしたし、活動を振り返って改善しようとしている。
	2	第2節 消費者問題を考える ①契約とは ②消費者問題はなぜ起ころのか ③多様化する支払方法とリスク防止 ④消費者の自立と行政の支援	○	○	○	○	○	○	
	3	第3節 持続可能な社会をめざして ①消費生活と持続可能な社会 ②消費者市民社会をめざして							
二年（思考力養成期）	1	8章 経済生活をつくる 第1節 私たちの暮らしと経済 ①人生とお金 ②収入と支出のバランス ③将来の経済生活を考える							【知識・技能】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したこと論理的に表している。 ・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費、安全で安心な生活と消費について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、生活を工夫し創造し実践しようとしたし、活動を振り返って改善しようとしている。
	2	第2節 持続可能な社会をめざして ①消費生活と持続可能な社会 ②消費者市民社会をめざして							

評価の観点内容			評価方法
知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。		知識や技能の習得を確認するテスト
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したこと論理に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。		ワークシート、レポート課題、グループワーク、実習状況、思考・判断・表現を確認するテスト
主体的に学習に取り組む態度	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。		ワークシート、レポート課題、グループワークでの態度及び取り組み状況

使用教科書	家庭総合 明日の生活を築く (開拓堂)	副教材等	家庭総合学習ノート (開拓堂) LIFEおとなガイド 家庭科 資料+グラフ式成分表(教育図書)
学習の到達目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて男女が協力し、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。		

学期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			ハエタル 基礎・ 入札開 き力	と考 る・ 学実 力践 の 知材 料)や 根根 據	コ ミュ ニケ ー シ ヨ ン 能 力	情 報 収 集 力	力想 像 力 ・ 未 來 を 予 測 す る 力	課 題 を 発 見 す る 力	客 観 的 に 物 事 を 見 つ め る	論 理 的 思 考 力	シ ク ー ク リ テ イ カ 批 判 的 思 考 キ キ	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	設 計 未 來 計 画 を 力 切 り 拓 く キ ア リ ア	主 体 的 な 行 動 力	(協 働 力 ム ワ ー ク)
三年 (基礎力養成期)	一学期	4 B 衣食住の生活の科学と文化 1章 食生活の科学と文化 1 日本の食生活の今 2 食の科学と健康		○ ○		○ ○ ○					○	○ ○ ○ ○ ○ ○					【知識・技能】青年期における毎日の食事の重要性、食事を共にすることの意義、食品に含まれる栄養素について理解している。 【思考・判断・表現】食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定している。
		6 3 おいしさと安全の科学 4 さあ 料理を始めよう	○	○ ○ ○ ○ ○ ○							○ ○ ○ ○ ○ ○					【知識・技能】食品の調理上の性質を理解しているとともに、目的に応じた調理ができる。 【思考・判断・表現】食の安全や食品の調理上の性質を考慮した献立作成や調理計画について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	
		7 5 料理の組み合わせを考えよう 6 多様な食文化 7 持続可能な食生活 <ホームプロジェクト>			○ ○ ○ ○ ○ ○					○ ○ ○ ○ ○ ○						【主体的に学習に取り組む態度】食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】健康や環境に配慮した食生活について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	
三年 (実践力養成期)	二学期	9 A人の一生と家族・家庭及び福祉 3章 子どもの生活と保育 1 子どもの世界 2 育つ子ども		○ ○ ○							○					【知識・技能】子どもを取り巻く社会環境、乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。 【思考・判断・表現】子どもを生み育てるこの意義、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域社会の果たす役割について問題を見いだして課題を設定している。	
		10 3 子どもとかかわる 4 子どもの育ちを支える <家庭クラブ活動>保育実習	○	○ ○ ○ ○ ○ ○							○ ○ ○ ○ ○ ○					【知識・技能】親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解している。 【思考・判断・表現】子どもの健やかな発達のために地域社会の果たす重要な役割について解決策を構想し、考察したこと論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に乳幼児と適切にかかわり、子どもの生活と保育について、生活を工夫し創造している。	
		11 4章 高齢者との関わりと福祉 さまざまな高齢期 2 高齢者の尊厳と自立 3 高齢者の生活と福祉 4 高齢者の生活を支える	○		○ ○ ○ ○ ○ ○					○ ○ ○ ○ ○ ○						【知識・技能】高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の自立生活支援や介護について理解している。 【思考・判断・表現】高齢者の自立生活支援のために、家族・地域社会及び社会の果たす役割について解決策を構想し、考察したこと論理的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、生活を工夫し創造している。	
三年 (思考力養成期)	三学期	1 B 衣食住の生活の科学と文化 3章 住生活の科学と文化 1 人間と住まい 2 健康で快適、安全な住まい 3 持続可能な住生活			○						○ ○ ○ ○ ○ ○					【知識・技能】防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 【思考・判断・表現】住居の機能性や快適性、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境について問題を見いだして課題を設定している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の構築に向けて、住生活と健康について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	

	評価の観点内容	評価方法
知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な食生活、住生活に係る知識を身に付けています。また、乳幼児の発達の特徴、高齢者の特性について理解している。	単元ごとの小テスト
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活中から課題を設定し、解決策の構想及び実践したことについて論理的に表現できる。	ワークシート、グループワーク、
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の構築に向けて、主体的に見いだした課題に取り組み、地域社会へ貢献しようという態度が育まれている。	レポート課題、グループワークでの発表態度

使用教科書	ビジネス基礎 (実教出版)	副教材等	ビジネス基礎準拠問題集 (実教出版)
学習の到達目標	商業の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を身に付ける。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準				
			力挨拶・礼儀(人間) と思想する・学実践(基礎人間) の知識や根柢	コミュニケーション ニケーション能	情報収集力	力想像力・未 来を見 る力	課題を発 見する力	力客観的 に認物・知 事を見 つめる力	論理的 的思考力	ン力情 グ・ク分 析力	創造する 力	情報發信力	課題を解 決する力	役未来 力を切り 拓くキヤ リア	主体的 な行 動力	協 働力 ムワ ーク
一年 (基礎力養成期)	4	1章 商業の学習とビジネス 1 いざ、ビジネスの世界へ 2 私たちの社会とビジネス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】商業を学ぶ目的や学び方を理解するとともに、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会におけるビジネスの意義や役割を理解している。 【思判表】商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展と関連付けて見たいができる。また、科学的な根柢に基づいて、ビジネスにおいて他者に対応するとともに、情報を入手して活用し、評価・改善することができる。 【主】ビジネスの諸活動に広く関心を持ち経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けている。
		7章 ビジネス計算 1 ビジネス計算の基礎 2 ビジネス計算の応用	○	○	○						○	○	○	○	○	【知技】取引とビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思判表】におけるコミュニケーションの役割や種類、ビジネスにおける話し方・聞き方について理解している。 【思判表】数の表示の方法と売買に関する各種の計算について活用法と計算結果の妥当性について判断しようとする。 【主】基本的なビジネスマナーの意義や場面に応じたビジネスマナーの重要性について考察しようとする。
	5	2章 ビジネスとコミュニケーション 1 コミュニケーション 2 ビジネスマナー 3 情報の入手と活用	○	○	○		○	○			○				○	【主】ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組むことができる。 【主】ビジネスにおける情報活用の重要性と情報入手の注意点について関心を持ち情報収集や活用を積極的に行おうとしている。
		3章 経済と流通の基礎 1 経済の仕組みとビジネス 2 経済活動と流通	○	○			○	○			○				6月及び11月全商ビジネス計算実務検定受験	【知技】生産と消費の隔たりを結びつける流通の機能や仕組みについて様々な資料を選択して活用しその変化を把握することができる。 【思判表】流通とは何か、流通が果たす役割について考察するとともに、その役割が、ますます重要なになってきている理由を考え、表現しようとする。 【主】生産・流通・消費という三大生産要素について理解し、希少性やトレード・オフ、機会費用について理解している。
	6 7	4章 さまざまなビジネス 1 ビジネスの種類 2 小売業 3 割り業 4 物流業 5 金融業 6 情報通信業	○	○							○				【知技】サービスの生産者について基礎的・基本的な知識を身に付けて、その活動や動向について理解している。 【思判表】小売業者・割り業者・物流業者の活動や動向を様々な角度から考察するとともに概要と変化をとらえ、説明しようとする。 【主】企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
		5章 企業活動の基礎 1 ビジネスと企業 2 マーケティングの重要性 3 資金調達 4 財務諸表の役割 5 企業活動と税 6 雇用	○	○			○	○			○	○			【知技】企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解している。 【思判表】企業活動に関する課題を発見し、科学的な根柢に基づいて課題への対応策を考察することができる。 【主】企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
一年 (思考力養成期)	1 2 3	6章 ビジネスと売買取引 1 売買取引の手順 2 代金決済													【知技】売買契約の成立や条件、締結と履行までの流れの基本的な知識を身に付けている。 【思判表】身近な地域のビジネスについて理解している。 【思判表】売買契約の意義について考察するとともに、売買取引の手順を正しく説明できる。 【主】身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根柢に基づいて、ビジネスの振興策を考察して実施し、評価・改善することができる。 【主】売買契約の成立や条件および締結と履行等について自ら調べたりまとめたりしようとする。 【主】身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
		8章 身近な地域のビジネス 1 さまざまな地域の魅力と課題 2 地域ビジネスの動向	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2月全商商業経済検定受験	

		評価の観点内容	評価方法
知識・技術		ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けているか。	・基本的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力検査や定期検査
思考・判断・表現		ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根柢に基づいて創造的に解決する力を養えたか。	・課題レポート ・グループでの話し合い(発言内容)や発表等 ・小テスト、課題実力検査、定期検査
主体的に学習に取り組む態度		ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度が養えたか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける議論(参加態度) ・取組の自己評価(目標設定含む)の内容

使用教科書	T A C 出版 簿記	副教材等	T A C 出版 日商簿記3級テキスト・トレーニング・ドリル
学習の到達目標	(1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		

学 期	月	单元名	基礎力										思考力					実践力					活動内容・評価規準
			接 触 ・ 社 交 際 ・ 基 礎 人 間 力	方 思 考 ・ 知 識 ・ 基 礎 教 科 の 材 料 や 根 據 と な る 学	情 報 収 集 力	コ ミ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力	想 像 力 ・ 未 来 予 見 す る 力	顧 客 視 角 の 物 事 を 見 つ め る 力 ・ メ タ	論 理 的 的 な 思 考 力	テ 信 情 分 析 シ カ ン キ 批 判 的 の 思 考 力 ・ ク ラ フ リ	創 造 力 ・ シ カ ン キ 批 判 的 の 思 考 力 ・ ク ラ フ リ	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	未 來 を 見 り 拓 く 力 ・ ク ラ フ リ	主 体 的 的 な 行 動 力	ヘ 協 働 力 ・ ワ ー ク							
一年（基礎力養成期）	4	第1編 簿記の基礎 1章 簿記の基礎 2章 資産・負債・純資産 と貸借対照表 3章 収益・費用と損益計算書 4章 取引と勘定 5章 仕訳と転記 6章 仕訳帳と総勘定元帳 7章 計算表の作成 8章 精算表 9章 決算 10章 会計帳簿	○	○		○			○	○									【知識・技術】 【思考・判断・表現】 ・簿記の意味や目的、目的などを理解できる。 ・現金、預金の認識、商品売買の記帳、掛け取引の記帳、固定資産の記帳が正確に行える。 ・簿記の要素を理解し、取引から仕訳の勘定を導きだし、仕訳ができる。 ・現金である取引帳記入から総勘定元帳への記帳、試算表の作成を行い、6桁精算表が作成できる。 ・貸借対照表から貸借対照表と損益計算書が作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・簿記の原理について自ら学び、適正な取引の記録と、記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	活動内容・評価規準			
	5	第2編 取引の記帳と（その1） 11章 現金と預金の取引 12章 商品売買の取引 13章 損益計算表 14章 手形 15章 有価証券 16章 他人の債券・債務 17章 固定資産の取引 18章 販売費及び一般管理費 19章 資本の取引と事業主個人の税金 20章 個人企業の税金	○	○		○			○	○									【知識・技術】 【思考・判断・表現】 ・現金、預金の認識、商品売買の記帳、掛け取引の記帳、固定資産の記帳が正確に行える。 ・補助簿である当座預金出納帳、小口現金出納帳、仕入帳、売上帳、商品販売額の意味を理解し作成できる。 ・売買を目的とした有価証券の記帳と、手形の書き換えと不渡り手形の記帳と債権、債務の記帳、販売費及び一般管理費の記帳、資金の記帳が正確に行える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・取引の記録について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組むことができる。 ・各勘定の内容の意味を理解し、分類することができる。				
	6	第3編 決算（その1） 21章 決算整理（その1） 22章 8桁精算表 23章 総勘定元帳 第4編 伝票と会計ソフトウェア 24章 伝票式会計と会計ソフトウェア	○	○		○	○	○	○	○									【知識・技術】 【思考・判断・表現】 ・決算整理の意味を理解し、8桁精算表、貸借対照表と損益計算書が作成できる。 ・売上債権に対する貸倒引当金の計上、間接法による減価償却の記帳、費用・収益の繰り延べ・見越し等に伴う決算手続から、貸借対照表と損益計算書が作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・決算に対する自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組むことができる。 ・記帳の効率化について自ら学び、伝票の利用と会計ソフトウェアの効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。				
	7	第5編 決算（その2） 25章 決算整理（その2） 26章 精算表と財務諸表の作成	○	○	○	○	○	○	○	○									【知識・技術】 【思考・判断・表現】 ・帳簿の種類とその役割を理解し、また、仕訳伝票と3伝票の記入法を理解し作成できる。 ・決算整理（機動減耗損及び商品評価損の計算、有価証券の評価、減価償却費の計算等）を行い、精算表、損益計算書、貸借対照表と理解し作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・取引の記録について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組むことができる。				
	9	第6編 取引の記帳（その2） 27章 発展 クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務 28章 特殊な手形の取引	○	○		○			○	○									【知識・技術】 【思考・判断・表現】 ・クレジット売掛金、役員貸付金、役員借入金、差入保証金の意味を理解し、正確に仕訳ができる。				
	10	第7編 本支店会計 29章 本支店会計－本支店間の取引 30章 本支店会計－会併財務諸表	○	○	○	○	○	○	○	○									・支店合併の独立の意味を理解し、本支店間の取引、支店相互間の取引の記帳ができる。 ・本支店の財務諸表（損益計算書、貸借対照表）の合併について理解を深め、作成へと繋げられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本支店会計について自ら学び、適正な本支店・支店間取引と支店間取引の記録及び財務諸表の合併に主体的かつ協働的に取り組むことができる。				
	三学期	二学期の途中から「高校財務会計Ⅰ」を履修	・詳細は「財務会計Ⅰ」のシラバス参照																				

		評価の観点内容	評価方法
知識・技術		・簿記の基本的な知識を理解できるか。一連の取引から正しい記録ができるか。	・専門的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力考査や定期考査
思考・判断・表現		・取引の記録と財務諸表の作成の方法と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けることができたか。	・課題レポート ・グループでのディスカッションや発表等 ・小テスト、課題実力考査、定期考査
主体的に学習に取り組む態度		・企業会計に関する知識や技術を適切に適用する力の向上を目指して自ら学ぼうとする姿勢が見られたか。主体的かつ協働的に取り組む態度であったか。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループでのディスカッション（参加態度） ・取組の自己評価（目標設定含む）の内容

使用教科書	TAC出版 財務会計 I	副教材等	全商簿記1級会計論点別ニューステップアップ問題集
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を身に付ける。		

学 期	月	単元名	基礎力										思考力				実践力				活動内容・評価規準
			力挨拶・礼儀 (基礎人間)	と思考する・実践力 (知識や根拠)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力	課題を見つめる力	力客観的思考力	論理的思考力	シカク分析力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設未乗力を切り拓くキャリア	主体的な行動力	協働力ムード				
一 学 期																		※1学期は簿記の内容を週6時間で履修			
	9	第1編 財務会計の基礎 第1章 企業会計と会計公準 第2章 企業会計制度 第3章 貸借対照表その1 第4章 資産の分類と評価 第5章 負債の分類 第6章 現金預金 第7章 金銭債権 第8章 電子記録債権・電子記録債務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2学期からは簿記4単位とあわせて週6時間で履修 【知識・技術】 財務会計の概要について理解している。 【思考・判断・表現】 財務会計及び関連する法規と基準の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 財務会計の概要について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。			
一年（実践力養成期）	二 学 期	10	第2編 貸借対照表その2 第9章 剰余資産 第10章 有価証券 第11章 有形固定資産 第12章 リース取引 第13章 無形固定資産 第14章 研究開発費とソフトウェア 第15章 引当金 第16章 純資産（その1） 第17章 純資産（その2） 第18章 純資産（その3） 第19章 貸借対照表の作成方法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 会計処理について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 会計処理に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 会計処理について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。			
	11 12	第3編 損益計算書 第20章 損益計算書の概要 第21章 損益計算書の基準 第22章 役務の提供と工事契約 第23章 掛け代金の割引 第24章 外貨建取引 第25章 法人税と税効果会計 第26章 損益計算書の作成方法 第27章 その他の財務諸表	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 財務諸表の作成について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 財務諸表の作成に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 財務諸表の作成について自ら学び、適正な財務諸表による適切な会計情報の提供に主体的かつ協働的に取り組むことができる。			
一年（思考力養成期）	三 学 期	1	第4編 財務諸表の活用 第28章 ディスクロージャー制度 第29章 財務諸表分析 発展 連結財務諸表 第30章 連結財務諸表	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 財務諸表分析について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けています。 【思考・判断・表現】 財務諸表分析の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、それらを踏まえて、財務諸表を基に企業の実態を分析することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 財務諸表分析について自ら学び、会計情報の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。			
	2	記帳例題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	3	総合演習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

	評価の観点内容	評価方法
知識・技術	財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	・実事的な知識の習得を問う小テスト ・知識的概念的理解を問う小テスト ・課題実力考查や定期考査
思考・判断・表現	企業会計に関する法規と標準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計の側面から企業を分析する力を養う。	・課題レポート ・グループでの話し合い（発言内容）や発表等 ・小テスト、課題実力考査、定期考査
主体的に学習に取り組む態度	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を見つける。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける話し合い（参加態度） ・取組の自己評価（目標設定含む）の内容

令和6年度 学習活動計画 (教科名)商業 科 (科目名)情報処理 1年 (商業科) 単位数: 4

使用教科書	実教出版 最新情報処理	副教材等	実教出版 全商情報処理検定模擬試験問題集3級 実教出版 全商情報処理検定模擬試験問題集ビジネス情報部門2級 実教出版 全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集2級 実教出版 全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集1級
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を育成することを目指す。		

学期	月	単元名	基礎力										思考力			実践力			活動内容・評価規準
			接続・礼儀(基礎人間力)	る思學力・(実践知識の材料や根拠とな	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を見つめる力	~客観的認に物事を見つめる力	論理的思考力	リテラシー分析力(批判的思考力)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	力未来を切り拓く力	主体的な行動力	協働力(ムワーキーク)		
一年(基礎力養成期)	4	企業活動と情報処理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・企業における適切な情報処理について理解する 【思考・判断・表現】 ・情報処理の意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだし、解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・企業における情報処理について自ら学び、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。		
	5	コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・コンピュータシステムと情報通信ネットワークについて実務での活用に即して理解し、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・コンピュータシステムと情報通信ネットワークに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、課題を解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータシステムと情報通信ネットワークについて自ら学び、適切な情報の活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。		
二学期	6	情報の集計と分析	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・企業における情報の集計と分析について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・ビジネスに関する情報を統計的に集計、分析し、科学的な根拠に基づいて解決することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ビジネスに関する情報の集計と分析について自ら学び、適切な情報の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。		
	7	ビジネス文書の作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・企業において文章の表現について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・ビジネス文書作成の課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・企業におけるビジネス文書の作成を自ら学び、企業においてビジネス文書を適切に作成することに主体的かつ協働的に取り組むことができる。 「ビジネス文書実務検定2級」受験 「情報処理検定ビジネス情報部門2級」学習		
三学期	9	ビジネス文書の作成とプレゼンテーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・「情報処理検定ビジネス情報部門2級」学習 「情報処理検定ビジネス情報部門2級」受験		
	10																・「ビジネス文書検定1級」学習 【知識・技術】 ・プレゼンテーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ビジネスにおけるプレゼンテーションの課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決するプレゼンテーションの技法養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プレゼンテーションについて自ら学び、適切な情報の伝達に主体的かつ協働的に取り組むことができる。		
	11																・「ビジネス文書検定1級」学習 【知識・技術】 ・プレゼンテーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ビジネスにおけるプレゼンテーションの課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決するプレゼンテーションの技法養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プレゼンテーションについて自ら学び、適切な情報の伝達に主体的かつ協働的に取り組むことができる。		

		評価の観点内容										評価方法				
知識・技術		企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。										・授業への取組 ・問題集・ワークシート ・定期考査、小テスト				
思考・判断・表現		企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに関わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けています。										・授業への取組 ・問題集・ワークシート ・課題の取組状況、提出状況 ・定期考査、小テスト				
主体的に学習に取り組む態度		企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。										・授業への取組 ・問題集・ワークシート ・課題の取組状況、提出状況				

使用教科書	ビジネス・マネジメント (実教出版)	副教材等	ビジネス・マネジメント準拠問題集 (実教出版)
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるマネジメントに必要な資質・能力を身に付ける。		

学 期	月	単元名	基礎力												思考力				実践力				活動内容・評価規準
			力探 査・ 礼儀 (基 礎人間)	と想 る・ 学実踐 (の 知 識) の材 料や 根 據 能 力	コ ミュ ニケ ー シ ヨ ン 能 力	情 報 収 集 力	力想 像 力	課 題 を 発 見 す る 力	力客 観 的 に 物 事 を 見 つ め る	論 理 的 の 思 考 力	シ グ (ク リ テ イ カ ル シ ン 思 考)	創 造 す る 力	情 報 参 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	設 計 未 來 力 を 切 り 拓 く キ ャ リ ア	主 体 的 な 行 動 力	(協 働 力 ム ー ワ ー ク)						
二年 (基礎力養成期)	4 5	Introduction 1マネジメントとは何か 2ビジネス・マネジメントとは 1章 ビジネスの創造 1ビジネスの創造と社会 2事業創造の基本 3事業機会の発見 4戦略と競争優位 5事業創造の計画と実行 実習1 ビジネスの機会 実習2 地域振興	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知】『ビジネス・マネジメント』は、新しいビジネスの創造という活動を軸にして、さまざまな科目と相互に関連する総合的な科目であることを理解している。 【知】ビジネスにおけるマネジメントの概要を理解している。 【思】マネジメントの意義と課題について、ビジネスの適切な展開と関連付けて考えている。 【主】ビジネスにおけるマネジメントについて自ら学び、企業を取り巻く環境を踏まえ、マネジメントに主体的かつ協働的に取り組んでいる。				
		2章 ビジネスの組織化 1組織のマネジメント 2分業と調整 3組織の設計 4組織内部のマネジメント 5取引関係のマネジメント 実習3 組織設計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知】組織のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解している。 【思】組織のマネジメントに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、組織の管理と活性化の方策を考案して実施し、評価・改善をおこなっている。 【主】組織のマネジメントについて自ら学び、組織の一員として組織の適切な管理と活性化に主体的かつ協働的に取り組んでいる。				
二年 (思考力養成期)	9 10	3章 経営資源のマネジメント 1財務的資源のマネジメント 2人的資源のマネジメント 3物的資源のマネジメント 4情報的資源のマネジメント 実習4 経営資源の活用 実習5 財務分析	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知】経営資源のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解している。 【思】経営資源のマネジメントに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、経営資源の管理と活用の方策を考案して実施し、評価・改善をおこなっている。 【主】経営資源のマネジメントについて自ら学び、経営資源の適切な管理と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。				
		4章 ビジネスの変革 1ビジネスの拡大 2多角化の動機 3多角化企業のマネジメント 4事業の転換 実習6 長寿企業調査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知】ビジネスの創造と展開について企業における事例と関連付けて理解している。 【思】ビジネスの創造と展開に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの創造と展開に関する計画を立案し、評価・改善をおこなっている。 【主】ビジネスの創造と展開について自ら学び、プロジェクトを適切に管理し、ビジネスの創造と展開に主体的かつ協働的に取り組んでいる。				
二年 (実践力養成期)	1 2 3	5章 ビジネスと社会 1社会における企業 2企業への支援 3企業の責任 4企業への牽制 実習7 ビジネスと社会 実習8 SDGs活用 実習9 新規事業計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知】企業の秩序と責任について企業における事例と関連付けて理解している。 【思】企業の秩序と責任に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、企業の秩序の維持と責任を果たす方策を考案して実施し、評価・改善をおこなっている。 【主】企業の秩序と責任について自ら学び、企業の秩序を維持し、責任を果たすことによって主体的かつ協働的に取り組んでいる。				

		評価の観点内容												評価方法			
知識及び技能		ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つマネジメントに関する知識を身に付けているか。												・基本的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解と問う小テスト ・課題実力考查や定期考查			
思考力、判断力、表現力等		ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見し、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、マネジメントに関する理論等の科学的根拠に基づいて解決策を考えることができるか。												・課題レポート ・グループでの話し合い(発言内容)や発表等 ・小テスト、課題実力考查、定期考查			
主体的に学習に取り組む態度		ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマネジメントについて学び、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、新たなビジネスの創造と展開等に責任をもって取り組もうとしているか。												・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける議論(参加態度) ・取組の自己評価(目標設定含む)の内容			

使用教科書	TAC出版 財務会計II	副教材等	TAC出版 日商簿記2級テキスト・トレーニング
学習の到達目標	・財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ・企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計の側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を養う。		

学 期	月	单元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準				
			方 接 移 ・ 礼 儀 （ 基 礎 人 間 の 知 材 料 や 根 據 能 力	と 思 考 る 実 力 の 力 能 性 （ 基 礎 人 間 の 知 材 料 や 根 據 能 力	コ ミ ュ ニ ケ シ ョ ン 能 力	情 報 収 集 力	方 想 像 力 ・ 未 來 を 予 測 す る 力	課 題 を 発 見 す る 力	方 客 觀 的 な 物 事 を 見 つ め る 力	論 理 的 の 思 考 力	シ カ 情 グ ー 解 ク 分 析 テ リ ー カ 批 判 シ ン 思 考 力	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	設 計 來 方 を 切 り 拓 く キ ャ リ ア	主 体 的 な 行 動 力
一年（思考力養成期）	一学期	第1編 財務会計の基本概念と会計基準	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・財務報告の意義や有用性について理解できる。 ・資産・負債・純資産の意味と分類について理解できる。 ・各アプローチの観点を理解できる。 ・収益費用アプローチの概要を理解できる。 ・我が国の会計基準の特徴を整列して、会計基準の国際的統合の流れを把握できる。 ・深遠評価の基準について理解し、貸借対照表に記載できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際会計基準について自ら学び、適正な会計手続きができるよう取り組むことができる。
		第2編 金融商品	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・金融商品における現在価値の考え方から将来のキャッシュ・フローの価値を算出し、評価できる。 ・外貨換算の意義、為替換算と為替差損益について理解し、財務諸表に正しく記載できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・企業における取引から正確な財務報告に必要な書類を作成するためには各勘定を正しく分類し、正しい計算処理を主体的に協働的に取り組むことができる。
		第3編 収益と費用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・様々な商取引の流れについて理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・企業における取引から正確な財務報告に必要な書類を作成するためには各勘定を正しく分類し、正しい計算処理を主体的に協働的に取り組むことができる。
		第4編 有形固定資産と無形固定資産	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・リース契約の意義やその分類、会計処理について理解できる。 ・減価償却法における利息法を理解し、定期法との違いについて考え、どちらが有用であると考えることができる。 ・無形固定資産における償却額の計算が理解できる。 ・減損会計の流れや損失の認識の判断や損失額の測定が正しく理解できる。
一年（実践力養成期）	二学期	第5編 固定負債	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・社債を行っている債権のまでの会計処理について理解できる。 ・退職給付債務の算定期限・年金資産・退職給付費用について理解できる。 ・資産除去債務の会計処理について理解できる。
		第6編 純資産	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・一時差額と繰延税資産・繰延税金負債を理解できる。 ・新株予約権やストック・オプションについて理解できる。 ・剰余金配当の分配可能額を計算できる。 ・企業結合会計の取扱いを理解できる。 ・合併会計・支配獲得の意味と支配獲得時の処理について理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・職業会計人として高い倫理観を養うように主体的に取り組むことができる。
		第7編 税効果会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・税効果会計の意義や取引について理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・企業会計と税効果会計の特徴を理解し、法人税等がどのようにして計算されているのか、主体的に学習に取り組むことができる。
		第8編 キャッシュ・フロー計算書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・キャッシュ・フロー計算書における直接法、間接法という異なる表示方法を理解できる。 ・キャッシュ・フロー計算書の必要性が理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書を比較し、財務状況を正しく把握するよう主体的に協働的に取り組むことができる。
二年（思考力養成期）	三学期	第9編 企業集団の会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・合併会計・支配の獲得の意味と支配獲得時の処理について理解できる。 ・税効果会計の意義や取引について理解できる。 ・持分の変動により、支配獲得までの段階で、支配獲得後追加取得・子会社株式の一部売却の取引が支配関係にどう影響したか判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・連結財務諸表の作成方法について自ら学び、正確に作成しようと取り組むことができる。
		第10編 財務諸表分析	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・財務諸表を活用し、企業ループの状況が把握できる。 ・財務諸表を活用し、株価の妥当かどうか判断でき、企業価値を正しく評価することができます。 ・四半期報告書の概要と意義について理解できる。 ・企業価値や株価指標など株価の判断材料について理解できる。 ・企業価値を算出する二つの考え方について理解できる。 ・企業価値を割引キャッシュ・フローにもどづいて正しく計算することができる。 ・会社法および監査商品取引法にもとづく監査のしくみを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・職業会計人として高い倫理観を養うように主体的に取り組むことができる。
		第11編 監査と職業会計入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・監査のプロセスと監査手続きについて理解できる。 ・監査意見と監査報告書について整理する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・監査・公開に関する法規について理解し、会計を担う者としての社会的役割を身に付ける、主体的に取り組むことができる。

		評価の観点内容	評価方法
知識・技術		●新しい会計基準やその処理に関する知識を身に付け、財務会計の基本概念や監査について理解しているか。 ●新しい会計基準に関する会計処理の技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計画的に把握し、的確に提供・活用することができるか。	・実践的な知識の獲得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力考査・定期考査
思考・判断・表現		●新しい会計基準や財務会計の基本概念について、なぜ、そのように考えて処理を行うのかなど自ら思考を深め、高度な知識と技術を活用して適切に判断する能力を身に付いているか。また、その成果を会計情報の提供および活用という形で適切に表現することができるか。	・課題レポート ・課題の取扱状況を提出状況 ・授業態度、グループでのディスカッションや發表等 ・小テスト、課題実力考査、定期考査
主体的に学習に取り組む態度		●財務会計および監査について関心をもち、その理論と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、会計情報を提供し、活用しようとする態度を身に付いているか。	・ノートの記入状況 ・課題の取扱状況を提出状況 ・授業態度、グループでのディスカッション（参加態度） ・教員の自己評価（目標設定含む）の内容

使用教科書	TAC出版 原価計算	副教材等	TAC出版 実教出版	原価計算論点別ステップアップ問題集 全商簿記実務検定模擬試験問題集 1級原価計算
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、原価情報の提供と活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。			

学 期	単元名	基礎力		思考力		実践力		活動内容・評価規準							
		力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思われる実践力(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を見つめる力	力客観的に認物知を見つめる力	論理的思考力	シカゲークニテイヘカルシヨンキサ	情報開析力	創造する力	設未来力を切り拓くキャリア	主的な行動力	へ協働力ムーワーク
二年（基礎力養成期）	第1編 原価計算の基礎 第1章 原価と原価計算 第2章 原価計算のあらまし 第3章 工業簿記の勘定連絡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解している。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思判表】原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、それを原価計算表・仕訳・勘定の記入で確実に用い、どのような勘定が必要なのなどについて考えている。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主】自ら進んでいろいろな物の原価を計算したり、問題演習に意欲的に取り組んでいる。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】材料費・労務費・経費の消費高を計算及び記帳に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。また、予定價格法を用いる理由など合理的な原価計算の考え方を理解している。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思判表】なぜ、予定價格法を用いるのか、資金の支払いと消費はどう違うのかなど合理的な記帳法はどのようなもののが何について考え、適切に判断して学習を進めている。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主】原価の費用別計算について関心をもち、自ら進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。また、疑問点については粘り強く調べたり、積極的に質問したりする態度が見られる。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識及び技術】原価の部門別計算と製品別計算に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。また、各種原価計算の方法の特徴について理解している。
二年（応用力養成期）	第3編 原価の部門別計算と製品別計算 第7章 個別原価計算 第8章 部門別個別原価計算 第9章 製品別原価計算 第10章 総合原価計算と減損・仕損じの発生など	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思判表】なぜ、製造間接費は予定配賦するのか、工程別計算を行うのかなどについて考え、適切に判断して学習を進めている。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主】原価の部門別計算と製品別計算について関心をもち、自ら進んでまとめたり、問題演習に意欲的に取り組んでいる。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】製品の完成と販売及び決算と本社工場間の取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。また、製造業の決算の特徴について理解している。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思判表】製造業の決算の特徴を商品販売業の決算と比較して考えたり、本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考えたりする。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主】製品の完売時及び販売時の手続や処理法、製造業の決算の特徴、さらに本社工場間の取引の記帳について関心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。
二年（応用力養成期）	第4編 製品の完成・販売と決算 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社工場間の取引	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】製品の完成と販売及び決算と本社工場間の取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。また、製造業の決算の特徴について理解している。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思判表】製造業の決算の特徴を商品販売業の決算と比較して考えたり、本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考えたりする。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主】製品の完売時及び販売時の手続や処理法、製造業の決算の特徴、さらに本社工場間の取引の記帳について関心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】標準原価計算や直接原価計算を利用した原価情報の活用に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【思判表】なぜ、原価標準を設定するのか、差異分析により何がわかるのか、直接原価計算においては、販売変動法だけ計算するのかなど原価管理や利益計算について理解しようとしている。
二年（応用力養成期）	第5編 標準原価計算 第14章 標準原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2) 第6編 直接原価計算 第16章 直接原価計算(その1) 第17章 直接原価計算(その2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主】標準原価計算や直接原価計算を利用した原価情報の活用について関心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全商簿記業務検定原価計算部門 受験 日商簿記検定2級 受験

評価の観点内容		評価方法
知識・技術	原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	・実践的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力考查や定期考査
思考・判断・表現	原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用する方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。	・課題レポート ・グループでのディスカッションや発表等 ・小テスト、課題実力考查、定期考査
主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に活用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループでのディスカッション（参加態度） ・取組の自己評価（目標設定台帳）の内容

使用教科書	実教出版 ソフトウェア活用	副教材等	実教出版 全商情報処理検定模擬試験問題集ビジネス情報部門1級
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業活動におけるソフトウェアの活用に必要な資質・能力を身に付ける。		

学年	月	単元名	基礎力										思考力										活動内容・評価規準	
			方接移 換・ 礼儀 （ 基礎人間 ）	複思 考・ 学習 の材 料知 識や根 基	ココ ニティ ニケイ ション能 力	情報 収集 能力	る想 像力・ 未 來 を予 測 する 力	課題を 客観的 に見 る力	る客 観的 に物 の見 た物 見 る力	論理的 的思 考	考 察 力・ 分析 力	考 察 力・ 分析 力	創造 する 力	情報 発信 能力	課題を 解 決 する 力	ア クシ ス ス ト リ カ ル 能 力	主 体 的 な 行 動 力	主 体 的 な 行 動 力	協 働 力 マ ー ク					
一年（思考力養成期）	一学期	4 企業活動とソフトウェアの活用	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用について理解しているとともに、関連する知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と目的について認識し、企業活動と関連付けて考え判断し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるソフトウェアの活用と進化について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。		
		5 情報通信ネットワークの活用	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ネットワークの構成が必要なハードウェア、ソフトウェアとの設定に関連する知識と技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ネットワーク構成に必要なハードウェア、ソフトウェアを適切に選択でき、適切な判断に基づくデータの収集やセキュリティ管理の基準を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ネットワーク構成に必要なハードウェア、ソフトウェアについて、積極的に理解や実習に取り組み、データの保護やセキュリティ管理の基準を身に付けるよう主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
		6 表計算ソフトウェアの活用Ⅰ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 表計算ソフトウェアの活用について実務に即して理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、表計算ソフトウェアを活用して、情報を集計・分析とともに、その結果を表現し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 表計算ソフトウェアの活用について自ら学び、情報の効率的な集計・分析と分析結果の適切な表現に主体的かつ協働的に取り組むことができる。 ※ 全商ビジネス文書実務検定1級（文書）受験
二年（思考力養成期）	二学期	9 10 表計算ソフトウェアの活用Ⅱ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 財務情報や販売情報の分析方法、活用に関連する技術を身に付けている。マクロ機能を用いた手続きの自動化についての知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 財務情報や販売情報の分析結果から、企業の財政状況や経営成績、販売動向などを判断でき、表計算ソフトウェアを活用して分析結果を的確に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 財務情報や販売情報に关心をもち、表計算ソフトウェアの機能を利用した分析実習に積極的に取り組み、自ら進んで知識・技術を身に付けるよう主体的かつ協働的に取り組んでいる。
		11 データベースソフトウェアの活用	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 データベースの役割と仕組み、構造やリレーションシップの意味を理解している。テーブル・クエリ・フォーム・リポートの機能と関連について、SQLの文法を理解した上で操作の実習に付けている。 【思考・判断・表現】 業務の特性に合わせて、データベースの効果的な活用方法を判断でき、処理の内容によってマクロ機能やSQLを使い分けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおけるデータベースの活用に关心をもち、知識・技術を積極的に身に付けようとして主体的かつ協働的に取り組んでいる。
		11 12 業務処理用ソフトウェアの活用	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 データベースの役割と仕組み、構造やリレーションシップの意味を理解している。データベースのデータの登録・削除・更新などの操作を理解し、適切に活用する知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ビジネスにおける情報の一元管理や情報の共有の重要性を理解した上で、適切な業務処理ソフトウェアを選択して、効率的な活用を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおける情報の一元管理や情報の共有の重要性を理解した上で、適切な業務処理ソフトウェアを選択して、効率的な活用を思考することに、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ※11月 全商ビジネス文書実務検定1級（速度）受験
三年（実践力養成期）	三学期	1 2 3 情報システムの開発	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 システム開発における代表的な開発モデルと開発手法について、基礎的な知識・技術を習得している。アルゴリズムの基本を踏まし応用的な活用技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 システムの開発の手順や開発モデルを理解し、各手順の目的や開発を適切に説明できる。データ処理の目的に応じた処理を自ら考え、アルゴリズムなどに表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 システムの開発に興味を持ち、その設計や作成の方法を積極的に学んでいる。ソフトウェアの特徴を生かした実習に積極的に取り組み、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ※1月 全商情報処理検定ビジネス情報部門1級受験

評価の観点内容		評価方法
知識・技術	企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解をもとに、関連する技術を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 事実的な知識の習得を問う小テスト 知識の概念的な理解を問う小テスト 課題実力考査や定期考査
思考・判断・表現	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 課題レポート グループでの話し合い（発言内容）や発表等 小テスト、課題実力考査、定期考査
主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ノートの記入状況 課題の提出状況と提出状況 授業態度、グループにおける話し合い（参加態度） 取組の自己評価（自己設定含む）の内容

使用教科書	なし	副教材等	なし
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を養う。		

学 期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力探 査・ 礼儀 (基礎 人間 力)	機思 考・ 学 習 力の (材 料 や 根 基)	力コ ミュ ニケー ション 能	情報 収集 力	る想 力 ・未 来 を予 測 す	課 題 を発 見 する 力	る客 觀 的 に物 事 知 見 つ め	論 理 的 の思 考 力	ンキ ング 分析 力 (クリ ティ カル 的 恩 シ)	創造 する 力	情 報 發 信 力	課 題 を解 決 する 力	ア 未 來 を設 計 力 ・切 り 拓 く キ ャ リ	(協 働 力 ムワ ーク)
一 学 期	4	オリエンテーション (1)課題研究の目標について (2)研究コースについて (3)日誌、月報、年間計画の記入方法について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 課題研究の目標を理解し、ビジネスに関する課題を設定し、研究コースを選択している。研究するにあたり、商業の各分野で身に付けた知識・技術を生かしている。 【思考・判断・表現】 ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。
	5	研究コースごとに活動 (1)「調査、研究、実験」 (2)「作品制作」 (3)「産業現場等における実習」 (4)「職業資格の取得」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	6															
	7															
三年 (実 践 力 養 成 期)	9	研究コースごとに活動 (1)「調査、研究、実験」 (2)「作品制作」 (3)「産業現場等における実習」 (4)「職業資格の取得」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	10	中間報告書の作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11	課題研究発表会準備														
	12															
三 学 期	1	研究コースごとに活動 (1)「調査、研究、実験」 (2)「作品制作」 (3)「産業現場等における実習」 (4)「職業資格の取得」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 一年間研究してきたことや課題研究をとおして学んだことを最終報告書にまとめ、聞き手側に分かりやすく伝わるように工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 最終報告書の作成や研究してきた内容を発表する活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	2															
	3	最終報告書の作成 課題研究発表会														

		評価の観点内容	評価方法
知識・技術		商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた知識・技術を身に付けている。	
思考・判断・表現		ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	授業への取組 年間計画、日誌、月報の作成 中間報告書 発表会への取組 最終報告書
主体的に学習に取り組む態度		課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	

使用教科書		副教材等	実教出版 新版総合実践「同時同業法を中心として」
学習の到達目標	商業科の総合的な科目として、教室内外に会社を設け、生徒自らが経営者となって企業相互間の売買その他の取引活動を実践的・体験的に学習することを目標にしています。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価標準				
			力挨拶 (～) ・礼儀 (～基礎人間 力)	と思想する ・実践の 力の 知識) や根柢 能 力	コミュニケーション力	情報収集力	力想像力 ・未来を予測する 力	課題を発見する 力	力客観的 に物事を見つめる 力	論理的 思考力	情報分析力 (～) ・批判的 ・創造的 思考	創造する 力	情報発信力	課題を解決する 力	設未来計画 力を切り拓く 力	主体的な行動力 ・協働力 ムワーク
三年(～ 実践力養成期)	4 5	総合実践の基礎 ・総合実践の学習について ・応対の心得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や適切な方法、業務についての基礎的・基本的な知識を身につけている。
	6 7	・通信文書の作成 ・代金の支払い														【思考・判断・表現】 様々な場面における適切なコミュニケーション方法や合理的な業務遂行方法を、基礎的な知識をもとに自ら考え、判断し、表現している。
三年(～ 実践力養成期)	9 10	基本取引 ・取引の仕組み ・仕入取引 ・販売取引 ・取引のまとめ(会計処理)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ビジネスにおける各種取引について、実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。
	11 12															【思考・判断・表現】 ビジネスにおける各種取引について、実務に即して理解し、総合的に思考・判断・表現し、改善方法を考える。
三年(～ 実践力養成期)	1 2 3	取引演習 ・取引の仕組み ・総合取引演習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ビジネスにおける取引について、総合的に理解しており、関連する技術を身に付けている。
																【思考・判断・表現】 ビジネスの実務における課題を発見し、根拠に基づき課題への対応策を考案し、改善している。
																【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスの実務について自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技術	ビジネスのしくみに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、会計の基本的なしくみについて理解しているか。	・授業への取り組み ・定期考査
思考・判断・表現	取引で必要なビジネス文書の作成、諸帳簿の記帳・決算を実践し、経営成績と財政状態を明らかにできるか。 適切なビジネスコミュニケーションを図ることができるか。	・授業、演習への取り組み ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	ビジネスの企画・運営に関心をもち、自ら進んで意欲的に取り組んでいるか。	・授業、演習への取り組み ・営業日誌の記入

使用教科書	実教出版 商品開発と流通	副教材等	商品開発と流通 準拠問題集 (実教出版)
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		

学 期	月	单元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力操 ・ 礼儀 (基礎人間 力の 知識) や 機械 能力	と思 考する ・ 実践 の 知 能	コ ミ ニ ケ ー シ ョ ン	情 報 収 集 力	力想 像 力 ・ 未 來 を 予 測 す る	課 題 を 発 見 す る 力	力客 観 的 的 に 物 認 知 し て 見 つ め る	論 理 的 の 思 考 力	シ グ ー ク リ ア ナ リ ス ト イ ー カ ル リ シ ン キ ー 考 え	創 造 す る 力	情 報 情 報 發 信 力	設 計 未 來 計 算 力 を 解 決 す る 力	主 体 的 な 行 動 力	(協 チ ー ム ワ ー ク)
三年 (基礎力養成期)	一学期	Introduction 1なぜ商品開発と流通は行われるのか? 2なぜ『商品開発と流通』を学ぶのか?	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・商品開発と流通が一連のものであることを理解している。 ・『商品開発と流通』の学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代市場における商品開発と流通の概要について理解している。 【主体的に学習する態度】 ・商品の特徴と関連付けで、商品開発の意義と課題を見出しができる。 ・商品開発の手順とともに、学習計画が立てられている。 ・商品と流通との関わりについて、具体的な事例と関連付けながら、思考できている。 【主目的に学習する態度】 ・経済や消費者の動向について自ら学び、主体的かつ協働的に学習に取り組んでいる。 ・商品開発の流れを理解している。
		1章 商品開発と流通の概要 1 商品の生活と商品 2 商品開発の意義と手順 3 商品と流通との関わり	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・商品イフサイクルおよびS TP分析について理解している。 ・市場調査から商品の企画に関する課題を見出す。 ・プレゼンストーミングなどの技術を用いて、アイディアの創出が行えている。 ・アイディア創出に当たり、主体的かつ協働的な取り組みを行っている。 【思考・判断・表現】 ・企画の手順とともに、学習計画が立てられている。 【主体的に学習する態度】 ・商品の企画に取り組んで、経済や消費者の動向などを踏まえ、商品の企画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 ・実習に積極的に取り組んでいる。 ・商品の企画について理解している。
		2章 商品の企画 1 環境分析と意思決定の準備 2 市場調査 3 商品セプトの策定 4 商品企画の提案	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・商品イフサイクルおよびS TP分析について理解している。 ・市場調査から商品の企画に関する課題を見出す。 ・プレゼンストーミングなどの技術を用いて、アイディアの創出が行えている。 ・アイディア創出に当たり、主体的かつ協働的な取り組みを行っている。 【思考・判断・表現】 ・企画の手順とともに、学習計画が立てられている。 【主体的に学習する態度】 ・商品の企画に取り組んで、経済や消費者の動向などを踏まえ、商品の企画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。 ・実習に積極的に取り組んでいる。 ・商品の企画について理解している。
		実習 商品の企画 期末考査	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・事業計画書の立案について理解している。 ・價格の設定方法を理解している。 ・企画の手順を取り上げていている。 ・價格設定ごとに強調している。ことに気付いている。 ・流通チャネルの種類と特徴から、流通計画について理解している。 ・企業におけるプロモーション活動の事例を取り上げ、それぞれの特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ・科学的な根拠に基づいて事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を作り出している。 ・商品の企画に取り組んで、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を作り上げて、商品デザインの技法について分析できている。 ・プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。
三年 (思考力養成期)	二学期	3章 事業計画書の立案 1 事業計画の概要 2 価格計画 3 流通計画 4 プロモーション計画 5 事業計画書の作成 実習 事業計画書の立案	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・事業計画書の立案目的に合せて、一連の流れを理解している。 ・價格の設定方法を理解している。 ・企画の手順を取り上げていている。 ・價格設定ごとに強調している。ことに気付いている。 ・流通チャネルの種類と特徴から、流通計画について理解している。 ・企業におけるプロモーション活動の事例を取り上げ、それぞれの特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ・科学的な根拠に基づいて事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を作り出している。 ・商品の企画に取り組んで、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を作り上げて、商品デザインの技法について分析できている。 ・プレゼンテーションに必要な技術を用いて、表現活動が行えている。
		4章 商品の開発 1 商品仕様と詳細設計 2 プロトタイプ 3 商品とデザイン 実習 パッケージをデザインする 実習 ポスターをデザインする	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・プロトタイプの種類と目的を理解している。 ・プロトタイプを用いた試作と評議により、課題を見つけ、改善する必要性を理解している。 ・市場調査から商品の企画に関する課題を見出す。 ・企業の事例を取り上げて、商品デザインの技法について分析できている。 【思考・判断・表現】 ・パッケージデザインを制作している。 ・コンピュータを用いて、パッケージデザインが行えている。 ・ブランドの機能、構成要素等を理解している。 ・知識財産権の内容や、手続き方法を違いを理解している。 ・知識財産権の権利について、科学的な根拠に基づいて、具体的な事例について分析、考察ができる。 ・商品の開発について理解している。
		11 12 期末考査 4 ブランド 5 知的財産権の登録	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・パッケージデザインの考察が行えている。 ・パッケージデザインを制作している。 ・コンピュータを用いて、パッケージデザインが行えている。 ・ブランドの機能、構成要素等を理解している。 ・知識財産権の内容や、手続き方法を違いを理解している。 ・知識財産権の権利について、科学的な根拠に基づいて、具体的な事例について分析、考察ができる。 ・商品の開発について理解している。
		1 2 実習 商品の販売 1 販売員活動 2 セールス・プロモーション	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・プロモーション活動におけるプロセス、役割等を理解している。 【思考・判断・表現】 ・企業の事例を取り上げ、顧客の購買心理に基づいたセールスプロモーションが行われていることに気付いている。
三年 (実践力養成期)	三学期	3 6章 商品開発と流通に関わる新たな展開 1 商品開発の新たな展開 2 流通の新たな展開 3 感覚を活かした商品開発・流通	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習する態度】 ・商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解し、商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識と、流通の立場から捉えた取引対象としての商品に関する知識を身に付けている。
		1 2 実習 商品の販売	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習する態度】 ・流通とプロモーションについて、自ら学び、経済や消費者の動向を踏まえて、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・科学的な根拠に基づいて、実習計画を立案し、実施後に課題を見つけ、評価・改善している。 ・商品の販売について理解している。
		3 6章 商品開発と流通に関わる新たな展開 1 商品開発の新たな展開 2 流通の新たな展開 3 感覚を活かした商品開発・流通	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習する態度】 ・企業の事例を取り上げて、デザイン思考の商品開発について理解できている。

			評価の観点内容								評価方法		
知識・技術			商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解し、商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識と、流通の立場から捉えた取引対象としての商品に関する知識を身に付けている。								授業への取り組み ・定期考査、確認テスト		
思考・判断・表現			商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し、商品開発と流通の動向や課題を見えるとともに、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり、提案したりしている。								授業への取り組み ・ワークシート、レポート		
主体的に学習に取り組む態度			ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら商品開発と流通について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、商品開発と流通に関する学習活動に責任をもって取り組もうとしている。								授業への取り組み ・諸事録、ワークシート		

使用教科書	ビジネス・マネジメント (実教出版)	副教材等	ビジネス・マネジメント準拠問題集 (実教出版)
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるマネジメントに必要な資質・能力を身に付ける。		

学 期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思想する・学実践の(知材料)や根拠	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を見出す力	力客観的に物事を見つめる	論理的思考力	シグマ(情報分析力)→批判的思考	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計未来を切り拓く力	(協働力)ムーアワーク
二年(基礎力養成期)	4 5	Introduction 1.マネジメントとは何か 2.ビジネス・マネジメントとは 1章 ビジネスの創造 1.ビジネスの創造と社会 2.事業創造の基本 3.事業機会の発見 4.戦略と競争優位 5.事業創造の計画と実行 実習1 ビジネスの機会 実習2 地域振興	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知】『ビジネス・マネジメント』は、新しいビジネスの創造という活動を軸にして、さまざまな科目と相互に関連する総合的な科目であることを理解している。 【思】ビジネスにおけるマネジメントの概要を理解している。 【思判】マネジメントの意義と課題について、ビジネスの適切な展開と関連付けて考えている。 【主】ビジネスにおけるマネジメントについて自ら学び、企業を取り巻く環境を踏まえ、マネジメントに主体的かつ協働的に取り組んでいる。
		2章 ビジネスの組織化 1.組織のマネジメント 2.事業と調整 3.組織の設計 4.組織内部のマネジメント 5.取引関係のマネジメント 実習3 組織設計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知】組織のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解している。 【思判】組織のマネジメントに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、組織の管理と活性化の方策を考案して実施し、評価・改善をおこなっている。 【主】組織のマネジメントについて自ら学び、組織の一員として組織の適切な管理と活性化に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
二年(思考力養成期)	9 10	3章 経営資源のマネジメント 1.財務的資源のマネジメント 2.人的資源のマネジメント 3.物的資源のマネジメント 4.情報的資源のマネジメント 実習4 経営資源の活用 実習5 財務分析	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知】経営資源のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解している。 【思判】経営資源のマネジメントに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、経営資源の管理と活用の方策を考案して実施し、評価・改善をおこなっている。 【主】経営資源のマネジメントについて自ら学び、経営資源の適切な管理と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
		4章 ビジネスの変革 1.ビジネスの拡大 2.多角化の動機 3.多角化企業のマネジメント 4.事業の転換 実習6 長寿企業調査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知】ビジネスの創造と展開について企業における事例と関連付けて理解している。 【思判】ビジネスの創造と展開に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの創造と展開に関する計画を立案して実施し、評価・改善をおこなっている。 【主】ビジネスの創造と展開について自ら学び、プロジェクトを適切に管理し、ビジネスの創造と展開に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
二年(実践力養成期)	11 12	5章 ビジネスと社会 1.社会における企業 2.企業への支援 3.企業の責任 4.企業への牽制 実習7 ビジネスと社会 実習8 SDGs活用 実習9 新規事業計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知】企業の秩序と責任について企業における事例と関連付けて理解している。 【思判】企業の秩序と責任に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、企業の秩序の維持と責任を果たす方策を考案して実施し、評価・改善をおこなっている。 【主】企業の秩序と責任について自ら学び、企業の秩序を維持し、責任を果たすことによって主体的かつ協働的に取り組んでいる。

		評価の観点内容												評価方法	
知識及び技能		ビジネスにおけるマネジメントについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つマネジメントに関する知識を身に付けているか。												<ul style="list-style-type: none"> • 基本的な知識の習得を問う小テスト • 知識の概念的な理解と問う小テスト • 課題実力検査や定期検査 	
思考力、判断力、表現力等		ビジネスにおけるマネジメントに関する課題を発見し、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、マネジメントに関する理論等の科学的根拠に基づいて解決策を考えることができるか。												<ul style="list-style-type: none"> • 課題レポート • グループでの話し合い(発言内容)や発表等 • 小テスト、課題実力検査、定期検査 	
主体的に学習に取り組む態度		ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマネジメントについて学び、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、新たなビジネスの創造と展開等に責任をもって取り組もうとしているか。												<ul style="list-style-type: none"> • ノートの記入状況 • 課題の取組状況と提出状況 • 授業態度、グループにおける議論(参加態度) • 取組の自己評価(目標設定含む)の内容 	

使用教科書	商業740 ビジネス法規	副教材等	740 ビジネス法規 準拠問題集
学習の到達目標	商業・経済のとらえ方と通し実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規に基づくビジネスの実践に必要な資質・能力を育成することを目指す。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思想する・学実践(材料や根拠)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する	課題を発見する力	力客観的に物事を見つめる	論理的思考力	情報分析力(批判的・批判的・批判的思考)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計力を切り拓くキャリア	主体的な行動力	(協働力・チームワーク)
三年(基礎力養成期)	4 ・ 5	法の概要と個人の権利と義務などについて ・法の概要 ・権利・義務と財産権	○	○	○	○			○		○		○		○		【知識・技術】 ・経済社会の円滑な流れは法によって行われることが理解できる。 ・権利と義務・物と物権・債権の関係が理解できる。 【思考・判断・表現】 ・契約や物の売買における決まり事に基づき判断が理解できる。 ・時効について判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各章ごとの振り返り問題等の取り組み、問題集の取り組みがしっかりなされている。
	6 ・ 7	・財産権の変動															【知識・技術】 ・企業活動の主体が理解できる。 ・株式会社の特徴と機関について理解できる。 ・企業における法令順守の理解・判断ができる。 【思考・判断・表現】 ・紛争における善悪の判断、理解ができる。 ・理解した内容を発表し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各章ごとの振り返り問題等の取り組み、問題集の取り組みがしっかりなされている。
三年(思考力養成期)	9 ・ 10	企業活動と企業責任及び紛争の対策と予防等について ・企業活動と法規 ・企業責任と法規	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・税についての流れと仕組みが理解できる。 ・法人税の申告と納付について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・消費税の申告と納付について理解できる。 ・法と経済生活全般について総合的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・全商商業経済検定に自主的で積極的に取り組みができる。
	11 ・ 12	・紛争の解決と予防															【知識・技術】 ・税についての流れと仕組みが理解できる。 ・法人税の申告と納付について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・消費税の申告と納付について理解できる。 ・法と経済生活全般について総合的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・全商商業経済検定に自主的で積極的に取り組みができる。
三年(実践・判断力養成期)	1	税について ・税と法規	○	○	○	○	○	○				○	○				【知識・技術】 ・税についての流れと仕組みが理解できる。 ・法人税の申告と納付について理解できる。 【思考・判断・表現】 ・消費税の申告と納付について理解できる。 ・法と経済生活全般について総合的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・全商商業経済検定に自主的で積極的に取り組みができる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技術	経済活動や市民生活に法が密接に関係していることを実感し、法の知識を身に付けることができたか。 法の適用と解釈についての理解がなされたか。	・経済活動と市民生活が法と密接に関連していることが理解できたかの知識を問う小テスト
思考・判断・表現	ある事象の解釈について、生成過程や立法の趣旨を論理的に思考し、どう判断しとらえることができるか。	・様々なケースにおいて問題定義やグループでの話し合いや発表等 ・小テストや定期考查
主体的に学習に取り組む態度	経済活動や市民生活が安定的に営まれるために必要な法の知識、法的思考が生活上必須であることに関心をもち、意欲的に学習できたか。	・ノートや問題集の提出状況 ・授業態度、発表等の取り組み ・取り組みの自己評価の内容

使用教科書	管理会計（T A C 出版）	副教材等	未定
学習の到達目標	(1) 管理会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 会計情報を活用した経営管理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 (3) 適切な経営管理を行う力の向上を目指して学び、経営管理に有用な会計情報の提供と効果的な活用による具体的かつ協調的に取り組む態度を養う。		

学 期	月	单元名	基礎力		思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			力挨拶・礼儀 ・基礎人間	視聴思考力 ・学習力 ・教材や根 據の理解能	力コ ^ミ ュニケーション能	情報収集力	想力像力・未 ^來 予測する力	課題を見出す力	る客觀的 ^{めに} 論理的思考力	シナリオ分析力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	ア ^未 計画的行動力	主体的な行動力	～協働～ムワーク
三年（基礎力養成期）	一学期	第1編 管理会計と経営管理 第2章 管理会計の目的 第3章 管理会計に有用な原価情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・管理会計の概要について理解する。 【思考・判断・表現】 ・管理会計の意義について、経営管理と関連付けて見なければならない。 【主体的・学習に取り組む態度】 ・管理会計について自ら学び、経営管理に有用な会計情報を提供と効果的な活用に主体のかつ協働的に取り組む。
		第2編 短期利益計画 第4章 原価分析の方法 第5章 CVP分析と感度分析 第6章 利益の最大化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・短期利益計画について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・短期利益計画の立案の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。 【主体的・学習に取り組む態度】 ・短期利益計画について自ら学び、会計情報を基づく適切な短期利益計画の立案に主体のかつ協働的に取り組む。 【検定試験】 ・習熟度に応じて日商簿記2級を受験する。
		第3編 コストマネジメント 第7章 標準原価計算 第8章 直接標準原価計算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・コスト・マネジメントについて理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・コスト・マネジメントの方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。 【主体的・学習に取り組む態度】 ・コスト・マネジメントについて自ら学び、経営管理に有用な会計情報を提供と効果的な活用に主体のかつ協働的に取り組む。 【検定試験】 ・習熟度に応じて日商簿記2級を受験する。
	二学期	第4編 予算編成と予算統制 第9章 企業予算の編成 第10章 予算統制	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・予算編成と予算統制について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・予算編成と予算統制の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。 【主体的・学習に取り組む態度】 ・予算編成と予算統制について自ら学び、会計情報を基づく適切な予算編成と予算統制に主体のかつ協働的に取り組む。
		第5編 経営意思決定 第6章 経営意思決定の概要 第12章 業務の意思決定 第13章 構造的意思決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技能】 ・経営意思決定について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・経営意思決定の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。 【主体的・学習に取り組む態度】 ・経営意思決定について自ら学び、会計情報を基づく適切な経営意思決定に主体のかつ協働的に取り組む。 【検定試験】 ・習熟度に応じて日商簿記2級を受験する。
		第6編 業績測定 第14章 企業の組織構造 第15章 業績測定の方法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・業績測定について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・業績測定の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。 【主体的・学習に取り組む態度】 ・業績測定について自ら学び、会計情報を基づく適切な業績測定に主体のかつ協働的に取り組む。 【検定試験】 ・全管管理会計検定試験を受験する。
三年（実践力養成期）	三学期	第7編 コストマネジメント（その2） 第16章 目標原価計算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・コスト・マネジメントについて理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・コスト・マネジメントの方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。 【主体的・学習に取り組む態度】 ・コスト・マネジメントについて自ら学び、経営管理に有用な会計情報を提供と効果的な活用に主体のかつ協働的に取り組む。 【検定試験】 ・習熟度に応じて日商簿記2級を受験する。
		第17章 活動基準原価計算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・活動基準原価計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・活動基準原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。 【主体的・学習に取り組む態度】 ・活動基準原価計算について自ら学び、会計情報を基づく適切な活動基準原価計算に主体のかつ協働的に取り組む。 【検定試験】 ・習熟度に応じて日商簿記2級を受験する。
		第18章 品質原価計算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・品質原価計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・品質原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。 【主体的・学習に取り組む態度】 ・品質原価計算について自ら学び、会計情報を基づく適切な品質原価計算に主体のかつ協働的に取り組む。 【検定試験】 ・習熟度に応じて日商簿記2級を受験する。

評価の観点内容		評価方法
知識・技術	管理会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な知識の習得を問う小テスト 知識の概念的な理解を問う小テスト 課題実力考査/定期考査
思考・判断・表現	会計情報を活用した経営管理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 課題レポート グループでのディスカッションや発表等 小テスト、課題実力考査、定期考査
主体的に学習に取り組む態度	適切な経営管理を行う力の向上を目指して自ら学び、経営管理に有用な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ノートの記入状況 課題の取扱状況と提出状況 授業態度、グループでのディスカッション（参加態度） 取組の自己検討（目標設定をもつ）内容

使用教科書	実教出版 プログラミング マクロ言語	副教材等	実教出版 全商情報処理検定模擬試験問題集2級, 1級プログラミング 実教出版 全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集1級
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、企業活動に有用なプログラムと情報システム開発に必要な資質・能力を身に付ける。		

学期	月	単元名	基礎力		思考力		実践力		活動内容・評価規準						
			授業・礼儀(基礎人間力)	思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	想像力・未来を予測する力	課題を見つめる力	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	論理的思考力	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	未来を切り拓くキャリア設計力	主体的な行動力	協働力(チームワーク)	
三年 (基礎力養成期)	一学期	1 情報システムとプログラミング													【知識・技術】 ・情報システムとプログラミングの概要についての理解と技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・プログラミングの意義と課題について、企業活動の改善と関連付けて見いだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報システムとプログラミングの概要について自ら学び、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組める。
		4 (1)情報システムの重要性 (2)プログラミング言語の種類と特徴 (3)プログラミングの手順	○		○	○									
		2 ハードウェアとソフトウェア、アルゴリズム	○											【知識・技術】 ・コンピュータの基本的な機能と構成を理解し、ビジネスに活用できる技術を身に付いている。 【思考・判断・表現】 ・コンピュータ内部の働きについて考察し、ハードウェアが動作するためのソフトウェアの効果的活用や、企業活動改善の要分析、科学的根拠に基づいた情報処理を主体的かつ協働的に取り組める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータの基本的な機能と構成やアルゴリズムについて自ら学び、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発する上でのハードウェアとソフトウェアの効果的活用やアルゴリズムの考案を主体的かつ協働的に取り組める。	
	二学期	5 (1)データの表現 (2)ハードウェアの機能と動作 (3)ソフトウェアの体系と役割 (4)アルゴリズムの表現技法 (5)データ構造と制御構造 (6)変数・定数と演算 (7)データ入出力 (8)条件判定、繰り返し処理 (9)配列の利用	○		○	○	○	○	○					【知識・技術】 ・コンピュータの基本的な機能と構成やアルゴリズムについて自ら学び、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発する上でのハードウェアとソフトウェアの効果的活用やアルゴリズムの考案を主体的かつ協働的に取り組める。	
		6 (1)データの表現 (2)ハードウェアの機能と動作 (3)ソフトウェアの体系と役割 (4)アルゴリズムの表現技法 (5)データ構造と制御構造 (6)変数・定数と演算 (7)データ入出力 (8)条件判定、繰り返し処理 (9)配列の利用	○		○	○	○	○	○					【知識・技術】 ・プログラムと情報システムの開発について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けています。 【思考・判断・表現】 ・企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報システムを開発し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラムと情報システムの開発について自ら学び、企業活動の改善に対する要求を踏まえ、適切なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
		7 (1)データの表現 (2)ハードウェアの機能と動作 (3)ソフトウェアの体系と役割 (4)アルゴリズムの表現技法 (5)データ構造と制御構造 (6)変数・定数と演算 (7)データ入出力 (8)条件判定、繰り返し処理 (9)配列の利用	○		○	○	○	○	○					【知識・技術】 ・プログラムと情報システムの開発について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けています。 【思考・判断・表現】 ・企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報システムを開発し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラムと情報システムの開発について自ら学び、企業活動の改善に対する要求を踏まえ、適切なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
		9 (1)情報システム開発の手法と手順 (2)プロジェクト管理	○		○	○	○	○	○						【知識・技術】 ・プログラムと情報システムの開発について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けています。 【思考・判断・表現】 ・企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報システムを開発し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラムと情報システムの開発について自ら学び、企業活動の改善に対する要求を踏まえ、適切なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
		10 (3)手続き型言語の利用 (4)オブジェクト指向型言語の利用 (5)情報システムの評価と改善 (6)情報システム演習(マクロ言語) I	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・プログラムと情報システムの開発について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けています。 【思考・判断・表現】 ・企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報システムを開発し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラムと情報システムの開発について自ら学び、企業活動の改善に対する要求を踏まえ、適切なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
	三年 (実践力養成期)	11 (7)情報システム演習(HTML) I	○		○	○	○	○	○					【知識・技術】 ・プログラムと情報システムの開発について実務に即して理解を深めるとともに、関連する技術が向上している。 【思考・判断・表現】 ・企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報システムを開発し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラムと情報システムの開発について自ら学び、企業活動の改善に対する要求を踏まえ、適切なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
		12 (4)プログラムと情報システム開発(その2) (1)情報システム演習(マクロ言語) II (2)情報システム演習(HTML) II	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・プログラムと情報システムの開発について実務に即して理解を深めるとともに、関連する技術が向上している。 【思考・判断・表現】 ・企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報システムを開発し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラムと情報システムの開発について自ら学び、企業活動の改善に対する要求を踏まえ、適切なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	

			評価の観点内容	評価方法
知識・技術			プログラムと情報システム開発について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力考査や定期考査
思考・判断・表現			企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	・課題レポート ・グループでの話し合い(発言内容)や発表等 ・小テスト、課題実力考査、定期考査
主体的に学習に取り組む態度			企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・演習を通して制作したプログラム等の内容 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける話し合い(参加態度) ・取組の自己評価(目標設定含む)の内容

使用教科書	実教出版 ネットワーク活用	副教材等	
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるインターネットの活用に必要な資質・能力を身に付ける。		

学 期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思想する・学実践力の知識(材料や根拠)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	力客観的・物認知の思考力	論理的思考力	情報分析力(シグマ分析力)(批判的・構造的思考)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計未来力を切り拓くキャリア	(協働力)ムード
三年(基礎力養成期)	4 5	1 情報通信技術の進歩とビジネス	○	○	○	○	○				○	○	○			【知識・技術】 情報通信技術の進歩とビジネスの変化を関連付けて理解するとともに、それを利用した新しいビジネス、関連する法規などの基本的な知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ビジネスにおいて情報技術を活用することの意義の具体的な説明ができる。また、ビジネスで情報通信技術を活用する際の留意点を理解し、適切な判断をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報通信技術を活用する際に留意すべき法規・モールなどと、具体的な課題とを関連付けて、主体のかつ協働的に取り組むことができる。
		6 7	2 情報コンテンツの制作	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 各種情報コンテンツについて、基礎的な知識を理解し、それらを作成・編集するための基本的な技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 各種情報コンテンツについて、効果的な利用方法や表現方法を判断し、適切に使い分けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各種情報コンテンツについて、関心をもち、主体のかつ協働的に取り組むことができる。
三年(思考力養成期)	9 10	9 10 3 企業情報の発信とWebデザイン		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 Webサイトの構築について実務に即して理解しているとともに、関連する知識と技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 Webサイトに対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、伝達することが必要な情報を表現し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 Webサイトの構築について、主体のかつ協働的に取り組むことができる。
		11 12 4 インターネットと情報セキュリティ		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 インターネットと情報セキュリティについて実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 インターネットを活用する環境の構築と情報セキュリティの確保の方策を考案して実施し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 インターネットと情報セキュリティの確保に、主体のかつ協働的に取り組むことができる。
三年(実践力養成期)	1 2 3	1 2 5 電子商取引とビジネス		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 電子商取引サイトの制作について実務に即して理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作の技術の習得や適切な情報発信について、主体のかつ協働的に取り組むことができる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技術	ビジネスにおけるインターネットの活用について、実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	・実践的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力検査や定期検査
思考・判断・表現	ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	・課題レポート ・グループでの話し合い(発言内容)や発表等 ・小テスト、課題実力検査、定期検査
主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの活用に主体のかつ協働的に取り組む態度を養う。	・演習を通して制作したWebサイト等の内容 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける話し合い(参加態度) ・取組の自己評価(目標設定含む)の内容

使用教科書	ビジネス基礎 (実教出版)	副教材等	ビジネス基礎準拠問題集 (実教出版)
学習の到達目標	商業の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を身に付ける。		

学期	月	単元名	基礎力				思考力			実践力			活動内容・評価規準		
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	コミュニケーション能力(知識や根拠)	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を見つめる力	力客観的(物事を見つめる力)	論理的思考	ン力情報分析力(批判的・批判的思考)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計力(主観的・主体的な行動力)	協働力(ムワーカ)
一学期	4	1章 商業の学習とビジネス 1 いざ、ビジネスの世界へ 2 私たちの社会とビジネス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】商業を学ぶ目的や学び方を理解するとともに、ビジネスに関する基礎的な知識を身に付け、経済社会におけるビジネスの意義や役割を理解している。 【思判表】商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展と関連付けて見いだすことができる。また、科学的な根拠に基づいて、ビジネスにおいて他者に対応するとともに、情報を入手して活用し、評価・改善することができる。 【主】ビジネスの諸活動に広く関心を持ち経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けている。
	5	7章 ビジネス計算 1 ビジネス計算の基礎 2 ビジネス計算の応用 2章 ビジネスとコミュニケーション 1 コミュニケーション 2 ビジネスマナー 3 情報の入手と活用	○	○	○		○	○			○				【知技】取引とビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けています。 ・ビジネスにおけるコミュニケーションの役割や種類、ビジネスにおける話し方・聞き方について理解している。 【思判表】 ・数の表示の方法と売買に関する各種の計算について活用法と計算結果の妥当性について判断しようとする。 ・基本的なビジネスマナーの意義や場面に応じたビジネスマナーの重要性について考察しようとする。 【主】 ・ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組むことができる。 ・ビジネスにおける情報活用の重要性と情報入手の注意点について関心をもつ情報収集や活用を積極的に行おうとしている。 6月及び11月全商ビジネス計算実務検定受験
	6 7	3章 経済と流通の基礎 1 経済の仕組みとビジネス 2 経済活動と流通	○	○			○	○			○				【知技】生産と消費の隔たりを結びつける流通の機能や仕組みについて様々な資料を選択して活用しその変化を把握することができる。 【思判表】流通とは何か、流通が果たす役割について考察するとともに、その役割がますます重要なになってきている理由を考えようとする。 【主】生産・流通・消費という三大生産要素について理解し、希少性やトレード・オフ、機会費用について理解している。
二学期	9 10	4章 さまざまなビジネス 1 ビジネスの種類 2 小売業 3 銛売業 4 物流業 5 金融業 6 情報通信業	○	○			○	○			○				【知技】サービスの生産者について基礎的・基本的な知識を身につけ、その活動や動向について理解している。 【思判表】小売業者・銛売業者・物流業者の活動や動向を様々な角度から考察するとともに概要と変化をとらえ、説明しようとする。 【主】企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
	11 12	5章 企業活動の基礎 1 ビジネスと企業 2 マーケティングの重要性 3 資金調達 4 財務諸表の役割 5 企業活動と税 6 雇用	○	○				○			○	○			【知技】企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解している。 【思判表】企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考察することができる。 【主】企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
	1 2 3	6章 ビジネスと売買取引 1 売買取引の手順 2 代金決済 8章 身近な地域のビジネス 1 さまざまな地域の魅力と課題 2 地域ビジネスの動向	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】 ・売買契約の成立や条件、締結と履行までの流れの基本的な知識を身に付けています。 ・身近な地域のビジネスについて理解している。 【思判表】 ・売買契約の意義について考察するとともに、売買取引の手順を正しく説明できる。 ・身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興策を考案して実施し、評価・改善することができる。 【主】 ・売買契約の成立や条件および締結と履行等について自ら調べたりまとめたりしようとする。 ・身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組むことができる。 2月全商商業経済検定受験

		評価の観点内容										評価方法	
知識・技術		ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けているか。										・基本的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力考查や定期考查	
思考・判断・表現		ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養えたか。										・課題レポート ・グループでの話し合い(発言内容)や発表等 ・小テスト、課題実力考查、定期考查	
主体的に学習に取り組む態度		ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度が養えたか。										・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける議論(参加態度) ・取組の自己評価(目標設定含む)の内容	

使用教科書	TAC出版 簿記	副教材等	TAC出版 日商簿記3級テキスト・トレーニング・ドリル
学習の到達目標		(1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	

学 期	月	単元名	基礎力								思考力								実践力								活動内容・評価規準
			移 歩 礼 儀 （ 基 礎 人 間 力 ）	力 量 考 知 ・ 基 本 的 な 操 作 能 力 ・ 基 本 的 な 思 考 能 力 ・ 基 本 的 な 判 断 能 力 ・ 基 本 的 な 解 決 能 力 ・ 基 本 的 な 交 際 能 力 ・ 基 本 的 な 情 報 収 集 能 力	コ ミ ュ ニ ケ シ ョ ン 能 力	情 報 収 集 能 力	想 像 力 ・ 未 來 を 見 る 力																				
一年（基礎力養成期）	4	第1編 簿記の基礎 1章 簿記の基礎 2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 3章 収益・費用と損益計算書 4章 取引と勘定 5章 仕訳と転記 6章 仕訳帳と総勘定元帳 7章 試算表の作成 8章 精算表 9章 決算 10章 会計帳簿	○	○		○				○	○															【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・簿記の意味や役割、目的などを理解できる。 ・資産、負債、資本の増減から、また、収益、費用の発生から純損益の計算ができる。 ・簿記の要素を理解し、取引から仕訳の勘定を導きだし、仕訳ができる。 ・主要簿である仕訳帳入から総勘定元帳への転記、試算表の作成を行い、6桁精算表が作成できる。 ・決算手続から貸借対照表と損益計算書が作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・簿記の原則について自ら学び、適正な取引の記録と、記録の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
	5	第2編 取引の記帳と（その1） 11章 現金と預金の取引 12章 商品売買の取引 13章 挿引取引 14章 有価証券 15章 その他の債券・債務 16章 固定資産の取引 17章 販売債権の取引 18章 販売費及び一般管理費 19章 資本の取引と事業主個人の税金 20章 個人企業の税金	○	○		○				○	○															【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・現金、預金の記帳、商品売買の記帳、掛け取引の記帳、固定資産の記帳が正確に行える。 ・補助簿である当座預金出納帳、小口現金出納帳、仕入帳、売上帳、販売債権の意味を理解し作成できる。 ・売買を自らとした有価証券の記帳と、手形の書き換えと不渡りの記帳、手形解約作成もできる。 ・手形取引の記帳、債務の記帳、販売費及び一般管理費の記帳、資金の記帳が正確に行える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・取引の記帳について自ら学び、主体的に取り組むことができる。各勘定の内容の意味を理解し、分類することができる。	
	6	第3編 決算（その1） 21章 決算整理（その1） 22章 8桁精算表 23章 損益算定表 第4編 伝票と会計ソフトウェア 24章 伝票式会計と会計ソフトウェア	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・決算整理の意味を理解し、8桁精算表、貸借対照表と損益計算書が作成できる。 ・売上債権に対する貸倒引当金の計上、間接法による減価償却の記帳、費用・収益の確実記帳へ、見越し等に伴う決算手続きから、貸借対照表と損益計算書が作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・決算に伴う手配から始まり、次に各勘定の整理と決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組むことができる。 ・伝票の効率について自ら学び、伝票の利用と会計ソフトウェアの効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
	7	第5編 決算（その2） 25章 決算整理（その2） 26章 精算表と財務諸表の作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・帳簿の種類ごとの役割を理解し、また、仕訳伝票と3伝票の記入法を理解し、作成できる。 ・決算整理（棚卸減耗損及び商品評価損の計算、有価証券の評価損、減価償却費の計算等）を行い、精算表、損益計算書、貸借対照表を理解し作成ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
	9	第6編 取引の記帳（その2） 27章 発展 クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務 特殊な手形の取引	○	○		○																					【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・クレジットの先掛金、役員賃金、役員借入金、差入保証金の意味を理解し、正確に仕訳ができる。
	10	第7編 本支店会計 29章 本支店会計－本支店間の取引 30章 本支店会計－合併財務諸表	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・支店会計の独立の意味を理解し、本支店間の取引、支店相互間の取引の記帳できる。 ・本支店の財務諸表（損益計算書、貸借対照表）の合併について理解を深め、作成へと繋げられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本支店会計について自ら学び、適正な本支店・支店間取引と支店間取引の記録及び財務諸表の合併に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
	三学期	二学期の途中から「高校財務会計」を履修	・詳細は「財務会計Ⅰ」のシラバス参照																								

		評価の観点内容												評価方法											
知識・技術		・簿記の基本的な知識を理解できるか。一連の取引から正しい記録ができるか。												・事実的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力考查・定期考查											
思考・判断・表現		・取引の記録と財務諸表の作成の方法と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けることができたか。												・課題レポート ・グループでのディスカッションや発表等 ・小テスト、課題実力考查・定期考查											
主体的に学習に取り組む態度		・企業会計に関する知識や技術を適切に適用する力の向上を目指して自ら学ぼうとする姿勢が見られたか。主体的かつ協働的に取り組む態度であったか。												・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループでのディスカッション（参加態度） ・取組の自己評価（目標設定含む）の内容											

使用教科書	TAC出版 財務会計 I	副教材等	全商簿記1級会計論点別ニュースステップアップ問題集
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を身に付ける。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準	
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を見つめる力	力客観的(タマ物事を見つめる力)	論理的思考力	シ方分析(クリティカル思考)	創造する力	情報発信力	
一年(実践力養成期)	9	第1編 財務会計の基礎 第1章 企業会計と会計公準 第2章 企業会計制度 第2編 貸借対照表その1 第3章 貸借対照表の概要 第4章 資産の分類と評価 第5章 負債の分類 第6章 現金預金 第7章 金銭債権 第8章 電子記録債権・電子記録債務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1学期は簿記の内容を週6時間で履修
		第2編 貸借対照表その2 第9章 棚卸資産 第10章 有価証券 第11章 有形固定資産 第12章 リース取引 第13章 無形固定資産 第14章 研究開発費とソフトウェア 第15章 引当金 第16章 純資産(その1) 第17章 純資産(その2) 第18章 純資産(その3) 第19章 貸借対照表の作成方法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2学期からは簿記4単位とあわせて週6時間で履修 【知識・技術】 財務会計の概要について理解している。 【思考・判断・表現】 財務会計に関する法規と基準の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いただすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 財務会計の概要について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
		第3編 損益計算書 第20章 損益計算書の概要 第21章 損益計算書の基準 第22章 役務の提供と工事契約 第23章 掛け代金の割引 第24章 外貨建取 第25章 法人税と税効果会計 第26章 損益計算書の作成方法 第27章 その他の財務諸表	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 財務諸表の作成について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 財務諸表の作成に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 会計処理について自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
一年(思考力養成期)	1	第4編 財務諸表の活用 第28章 ディスクロージューリスト 第29章 財務諸表分析 発展 第30章 連結財務諸表	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 財務諸表分析について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 財務諸表分析の方法の妥当性と実務における課題を見だし、それらを踏まえて、財務諸表を基に企業の実態を分析することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 財務諸表分析について自ら学び、適正な財務諸表による適切な会計情報の提供に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
		2 記帳例題	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 財務諸表分析について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 財務諸表分析の方法の妥当性と実務における課題を見だし、それらを踏まえて、財務諸表を基に企業の実態を分析することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 財務諸表分析について自ら学び、会計情報の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
		3 総合演習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 財務諸表分析について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 財務諸表分析の方法の妥当性と実務における課題を見だし、それらを踏まえて、財務諸表を基に企業の実態を分析することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 財務諸表分析について自ら学び、会計情報の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

		評価の観点内容	評価方法
知識・技術		財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力考査や定期考査
思考・判断・表現		企業会計に関する法規と標準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。	・課題レポート ・グループでの話し合い(発言内容)や発表等 ・小テスト、課題実力考査、定期考査
主体的に学習に取り組む態度		会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を見つける。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける話し合い(参加態度) ・取組の自己評価(目標設定含む)の内容

使用教科書	実教出版 最新情報処理	副教材等	実教出版 全商情報処理検定模擬試験問題集 ビジネス情報部門2級 実教出版 全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集2級
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を育成することを目指す。		

学期	月	単元名	基礎力										思考力			実践力			活動内容・評価規準
			接続・礼儀（基礎人間力）	な思ふ学・力実践への知識（基礎知識）	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	課題を見つめる力	～客観的認知～	論理的思考力	（クリエイティブ）	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	計画立案を切り拓くキャリア設	主体的な行動力	（協働力ムワーカー）		
一学期 一年（基礎力養成期）	4	・企業活動と情報処理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*ワクトク活用の3単位とあわせて週5時間で履修 【知識・技術】 ・企業における適切な情報処理について理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・情報処理の意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・企業における情報処理について自ら学び、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。		
	5	・コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・コンピュータシステムと情報通信ネットワークについて実務での活用に即して理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・コンピュータシステムと情報通信ネットワークに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、情報を収集し管理する方策を考え実施し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータシステムと情報通信ネットワークについて自ら学び、適切な情報の収集と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。		
	6	・情報の集計と分析	○	○	○	○			○		○		○	○	○	○	【知識・技術】 ・ビジネスに関する情報の集計と分析について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ビジネスに関する情報の提供に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報を集計・分析して表現し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ビジネスに関する情報の集計と分析について自ら学び、適切な情報の提供と効率的な活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。		
	7	・プレゼンテーション	○	○	○	○			○		○		○	○	○	○	【知識・技術】 ・プレゼンテーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・プレゼンテーションのに対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、伝達するために必要な情報を表現し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プレゼンテーションについて自ら学び、適切な情報の伝達に主体的かつ協働的に取り組むことができる。		
二学期	9	・学習のまとめ	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	・全商情報処理検定ビジネス情報部門2級 受験 ※10月からワクトク活用を週5時間で履修		
三学期	10																		

	評価の観点内容	評価方法
知識・技術	企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力検査や定期検査
思考・判断・表現	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに関わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	・課題レポート ・グループでの話し合い（発言内容）や発表等 ・小テスト、課題実力検査、定期検査
主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける話し合い（参加態度） ・取組の自己評価（目的設定含む）の内容

使用教科書	実教出版 ソフトウェア活用	副教材等	実教出版 実教出版	全商情報処理検定模擬試験問題集 ビジネス情報部門1級 全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集1級
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業活動におけるソフトウェアの活用に必要な資質・能力を身に付ける。			

学期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準						
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	思考する・学力(知識)の実践(知材料や根拠)	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を発見する力	力客観的に物事を見つめる力	論理的思考力	情報分析力(クリティカル・批判的・シンキング思考)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設計未来力を切り拓くキャラリア	主体的な行動力	(協働)(チームワーク)	
一年(思考力養成期)	一学期																1学期は情報処理を週5時間で履修	
		9 企業活動とソフトウェアの活用	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○			※2・3学期は情報処理2単位とあわせて週5時間で履修 【知識・技術】 企業活動におけるソフトウェアの活用とその環境について理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ソフトウェアを活用することの意義と課題について、企業活動の改善と関連付けて見いだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動におけるソフトウェアの活用とその環境について自ら学び、企業活動の改善に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
		10 表計算ソフトウェアの活用	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○			【知識・技術】 表計算ソフトウェアの活用について実務に即して理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、表計算ソフトウェアを活用して、情報を集計・分析とともに、その結果を表現し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 表計算ソフトウェアの活用について自ら学び、情報の効率的な集計・分析と分析結果の適切な表現に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
		11 データベースソフトウェアの活用	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○			【知識・技術】 データベースソフトウェアの活用について実務に即して理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、データベースソフトウェアを活用して情報を管理・提供し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データベースソフトウェアの活用について自ら学び、情報の効率的な管理と適切な提供に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
		12 業務処理用ソフトウェアの活用	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○			【知識・技術】 業務処理用ソフトウェアの活用について実務に即して理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、業務処理用ソフトウェアを活用して業務を効率的に処理し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 業務処理用ソフトウェアの活用について自ら学び、業務の効率的な処理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
	二学期	1															※1月: 全商情報処理検定ビジネス情報部門1級 受験	
		2 情報処理システムの開発	○		○							○	○	○			【知識・技術】 情報システムの開発について実務に即して理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報を処理する手順を見いだすとともに、情報システムを開発し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報システムの開発について自ら学び、ビジネスに関する情報を処理する適切な情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
		3																
一年(実践力養成期)	評価の観点内容			評価方法														
	知識・技術	企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。											<ul style="list-style-type: none"> ・事実的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力検査や定期検査 					
	思考・判断・表現	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。											<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート ・グループでの話し合い(発言内容)や発表等 ・小テスト、課題実力検査、定期検査 					
	主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。											<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける話し合い(参加態度) ・取組の自己評価(目標設定含む)の内容 					

使用教科書	ビジネス・マネジメント (実教出版)	副教材等	ビジネス・マネジメント準拠問題集 (実教出版)
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるマネジメントに必要な資質・能力を身に付ける。		

学年 (基礎力養成期)	学期	月	単元名	基礎力										思考力			実践力				活動内容・評価規準
				力挨拶 礼儀 (基礎人間 力)	と思想 する学実 力(知 能) への 根柢 能力	コミュニケーション 能力	情報収集力	方想像 力・未 来を予 測す る	課題を発見する 力	力客観的 に認 物知 見つ める	論理的 的思 考力	情報分析 力(ク リティ ング) へ カ 批 判 的 の思 考)	創造する 力	情報発信力	課題を解決する 力	設計 未来 力を切 り拓く アリ ア	主体的 的な行 動力	協働 チー ム ワー ク			
二年 (基礎力養成期)	一学期	4 5	Introduction 1 ビジネスとは何か 2 ビジネスマネジメントとは 1章 ビジネスの創造 1 ビジネスの創造と社会 2 事業創造の基本 3 事業機会の発見 4 戦略と競争優位 5 事業創造の計画と実行 実習1 ビジネスの機会 実習2 地域振興	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】『ビジネス・マネジメント』は、新しいビジネスの創造という活動を軸にして、さまざまな科目と相互に関連する総合的な科目であることを理解している。 【知技】ビジネスにおけるマネジメントの概要を理解している。 【思判表】マネジメントの意義と課題について、ビジネスの適切な展開と関連付けて考えている。 【主】ビジネスにおけるマネジメントについて自ら学び、企業を取り巻く環境を踏まえ、マネジメントに主体的かつ協働的に取り組んでいる。		
			2章 ビジネスの組織化 1 組織のマネジメント 2 分業と調整 3 組織の設計 4 組織内部のマネジメント 5 取引関係のマネジメント 実習3 組織設計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】組織のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解している。 【思判表】組織のマネジメントに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、組織の管理と活性化の方策を考案して実施し、評価・改善をおこなっている。 【主】組織のマネジメントについて自ら学び、組織の一員として組織の適切な管理と活性化に主体的かつ協働的に取り組んでいる。		
二年 (思考力養成期)	二学期	9 10	3章 経営資源のマネジメント 1 財務的資源のマネジメント 2 人的資源のマネジメント 3 物的資源のマネジメント 4 情報的資源のマネジメント 実習4 経営資源の活用 実習5 財務分析	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】経営資源のマネジメントについて企業における事例と関連付けて理解している。 【思判表】経営資源のマネジメントに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、経営資源の管理と活用の方策を考案して実施し、評価・改善をおこなっている。 【主】経営資源のマネジメントについて自ら学び、経営資源の適切な管理と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。		
			4章 ビジネスの変革 1 ビジネスの拡大 2 多角化の動機 3 多角化企業のマネジメント 4 事業の転換 実習6 長寿企業調査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】ビジネスの創造と展開について企業における事例と関連付けて理解している。 【思判表】ビジネスの創造と展開に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの創造と展開に関する計画を立案して実施し、評価・改善をおこなっている。 【主】ビジネスの創造と展開について自ら学び、プロジェクトを適切に管理し、ビジネスの創造と展開に主体的かつ協働的に取り組んでいる。		
二年 (実践力養成期)	三学期	1 2 3	5章 ビジネスと社会 1 社会における企業 2 企業への支援 3 企業の責任 4 企業への牽制 実習7 ビジネスと社会 実習8 SDGs活用 実習9 新規事業計画	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知技】企業の秩序と責任について企業における事例と関連付けて理解している。 【思判表】企業の秩序と責任に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、企業の秩序の維持と責任を果たす方策を考案して実施し、評価・改善をおこなっている。 【主】企業の秩序と責任について自ら学び、企業の秩序を維持し、責任を果たすことにより主体的かつ協働的に取り組んでいる。		

評価の観点内容				評価方法
知識及び技能				・ 基本的な知識の習得を問う小テスト ・ 知識の概念的な理解と問う小テスト ・ 課題実力考查や定期考查
思考力、判断力、表現力等				・ 課題レポート ・ グループでの話し合い(発言内容)や発表等 ・ 小テスト、課題実力考查、定期考查
主体的に学習に取り組む態度				・ ノートの記入状況 ・ 課題の取組状況と提出状況 ・ 授業態度、グループにおける議論(参加態度) ・ 取組の自己評価(目標設定含む)の内容

使用教科書	TAC出版 財務会計II	副教材等	TAC出版 日商簿記2級テキスト・トレーニング
学習の到達目標	・財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ・企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計の側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を養う。		

学年	学期	月	单元名	基礎力		思考力			実践力			活動内容・評価規準						
				力操作～礼儀（基礎人間）	と思考する・実践する（知識や根拠）	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未来を予測する力	課題を見出す力	力客観的～ターゲットに物語り、知識を見つめる力	論理的思考力	力情報分析力（クリティカル・批判的シンキング思考）	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設設計画力を切り拓くキャリア	主体的な行動力	（協働力～ムーバーク）
二年（思考力養成期）	一学期	4	第1編 財務会計の基本概念と会計基準	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・財務報告の意義や有用性について理解できる。 ・資産・負債・純資本の意味と分類について理解できる。 ・各アプローチの概要を理解できる。 ・収益費用アプローチの概要を理解できる。 ・会計基準の特徴を整理して、会計基準の国際的統合の流れを把握できる。 ・資産計算の基準について理解し、貸借対照表に記載できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際会計基準について自ら学び、適正な会計手続ができるよう取り組むことができる。
		5	第2編 金融商品	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・金融商品における現在価値の考え方から将来のキャッシュ・フローの価値を計算し、評価できる。 ・外貨換算の意義、為替換算式を為替差益について理解し、財務諸表に正しく記載できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・企業に対する取引から正確な財務報告に必要な書類を作成するため各勘定を正しく分類し、正しい計算処理を主体的に、協働的に取り組むことができる。
		6	第3編 収益と費用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・様々な財産売買契約の流れについて理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・企業に対する取引から正確な財務報告に必要な書類を作成するため各勘定を正しく分類し、正しい計算処理を主体的に取り組むことができる。
		7	第4編 有形固定資産と無形固定資産	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・リース契約の登録やその種類、会計処理について理解できる。 ・減価償却法における利息法を理解し、定額法との違いについて考え、どちらが有用であるかを考えることができる。 ・無形固定資産における償却方法の計算が理解できる。 ・減損損失の流れと損失の認識の判断が損失額の測定が正しく理解できる。
二年（実践力養成期）	二学期	9	第5編 固定負債	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・社債の発行から償還までの会計処理について理解できる。 ・退職給付会計の算定と年金費用、退職給付費用について理解できる。 ・資産除去債務の会計処理について理解できる。
		10	第6編 純資産	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・一時差異と満延税金資産、満延税金負債を理解できる。 ・新株予約権やオプション、オプションについて理解できる。 ・利子負債の会計処理を理解できる。 ・会員会計、支配の獲得の意味と支配獲得時の処理について理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・職業会計として高い倫理観を養うように主体的に取り組むことができる。
		11	第7編 税効果会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・税効果会計の算定と年金費用について理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・企業会計と税法との特徴について理解し、法人税等がどのようにして計算されているのか、主体的に学習に取り組むことができる。
		12	第8編 キャッシュ・フロー計算書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・キャッシュ・フローの状況を活動区分ごとに表示することができる。 ・キャッシュ・フロー計算書における直接法・間接法という異なる表示方法を理解できる。 ・キャッシュ・フロー計算書の必要性を理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・貸借対照表とキャッシュ・フロー計算書を比較し、財務状況を正しく把握するよう主体的に協働的に取り組むことができる。
二年（思考力養成期）	三学期	1	第9編 企業集団の会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・会合会計、支配の獲得の意味と支配獲得時の処理について理解できる。 ・税効果会計の算定や取扱いについて理解できる。 ・持分法の変動により、支配獲得までの段階取得、支配獲得後の追加取得・子会社株式の一部売却の取扱いが支配関係にどう影響したか判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・連結財務諸表の作成方法について自ら学び、正確に作成しようと取り組むことができる。
		2	第10編 財務諸表分析	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・財務諸表を活用し、企業のループ状況が把握できる。 ・財務諸表の構造と企業価値を当社からどう判断でき、企業価値を正しく評価することができる。 ・四半期報告書の重要事項について理解できる。 ・株主資本や株価基準など会社の判断材料について理解できる。 ・企業価値の考え方について理解できる。 ・企業価値を割りきり、キャッシュ・フローにもとづいて正しく計算することができる。 ・会社債および金融商品取引法にもとづく監査のしくみを理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・職業会計として高い倫理観を養うように主体的に取り組むことができる。
		3	第11編 監査と職業会計人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・監査のプロセスと監査手続きについて理解できる。 ・監査意見と監査報告書について理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・監査に公開に関する法規について理解し、会計を担う者としての役割を身に付け、主体的に取り組むことができる。

評価の観点内容		評価方法
知識・技術	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい会計基準やその処理に関する知識を身に付け、財務会計の基本概念や監査について理解しているか。 ●新しい会計基準に関する会計処理の技術を身に付け、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に提供・活用することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力検査・定期検査
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい会計基準や財務会計の基本概念について、なぜ、そのように考えて処理を行うのかなど自ら思考を探し、高度な知識と技術を活用して適切に判断する能力を身に付けているか。また、その成果を会計情報の提供および活用で適切に表現することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート ・グループでのディスカッションや発表等 ・小テスト、課題実力検査、定期検査
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ●財務会計および監査について関心をもち、その理論と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、会計情報を提供し、活用しようとする態度を身に付けているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループでのディスカッション（参加態度） ・取組の自己評価（目標設定含む）の内容

使用教科書	TAC出版 原価計算	副教材等	TAC出版 実教出版	原価計算論点別ステップアップ問題集 全商簿記実務検定模擬試験問題集 1級原価計算
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、原価情報の提供と活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。			

学期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			力探し・ 探査・ 知識 (基礎人間)	思考する・ 実践の (材料や根 柢)	コミュニケーション能 力	情報収集力	想像力・ 未来を予測する	課題を発見する力	客観的 に認物 の思考	論理的 思考	情報分析 力	創造する 力	課題を解決する 力	情報発信力	設計未 来力	主体的 な行動 力	(協 力ム ーク)
二年(基礎力養成期)	4	第1編 原価計算の基礎 第1章 原価計算 第2章 原価計算のあらまし 第3章 工業簿記の勘定速略	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解している。 【思判表】原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付けています。また、予定價格法を用いる理由など合理的な原価計算の考え方を理解している。 【主】自ら進んでいろいろな物の原価を計算したり、問題演習に意欲的に取り組んでいる。
																	【知識・技術】製造業における原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な仕組み及び工業簿記の基本構造について理解している。 【思判表】原価計算と工業簿記に関する基礎的・基本的な技術を身に付けています。また、予定價格法を用いる理由など合理的な原価計算の考え方を理解している。 【主】自ら進んでいろいろな物の原価を計算したり、問題演習に意欲的に取り組んでいる。
	5	第2編 原価の費目別計算 第4章 材料費 第5章 労務費 第6章 経費	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】材料費・労務費・経費の消費高を計算及び記帳に関する基礎的・基本的な知識を身に付けています。また、予定價格法を用いる理由など合理的な原価計算の考え方を理解している。 【思判表】なぜ、予定價格法を用いるのか、資金の支払いと消費はどう違うのかなど合理的な記帳法はどのようなものなのかについて考え、適切に判断して学習を進めている。 【主】自ら進んで費目別計算について開心をもち、自ら進んでまとめたり、問題演習に意欲的に取り組んでいる。
																	【知識・技術】材料費・労務費・経費の消費高を計算及び記帳に関する基礎的・基本的な知識を身に付けています。また、予定價格法を用いる理由など合理的な原価計算の考え方を理解している。 【思判表】なぜ、予定價格法を用いるのか、資金の支払いと消費はどう違うのかなど合理的な記帳法はどのようなものなのかについて考え、適切に判断して学習を進めている。 【主】自ら進んで費目別計算について開心をもち、自ら進んでまとめたり、問題演習に意欲的に取り組んでいる。
	6	第3編 原価の部門別計算と製品別計算 第7章 個別原価計算 第8章 部門別個別原価計算 第9章 総合原価計算 第10章 工程別総合原価計算 第11章 総合原価計算と減損・仕損じの発生など	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】原価の部門別計算と製品別計算に関する基礎的・基本的な知識を身に付けています。また、各種原価計算の方法の特徴について理解している。 【思判表】なぜ、製造間接費は予定配賦するのか、工程別計算を行うのかなどについて考え、適切に判断して学習を進めている。 【主】原価の部門別計算と製品別計算について開心をもち、自ら進んでまとめたり、問題演習に意欲的に取り組んでいる。
																	【知識・技術】原価の部門別計算と製品別計算に関する基礎的・基本的な知識を身に付けています。また、各種原価計算の方法の特徴について理解している。 【思判表】なぜ、製造間接費は予定配賦するのか、工程別計算を行うのかなどについて考え、適切に判断して学習を進めている。 【主】原価の部門別計算と製品別計算について開心をもち、自ら進んでまとめたり、問題演習に意欲的に取り組んでいる。
	7	第4編 製品の完成・販売と決算 第12章 製品の完成と販売 第13章 決算と本社工場間の取引	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】製品の完成と販売及び決算と本社工場間の取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身に付けています。また、製造業の決算について理解している。 【思判表】製造業の決算の特徴を商品売買業の決算と比較して考えたりする、本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考えたりする。 【主】製品の完成及び販売時の手続きや処理法、製造業の決算の特徴、さらに本社工場間の取引の記帳について開心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。
																	【知識・技術】製品の完成と販売及び決算と本社工場間の取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身に付けています。また、製造業の決算について理解している。 【思判表】製造業の決算の特徴を商品売買業の決算と比較して考えたりする、本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考えたりする。 【主】製品の完成及び販売時の手続きや処理法、製造業の決算の特徴、さらに本社工場間の取引の記帳について開心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。
二年(応用力養成期)	9	第5編 標準原価計算 第14章 標準原価計算(その1) 第15章 標準原価計算(その2)	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】標準原価計算を利用した原価情報の活用に関する基礎的・基本的な知識を身に付けています。 【思判表】なぜ、原価標準を設定するのか、差異分析により何がわかるのか、直接原価計算においては、なぜ変動費だけで計算するのかなど原価管理や利益計画について理解しようとしている。 【主】標準原価計算を利用した原価情報の活用について開心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。
		第6編 直接原価計算 第16章 直接原価計算(その1) 第17章 直接原価計算(その2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】標準原価計算を利用した原価情報の活用に関する基礎的・基本的な知識を身に付けています。 【思判表】なぜ、原価標準を設定するのか、差異分析により何がわかるのか、直接原価計算においては、なぜ変動費だけで計算するのかなど原価管理や利益計画について理解しようとしている。 【主】標準原価計算を利用した原価情報の活用について開心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。
	10																【知識・技術】標準原価計算を利用した原価情報の活用に関する基礎的・基本的な知識を身に付けています。 【思判表】なぜ、原価標準を設定するのか、差異分析により何がわかるのか、直接原価計算においては、なぜ変動費だけで計算するのかなど原価管理や利益計画について理解しようとしている。 【主】標準原価計算を利用した原価情報の活用について開心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。
三年(応用力養成期)	11	第7編 原価計算実務検定受験 第18章 原価計算実務検定受験	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】標準原価計算を利用した原価情報の活用に関する基礎的・基本的な知識を身に付けています。 【思判表】なぜ、原価標準を設定するのか、差異分析により何がわかるのか、直接原価計算においては、なぜ変動費だけで計算するのかなど原価管理や利益計画について理解しようとしている。 【主】標準原価計算を利用した原価情報の活用について開心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。
																	【知識・技術】標準原価計算を利用した原価情報の活用に関する基礎的・基本的な知識を身に付けています。 【思判表】なぜ、原価標準を設定するのか、差異分析により何がわかるのか、直接原価計算においては、なぜ変動費だけで計算するのかなど原価管理や利益計画について理解しようとしている。 【主】標準原価計算を利用した原価情報の活用について開心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。
																	【知識・技術】標準原価計算を利用した原価情報の活用に関する基礎的・基本的な知識を身に付けています。 【思判表】なぜ、原価標準を設定するのか、差異分析により何がわかるのか、直接原価計算においては、なぜ変動費だけで計算するのかなど原価管理や利益計画について理解しようとしている。 【主】標準原価計算を利用した原価情報の活用について開心をもち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。

		評価の観点内容											評価方法		
知識・技術		原価計算。原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。											・実践的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力考査や定期考査		
思考・判断・表現		原価計算。原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用する方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。											・課題レポート ・グループでのディスカッションや発表等 ・小テスト、課題実力考査、定期考査		
主体的に学習に取り組む態度		企業会計に関する法規と基準を適切に活用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。											・ノートの記入状況 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループでのディスカッション（参加態度） ・取組の自己評価（目標設定含む）の内容		

使用教科書	実教出版 プログラミング マクロ言語	副教材等	実教出版 全商情報処理検定模擬試験問題集2級,1級プログラミング 実教出版 全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集1級
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、企業活動に有用なプログラムと情報システム開発に必要な資質・能力を身に付ける。		

学 期	月	単元名	基礎力										思考力		実践力		活動内容・評価規準
			挨拶・礼儀(基礎人間力)	思考・実践の材料や根拠となる学力(知識)	コミュニケーション能力	情報収集力	想像力・未来を予測する力	客観的に物事を見つめる力(メタ認知)	論理的思考力	情報分析力(批判的思考力)(クリティカルシンキング)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	未来を切り拓くキャリア設計力	主体的な行動力	協働力(チームワーク)	
二年(基礎力養成期)	4 5	1 情報システムとプログラミング (1)情報システムの重要性 (2)プログラミング言語の種類と特徴 (3)プログラミングの手順			○			○	○							【知識・技術】 ・情報システムとプログラミングの概要についての理解と技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・プログラミングの意義と課題について、企業活動の改善と関連付けて見いだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報システムとプログラミングの概要について自ら学び、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組める。	
		2 ハードウェアとソフトウェア,アルゴリズム (1)データの表現 (2)ハードウェアの機能と動作 (3)ソフトウェアの体系と役割 (4)アルゴリズムの表現技法 (5)データ構造と制御構造 (6)変数・定数と演算 (7)データ入出力 (8)条件判定、繰り返し処理 (9)配列の利用			○			○	○	○						【知識・技術】 ・コンピュータの基本的な機能と構成を理解し、ビジネスに活用できる技術を身に付いている。 【思考・判断・表現】 ・コンピュータ内部の働きについて考察し、ハードウェアが動作するためのソフトウェアの効果的活用や、企業活動改善の要求分析、科学的根拠に基づいた情報処理を主体的かつ協働的に取り組める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータの基本的な機能と構成やアルゴリズムについて自ら学び、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発する上でハードウェアとソフトウェアの効果的活用やアルゴリズムの考案を主体的かつ協働的に取り組める。	
	6	3 プログラムと情報システム開発(その1) (1)情報システム開発の手法と手順 (2)プロジェクト管理 (3)手続き型言語の利用 (4)オブジェクト指向型言語の利用 (5)情報システムの評価と改善			○			○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・プログラムと情報システムの開発について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報システムを開発し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラムと情報システムの開発について自ら学び、企業活動の改善に対する要求を踏まえ、適切なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
二年(思考力養成期)	9 10 11	4 プログラムと情報システム開発(その2) (1)情報システム演習(マクロ言語)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・プログラムと情報システムの開発について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報システムを開発し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラムと情報システムの開発について自ら学び、企業活動の改善に対する要求を踏まえ、適切なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
		12 (2)情報システム演習(HTML)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・プログラムと情報システムの開発について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報システムを開発し、評価・改善することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プログラムと情報システムの開発について自ら学び、企業活動の改善に対する要求を踏まえ、適切なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	
二年(実践力養成期)	三学期 1 2 3																

		評価の観点内容	評価方法
知識・技術		プログラムと情報システム開発について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力考查や定期考查
思考・判断・表現		企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	・課題レポート ・グループでの話し合い(発言内容)や発表等 ・小テスト、課題実力考查、定期考查
主体的に学習に取り組む態度		企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・演習を通して制作したプログラム等の内容 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける話し合い(参加態度) ・取組の自己評価(目標設定含む)の内容

使用教科書	なし	副教材等	なし
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を養う。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準					
			力挨拶・礼儀 思考する実践力の材 料知識や根 基確立人間能	力コミュニケーション能	情報収集力	想像力・未来予測力	課題を見出す力	客観的に物事を見つめ る力	論理的思考力	情力分析力(ブギング) →クリティカル・批判的思 考力)	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	ア未設計を切り拓くキャ リ	(協 チ ー ム ワ ー ク)		
一 学 期	4	オリエンテーション (1)課題研究の目標について (2)研究コースについて (3)日誌、月報、年間計画の記入方法について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 課題研究の目標を理解し、ビジネスに関する課題を設定し、研究コースを選択している。研究するにあたり、商業の各分野で身に付けた知識・技術を生かしている。 【思考・判断・表現】 ビジネスに関する課題を見出し、ビジネスに携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	
	5	研究コースごとに活動 (1)「調査、研究、実験」 (2)「作品制作」 (3)「産業現場等における実習」 (4)「職業資格の取得」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
	6	研究コースごとに活動 (1)「調査、研究、実験」 (2)「作品制作」 (3)「産業現場等における実習」 (4)「職業資格の取得」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ビジネスに関する課題を見出し、ビジネスに携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	
	7	研究コースごとに活動 (1)「調査、研究、実験」 (2)「作品制作」 (3)「産業現場等における実習」 (4)「職業資格の取得」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	
三年 (実践力養成期)	9	研究コースごとに活動 (1)「調査、研究、実験」 (2)「作品制作」 (3)「産業現場等における実習」 (4)「職業資格の取得」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ビジネスに関する課題を見出し、ビジネスに携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	
	10	中間報告書の作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	11	課題研究発表会準備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 一年間研究してきたことや課題研究をとおして学んだことを最終報告書にまとめ、聞き手側に分かりやすく伝わるように工夫している。
	12	最終報告書の作成 課題研究発表会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 最終報告書の作成や研究してきた内容を発表する活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
三 学 期	1	研究コースごとに活動 (1)「調査、研究、実験」 (2)「作品制作」 (3)「産業現場等における実習」 (4)「職業資格の取得」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 一年間研究してきたことや課題研究をとおして学んだことを最終報告書にまとめ、聞き手側に分かりやすく伝わるように工夫している。
	2	最終報告書の作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 最終報告書の作成や研究してきた内容を発表する活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	3	課題研究発表会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 一年間研究してきたことや課題研究をとおして学んだことを最終報告書にまとめ、聞き手側に分かりやすく伝わるように工夫している。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技術	商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた知識・技術を身に付けている。	授業への取組 年間計画、日誌、月報の作成 中間報告書 発表会への取組 最終報告書
思考・判断・表現	ビジネスに関する課題を見出し、ビジネスに携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	年間計画、日誌、月報の作成 中間報告書 発表会への取組 最終報告書
主体的に学習に取り組む態度	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	年間計画、日誌、月報の作成 中間報告書 発表会への取組 最終報告書

使用教科書		副教材等	実教出版 新版総合実践「同時同業法を中心として」
学習の到達目標	商業科目的総合的な科目として、教室内外に会社を設け、生徒自らが経営者となって企業相互間の売買その他の取引活動を実践的・体験的に学習することを目標にしています。		

学 期	月	単元名	基礎力										思考力				実践力				活動内容・評価規準
			力探 査・ 社 儀 (基 礎人 間)	と想 る・ 学実 践の 知材 料や 根 據	コ ミュ ニケ ーシ ョン能 力	情 報 収 集 力	力想 像 力・ 未 來 を 予 測 す る	課 題 を 発 見 す る 力	力客 観 的 に 物 事 を 見 つ め る	論 理 的 思 考 力	シ グ (へ ク リ ア シ ン 思 考)	情 報 分 析 力 (ク リ テ イ カ ル シ ン 思 考)	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	設 計 未 來 方 法 を 切 り 拓 く キ ャ リ ア	主 体 的 な 行 動 力	協 働 力 (チ ー ム ワ ー ク)			
三年 実 践 力 養 成 期	4 5	総合実践の基礎 ・総合実践の学習について ・応対の心得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や適切な方法、業務についての基礎的・基本的な知識を身につけている。		
	6 7	・通信文書の作成 ・代金の支払い																	【思考・判断・表現】 様々な場面における適切なコミュニケーション方法や合理的な業務遂行方法を、基礎的な知識をもとに自ら考え、判断し、表現している。		
三年 実 践 力 養 成 期	9 10	基本取引 ・取引の仕組み ・仕入取引 ・販売取引 ・取引のまとめ（会計処理）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ビジネスにおける各種取引について、実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。		
	11 12																		【思考・判断・表現】 ビジネスにおける各種取引について、実務に即して理解し、総合的に思考・判断・表現し、改善方法を考える。		
三年 実 践 力 養 成 期	1 2 3	取引演習 ・取引の仕組み ・総合取引演習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ビジネスにおける取引について、総合的に理解しており、関連する技術を身に付けています。		
																			【思考・判断・表現】 ビジネスの実務における課題を発見し、根拠に基づき課題への対応策を考案し、改善している。		
三年 実 践 力 養 成 期	三 学 期																		【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスの実務について自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組んでいます。		

		評価の観点内容	評価方法
知識・技術		ビジネスのしくみに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、会計の基本的なしくみについて理解しているか。	・授業への取り組み ・定期考査
思考・判断・表現		取引で必要なビジネス文書の作成、諸帳簿の記帳・決算を実践し、経営成績と財政状態を明らかにできるか。 適切なビジネスコミュニケーションを図ることができるか。	・授業、演習への取り組み ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度		ビジネスの企画・運営に関心をもち、自ら進んで意欲的に取り組んでいるか。	・授業、演習への取り組み ・営業日誌の記入

使用教科書	管理会計 (TAC出版)	副教材等	未定
学習の到達目標	(1) 管理会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 会計情報を活用した経営管理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 (3) 適切な経営管理を行う力の向上を目指して自ら学び、経営管理に有用な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		

学 期	月	单元名	基礎力										思考力				実践力				活動内容・評価規準
			力挨拶・礼儀 基盤人間	根思力 なる書類 への対 応能	カコミ ュニケ ーション 能力	情報収集力	る想像 力	課題を 見る力	る各 力観 へに 物事 視する 力	論理的 的思 考力	ン考情 き力報 シナリ オ分析 力	創造 する力	課題を 解決す る力	ア未 来計 を力 切り拓 く力	主体的 な行動 力	ハチ 協働 力ム ワーカー					
三年 (基礎力養成期)	4	第1編 管理会計と経営管理 第1章 管理会計の目的 第2章 管理会計と原価計算 第3章 管理会計に有用な原価情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・管理会計の概要について理解する。 【思考・判断・表現】 ・管理会計の意義について、経営管理と関連付けて見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・管理会計について自ら学び、経営管理に有用な会計情報を提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む。		
	5	第2編 短期利益計画 第4章 原価予測の方法 第5章 CVP分析と盈虧分析 第6章 利益の最大化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・短期利益計画について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・短期利益計画の立案の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・短期利益計画について自ら学び、会計情報に基づく適切な短期利益計画の立案に主体的かつ協働的に取り組む。 【検定試験】 ・習熟度に応じて日商簿記2級を受験する。		
	6 7	第3編 コストマネジメント 第7章 標準原価計算 第8章 直接標準原価計算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・コスト・マネジメントについて理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・コスト・マネジメントの方法の妥当性と実務における課題に対することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コスト・マネジメントについて自ら学び、経営管理に有用な会計情報を提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む。 【検定試験】 ・習熟度に応じて日商簿記2級を受験する。		
三年 (思考力養成期)	9	第4編 予算編成と予算統制 第9章 企業予算の編成 第10章 予算統制	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・予算編成と予算統制について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・予算編成と予算統制の方法の妥当性と実務における課題に対することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予算編成と予算統制について自ら学び、会計情報に基づく適切な予算編成と予算統制に主体的かつ協働的に取り組む。		
	10 11	第5編 経営意思決定 第11章 経営意思決定の概要 第12章 業務の意思決定 第13章 構造的の意思決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・経営意思決定について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・経営意思決定の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経営意思決定について自ら学び、会計情報に基づく適切な経営意思決定に主体的かつ協働的に取り組む。 【検定試験】 ・習熟度に応じて日商簿記2級を受験する。		
	12	第6編 業績測定 第14章 企業の組織構造 第15章 業績測定の方法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・業績測定について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・業績測定の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・業績測定について自ら学び、会計情報に基づく適切な業績測定に主体的かつ協働的に取り組む。 【検定試験】 ・全商管会計検定試験を受験する。		
三年 (実践力養成期)	1	第7編 コストマネジメント (その2) 第16章 目標原価計算																	【知識・技術】 ・コスト・マネジメントについて理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・コスト・マネジメントの方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コスト・マネジメントについて自ら学び、経営管理に有用な会計情報を提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む。 【検定試験】 ・習熟度に応じて日商簿記2級を受験する。		
	2	第17章 活動基準原価計算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 ・活動基準原価計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・活動基準原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・活動基準原価計算について自ら学び、会計情報に基づく適切な活動基準原価計算に主体的かつ協働的に取り組む。		
	3	第18章 品質原価計算																	【知識・技術】 ・品質原価計算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・品質原価計算の方法の妥当性と実務における課題を見いだし、科学的な根拠に基づいて課題に対することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・品質原価計算について自ら学び、経営管理に有用な会計情報を提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。		

		評価の観点内容	評価方法
知識・技術	管理会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けています。	・実践的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的理解を問う小テスト ・課題実力検査や定期検査	
思考・判断・表現	会計情報を活用した経営管理の方法の妥当性と課題を見いだし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応することができる。	・課題レポート ・グループでのディスカッションや発表等 ・小テスト、課題実力検査、定期検査	
主体的に学習に取り組む態度	適切な経営管理を行う力の向上を目指して自ら学び、経営管理に有用な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいます。	・ノートの記入状況 ・課題の取扱状況と提出状況 ・授業態度、グループでのディスカッション（参加態度） ・取組の自己評価（目標設定含む）の内容	

使用教科書	実教出版 ネットワーク活用	副教材等	
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるインターネットの活用に必要な資質・能力を身に付ける。		

学 期	月	単元名	基礎力				思考力				実践力				活動内容・評価規準	
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と思想する・実践的能力(材料や知識)や根拠	コミュニケーション能力	情報収集力	力想像力・未実力を予測する	課題を見つめる力	力客観的に物事を見つめる	論理的思考力	シグマ分析力・批判的シンキング	創造する力	情報発信力	課題を解決する力	設未来計画を切り拓くキャリア	(協働力)ムード
三年(基礎力養成期) 一学期	4 5	1 情報通信技術の進歩とビジネス	○	○	○	○	○				○	○	○			【知識・技術】 情報通信技術の進歩とビジネスの変化を関連付けて理解するとともに、それを利用した新しいビジネス、関連する法規などの基本的な知識を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ビジネスにおいて情報技術を活用することの意義の具体的な説明ができる。また、ビジネスで情報通信技術を活用する際の留意点を理解し、適切な判断をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報通信技術を活用する際に留意すべき法規・モールなどと、具体的な課題とを関連付けて、主体的かつ協働的に取り組むことができる。
	6 7	2 情報コンテンツの制作	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			【知識・技術】 各種情報コンテンツについて、基礎的な知識を理解し、それらを作成・編集するための基本的な技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 各種情報コンテンツについて、効果的な利用方法や表現方法を判断し、適切に使い分けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各種情報コンテンツについて、関心をもち、主体的かつ協働的に取り組むことができる。
三年(思考力養成期) 二学期	9 10	3 企業情報の発信とWebデザイン		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 Webサイトの構築について実務に即して理解しているとともに、関連する知識と技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 Webサイトに対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、伝達することが必要な情報を表現し、評価・改善することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 Webサイトの構築について、主体的かつ協働的に取り組むことができる。
	11 12	4 インターネットと情報セキュリティ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 インターネットと情報セキュリティについて実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 インターネットを活用する環境の構築と情報セキュリティの確保の方策を考案して実施し、評価・改善することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 インターネットと情報セキュリティの確保に、主体的かつ協働的に取り組むことができる。
三年(実践力養成期) 三学期	1 2 3	5 電子商取引とビジネス		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	【知識・技術】 電子商取引サイトの制作について実務に即して理解しているとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考・判断・表現】 電子商取引サイトの制作と集客方法について、必要な情報を収集・表現し、評価・改善することができます。 【主体的に学習に取り組む態度】 電子商取引サイトの制作の技術の習得や適切な情報発信について、主体的かつ協働的に取り組むことができる。

	評価の観点内容	評価方法
知識・技術	ビジネスにおけるインターネットの活用について、実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けています。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力検査や定期検査
思考・判断・表現	ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	・課題レポート ・グループでの話し合い(発言内容)や発表等 ・小テスト、課題実力検査、定期検査
主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・演習を通して制作したWebサイト等の内容 ・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける話し合い(参加態度) ・取組の自己評価(目標設定含む)の内容

使用教科書	実教出版－ネットワーク管理	副教材等	
学習の到達目標	商業の見方・考え方を働きかせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、情報資産を共有し保護する環境の提供に必要な資質・能力を身に付ける。		

学 期	月	単元名	基礎力			思考力			実践力			活動内容・評価規準				
			力挨拶・礼儀(基礎人間)	と考 る学 実 力 の 知 識 (材 料 や 根 據)	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力	情 報 収 集 力	力想 像 力 ・未 來 を 予 測 す る	課 題 を 発 見 す る 力	力客 觀 的 に 認 物 知 事 を 見 つ め る	論 理 的 思 考 力	シ ク リ チ ク リ テ リ カ イ カ ル 判 的 シ ン キ ス 考 考	創 造 す る 力	情 報 發 信 力	課 題 を 解 決 す る 力	設 計 未 來 力 を 切 り 拓 く キ ア リ ア	主 体 的 な 行 動 力
三年 (基礎力養成期)	4 5	1 企業活動と情報通信ネットワーク (1) 情報資産の共有の重要性 (2) 情報通信ネットワークの形態と通信 (3) ネットワーク機器と周辺機器の種類・機能	○	○	○	○		○	○	○	○		○			【知識・技術】 企業活動と情報通信ネットワークとの関わり及び情報通信ネットワークの概要について理解している。 【思考・判断・表現】 情報通信ネットワークの意義と課題について、情報資産の共有及び活用と関連付けて見いだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動と情報通信ネットワークとの関わり及び情報通信ネットワークの概要について自ら学び、情報を共有し保護する適切な環境の提供に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
		2 情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理 (1) 情報通信ネットワークの設計方法 (2) 情報通信ネットワークの構築方法 (3) 情報通信ネットワークの運用と障害対応 (4) システム監査														【知識・技術】 情報通信ネットワークの設計・構築と管理について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報通信ネットワークを設計・構築して運用管理を行い、評価・改善できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報通信ネットワークの設計・構築と運用管理について自ら学び、情報資産を共有する適切な環境の提供に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
三年 (思考力養成期)	9 10															【知識・技術】 情報セキュリティ管理について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報セキュリティ管理に関する計画を立案して実施し、評価・改善できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報セキュリティ管理について自ら学び、情報資産の保護に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
		3 情報セキュリティ管理 (1) 情報セキュリティ管理の目的と重要性 (2) 人的対策 (3) 技術的対策 (4) 物理的対策														【知識・技術】 情報セキュリティ管理について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、情報セキュリティ管理に関する計画を立案して実施し、評価・改善できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報セキュリティ管理について自ら学び、情報資産の保護に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
三年 (実践力養成期)	1 2 3	(5) 総合演習														

	評価の観点内容	評価方法
知識・技術	情報資産を共有し保護する環境の提供について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることができたか。	・事実的な知識の習得を問う小テスト ・知識の概念的な理解を問う小テスト ・課題実力検査や定期検査
思考・判断・表現	情報資産を共有し保護する環境の提供に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けることができたか。	・課題レポート ・グループでの話し合い(発言内容)や発表等 ・小テスト、課題実力検査、定期検査
主体的に学習に取り組む態度	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、情報資産を共有し保護する環境の提供に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができたか。	・課題の取組状況と提出状況 ・授業態度、グループにおける話し合い(参加態度) ・取組の自己評価(目標設定含む)の内容